# 農村景観活用交流施設新築工事

（第1工区）

# 完　成　図

(株) 三和技術コンサルタント

# 仕　様　書

## Ⅰ 工事概要

1. 工事場所　最上郡舟形町長沢字スルス沢地内

2. 敷地面積

3. 工事種目

| 工事種目 | 工事種別 本工事 | 別途工事 | |
|---|---|---|---|
| 仮設工事 | ○ | | |
| 土工事 | ○ | | |
| 基礎工事 | ○ | | |
| 木工事 | ○ | | 床面積 |
| 屋根板金工事 | ○ | | 1階 35.71㎡ |
| 左官工事 | ○ | | ロフト 7.45㎡ |
| 木製建具工事 | ○ | | 計 43.16㎡ |
| 鋼製建具工事 | ○ | | |
| 硝子工事 | ○ | | |
| 塗装工事 | ○ | | 建築面積 38.85㎡ |
| 雑工事 | ○ | | |
| 外構工事 | ○ | | |

## Ⅱ 建築工事仕様

1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて施設大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書（平成5年版）による。

2. 特記仕様

1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項は、◎印のついたものを適用する。

◎印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。

◎印と※印のついた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（　）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| ① 一般共通事項 | ① 適用基準等 | ◎建築工事標準詳細図（施設大臣官房官庁営繕部監修 平成5年版）<br>・営繕工事写真作成標準（東北地方施設局営繕部監修 平成2年版）<br>・鋼製軽量建具標準詳細図（東北地方施設局営繕部監修 昭和56年版及び昭和60年4月追加版）<br>・標準色見本帳（東北地方施設局営繕部 平成元年版）<br>・鉄骨設計標準図（施設大臣官房官庁営繕部監修 平成2年版）<br>・ |
| | 2. 発生材の処理 | 引渡しを要するもの（　　）　(1.1.10)<br>指定副産物の搬出<br>種類 ／ 受入れ施設名・住所（km）<br>・アスファルトコンクリート塊<br>・セメントコンクリート塊<br>・施設発生木材<br>・<br>その他の廃棄物（　　）<br>受入れ施設名・住所（km）<br>特別管理産業廃棄物　※ 無し　・有り |
| | ③ 電気保安技術者 | ・適用する　※ 適用しない　(1.2.3) |
| | 4. 技能士 | ※ 適用する　・適用しない　(1.5.2)<br>適用職種 |
| | ⑤ 建築材料等 | 建築材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又は、これらと同等品以上とする。<br>ただし、同等品以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。 |
| | ⑥ 特別な材料の工法 | 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 |
| | 7. 騒音振動の防止 | 低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき、指定された建設機械を使用する。 |
| | 8. 完成写真 | 下記のものを原版とも監督員に提出する。<br>分類 ／ 規格 ／ 撮影箇所数 ／ 部数 ／ 原版の大きさ（mm）<br>カラー：◎ キャビネ判　外部 1箇所 7部 ／ ・全紙パネル 1箇所 1部 ／ ・スライド ◎ キャビネ判 内部 1箇所 7部 ／ ※ 100×125以上 ・24×36以上 ◎ 24×36以上<br>写真の撮影業者<br>◎ 監督員の承諾する撮影業者<br>・ |
| | ⑨ 設備工事との取合い | 施工範囲　※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強。<br>※ 図示した盤、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強。<br>※ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ。<br>施工図　※ 設備機器の位置、取り合いなどを検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。 |
| | ⑩ 設計GL | ※ 図示　・現状平均地盤高 |
| ② 仮設工事 | 1. 監督員事務所 | ※ 設ける　・設けない　(表2.3.1)<br>・1号　・2号　・3号　・4号　・5号　・<br>備品は(2.3.4)を設ける他下記のものを備える。<br>・　・　・<br>連絡員　※ おかない　・おく |
| | ② 工事用水及び電力 | 工事用水　構内既存の施設　・利用できる（※ 有償　・無償）　※ 利用できない<br>工事用電力　構内既存の施設　・利用できる（※ 有償　・無償）　※ 利用できない |
| ③ 土工事 | ① 掘削及び盛土の種別 | ・A種　※ B種　・C種　・D種　(3.2.3)(表3.2.1)<br>・切込砂利又は切込砕石　C種の場合<br>施設発生土受入れ量　㎥<br>発生場所<br>受入条件 |
| | ② 施設発生土の処理 | ※ 構外に搬出し、適切に処理する。(処分地までの距離 約　km)　(3.2.5)<br>◎ 構内指示の場所に敷きならす。<br>・ 構内指示の場所にたい積する。<br>・ 構外指示の場所に処分する。<br>受入れ施設名・住所（km） |
| 4 地業工事 | 1. 既製コンクリート杭地業 | 杭の種類　(4.2.1)<br>・高強度プレストレストコンクリート杭（・JIS規格品　・評価品）　※ A種　・<br>・<br>・　(4.5.2)<br>試験杭 ／ 記号 ／ 杭径（mm） ／ 長さ(m)及び種別 ／ 載荷重荷重(kN/本) ／ 永久圧縮許容支持力(kN/本) ／ 本数(セット数)<br>試験杭 ⊗<br>本杭 ○<br>継手　※ アーク溶接継手　(4.2.3)(4.3.3)<br>先端部形状　※ 閉そく平たん形　・開放形　・　(4.2.1)(4.3.1)<br>杭の施工法　(4.2.2)(4.3.3)<br>・打撃工法<br>・掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　現地盤 ー　m<br>オーガー径　杭径 ー50mm程度<br>・セメントミルク工法<br>・建築基準法第38条の規定に基づき認定された工法<br>杭打機の種類<br>ハンマー種別　・ディーゼルハンマー　・低騒音型油圧パイルハンマー　・ドロップハンマー<br>低騒音型油圧パイルハンマー仕様<br>建設技術評価規程（昭和53年建設省告示第976号）に基づき評価されたもの又は低騒音型油圧パイルハンマー施工研究報告書（昭和59年9月(財)日本開発技術研究センター）に記載されたもの<br>パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン　・ポータブル式　・ブーム式<br>騒音・振動の測定　・行う　※ 行わない |
| | 2. 場所打ちコンクリート杭地業 | コンクリートの種別　・A種　・B種　(4.4.3)(表4.4.1)<br>鉄筋の種類　※ 異形鉄筋<br>鉄筋のかぶり厚さ　※ 100<br>掘削工法　・アースドリル工法　※ 安定液使用　・無水掘削　(4.4.4)<br>・リバース工法<br>・オールケーシング工法　孔内の水張り　※ 行う　・行わない |
| | 3. 載荷試験 | 試験方法及び報告書は敷地調査共通仕様書（施設大臣官房官庁営繕部監修 平成5年版）による。<br>(5.4)<br>・平板載荷試験　箇所　最大荷重　t　試験する深さ　設計GL ー　m<br>土質種別<br>・杭載荷試験　箇所　最大荷重　t |
| | 4. 床下防湿層 | ※ 設ける　・設けない　(4.10.1)<br>敷込み範囲は共通詳細図7-01-3による。 |
| ⑤ 鉄筋工事 | ① 鉄筋の種別 | (1.1)<br>鉄筋 ／ 種別 ／ 種別 ／ 径（mm）<br>異形鉄筋　※ A類　・B類　◎ SD295A　※ D16以下<br>・SD345　※ D19以上 |
| | 2. 溶接金網 | ※ JIS規格品　(1.2) |
| | 3. 鉄筋の継手 | 径19mm以上の柱・梁の主筋　・重ね継手　※ ガス圧接　(2.1) |
| | 4. 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚 | (2.2)<br>施工箇所 ／ 表5.2.5の値に加える寸法(mm) |
| | 5. くい頭の補強 | ・A形　・B形　・図示　(5.3.1)(図5.3.2) |
| | 6. 柱の帯筋 | ※ H形　・　(5.4.1)(図5.4.2) |
| | 7. 片持ち床版の出隅部の配筋 | 出隅部補強配筋　※ D10-100@ダブル　・図示　(5.7.1)(図5.7.9)<br>出隅受け部配筋　※ 図示 |
| | ⑧ 土間コンクリートの補強筋 | ※ 有　・無　・　(図5.7.14) |
| | 9. はり貫通孔の補強 | 補強形式　※ H形　・　(5.9.1)(図5.9.1) |
| | 10. 圧接完了後の検査 | 検査方法　※ 引張試験　・超音波探傷試験　(5.10.4) |
| ⑥ コンクリート工事 | ① 設計基準強度 | 普通コンクリート（kg f/cm²）　(6.1.2)<br>設計基準強度 ／ 施工箇所<br>※ 210<br>◎ 180　基礎 土間<br>◎ 160　捨コンクリート |
| | ② レディーミクストコンクリート | 種別　※ Ⅰ種　・Ⅱ種　(表6.1.1) |
| | ③ セメントの種類 | ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.2.1)<br>但し普通ポルトランドセメントにおいては、JISR5210による他、下記による。<br>項目 ／ 規定<br>水和熱 7日 84 cal/g 以下<br>水和熱 28日 96 cal/g 以下<br>全アルカリ 0.75 % 以下<br>塩素 0.02 % 以下<br>全アルカリの算出は、JISR5210ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。 |
| | ④ 骨材 | 細骨材の塩分含有量（NaCl 換算）　※ 0.04 %wt 以下　(6.2.2) |
| | ⑤ 混和材料 | 混和剤　※ AE剤又はAE減水剤標準形の1種　(6.2.4) |
| | ⑥ 普通コンクリートの調合 | 所要空気量　※ 4.5%vol　(6.3.1) |
| | 7. 軽量コンクリート | (6.7.2)(表6.7.1)<br>種別 ／ 適用箇所 ／ 気乾単位容積重量(t/m³)<br>所要空気量　※ 5.0%vol |
| | ⑧ 無筋コンクリート | 適用箇所は6.9.4による他は、下記による。　(6.9.3)(6.9.4)<br>適用箇所<br>捨コンクリート<br>所要空気量　※ 4.5%vol　所要スランプ　15cm |
| | ⑨ 型枠 | せき板の種類　(6.14.1)<br>※ 合板<br>合板せき板の塗装　※ 無　・有<br>合板せき板の材質　※ 南洋材　・針葉材<br>・床型枠用鋼製デッキプレート<br>板厚(mm) ／ 適用箇所<br>製造所 |
| | ⑩ 打放し仕上げ | (6.14.3)(表6.14.1)<br>種別 ／ 施工箇所<br>・A種<br>※ B種　外壁　基礎見附<br>・C種 コーン使用<br>・C種 |
| ⑦ 鉄骨工事 | 1. 鉄骨製作工場 | ・監督員の承諾する製作工場　(7.1.2)<br>・「溶接作業条件判定要領（判定基準）」に適合する製作工場又は施設省告示第1103号に基づき建設大臣が認定した製作工場のうち下記の条件を満足する製作工場<br>契約電力　KW以上、　級施工士　名以上、WES　級　名以上、<br>NDI　級　名以上、超音波探傷試験機及び放射線透過試験装置　台以上、<br>万能試験機(50t以上)　台以上 |
| | 2. 施工管理技術者 | ・適用する　・適用しない　(7.1.4) |
| | 3. 鋼材の種類 | (7.2.1)<br>材質 ／ 規格等<br>SS400　・規格品(JIS G3101)　・7.2.7(b)に合格するもの<br>SSC400　・規格品(JIS G3350)　・ 〃<br>STK400　・規格品(JIS G3444)　・ 〃<br>STKR400　・規格品(JIS G3466)　・ 〃 |
| | 4. 高力ボルト | (7.2.2)(7.10.2)<br>ボルト種別 ／ セットの種類<br>・JISの高力ボルト　※ 2種　・<br>※ トルシア形高力ボルト　※ 2種　・<br>・溶融亜鉛めっき高力ボルト　※ 1種A　・ |
| | 5. 溶接部の検査 | (7.5.8)<br>試験の種別 ／ 試験箇所 ／ 試験数 ／ 備考<br>※ 超音波探傷試験 |
| | 6. さび止め塗料 | ※ 表17.3.1表による。　(7.6.1)(17.3.1) |
| | 7. 耐火被覆 | (7.7.1～4)<br>種別 ／ 材料及び工法 ／ 製造所<br>・ラス張モルタル　15 乗 3 節 による　施設基準法による認定を受けたもの<br>・耐火材吹付け　ロックウール　・乾式　・湿式<br>・耐火材　施設基準法による認定を受けたもの |
| | 8. アンカーボルトの保持及び埋込方法 | (7.8.1)(表7.8.1)<br>種別 ／ 適用箇所<br>・A種<br>※ B種<br>・C種 |
| | 9. 柱底均しモルタル | (7.8.1)(表7.8.2)<br>種別 ／ 適用箇所 ／ 柱底均しモルタル<br>・A種　無収縮モルタルの製造所<br>※ B種　7.8.1(d)(1)による。 |
| | 10. 溶融亜鉛めっき | (7.10.3)(14.2.3)<br>亜鉛めっき ／ 適用箇所<br>※ A類A種 |
| 8 ブロック・ALCカーテンウォール工事 | 1. コンクリートブロック帳壁及び塀 | ブロックの種類　(8.2.2)<br>・A種　・B種　※ C種（ただし、設備配管用長穴等はA種とすることができる。） |
| 9 防水工事 | 1. アスファルト防水 | (9.1.2)(表9.1.1)(表9.1.2)(表9.1.4)(表9.1.6)<br>種別 ／ 施工箇所<br>※ A－2<br>・A1－2<br>・C－1<br>・E－1<br>・<br>アスファルトの種類　※ 4 種　(9.1.3)<br>施工標識　工事完了後監督員指示の場所に取り付ける。 |
| | 2. 伸縮調整目地 | ・注入目地　・成形伸縮目地 |
| | 3. 合成高分子ルーフィング防水 | (9.2.2)(表9.2.1)<br>種別 ／ 厚さ ／ 施工箇所 ／ 仕上塗料(露出)<br>・S－1　※ 1.2　・ ／ ※ カラー<br>・S－2　※ 2.0　・ ／ ・シルバー<br>・S－3　※ 2.0　・<br>・S－4　※ 1.5　・<br>施工業者　上記製造所又は、その指定業者とする。 |
| | 4. 塗膜防水 | (9.3.2)(表9.3.1)(表9.3.2)<br>種別 ／ 施工箇所 ／ 仕上塗料(露出)<br>ウレタン塗膜防水　X－ ／ ※ カラー ・シルバー<br>ゴムアスファルト系塗膜防水　Y－<br>・脱気装置　材質　ステンレス製又はアルミ製<br>設置数量　箇所<br>施工業者　上記製造所又は、その指定業者とする。 |
| | ⑤ シーリング用材料 | ※ 表9.4.1による。 |
| 10 石工事 | | |
| 11 タイル工事 | 1. 陶磁器質タイル張り及び型枠先付け | タイルの種類及び工法　(11.1.1)(11.2.1)(11.2.2)(11.2.3)<br>施工箇所 ／ 形状寸法(mm) ／ きじ：細孔 陶器 せっ器 無ゆう ／ うわぐすり：有 無 ／ 役物：標準 注文 ／ 色：先付け 後張<br>細孔質タイル<br>せっ器質タイル |
| | 2. 型タイル張りの工法 | 内装タイルの後張り工法　(表11.1.4)<br>※ 積上げ張り<br>・接着剤張り　(11.1.1)<br>接着剤種別　JISA 5548　※ タイプⅠ<br>外装タイルの後張り工法<br>※ 密着張り<br>ユニットタイルの後張り工法<br>・マスク張り<br>・モザイク張り |
| | 3. 陶磁器質タイル型わく先付けの種別 | 外装タイルの型枠先付け種別　(11.2.2)(11.2.3)(表11.2.1)<br>※ タイルシート法<br>・ |
| 12 木工事 | ① 木材 | 代用樹種を使用しない箇所　(表12.1.3)<br>柵、防護　ベランダ、バルコニー手すり　※基礎 内部 土台 大引き<br>〃 1等　呼キツギ　コンクリート ニ 埋メル部分 ハ クレオソート塗ラズル<br>ヒバ 無節　ハミガ<br>杉 1等　バルコニー笠木 根太、柱梁 大梁 間柱、スジカイ、マグサ、陸梁、垂木<br>〃 上小節　建具枠 カモイ 額縁 ±0水上 破風 ケーラ板 ロ ハ、小屋ブラケット<br>松 1等　梁 桁 ツナギ<br>〃 上小節　ケイダン、踊り場 手摺 笠　※図中 寸法ハ仕上り寸法ヲ示ス |
| 13 屋根及びといい工事 | ① 長尺金属板葺 | (13.1.1)(13.1.2)(13.1.3)<br>材種 ／ 厚さ ／ 屋根葺形式 ／ 備考<br>※ JISC3312の屋根用鋼板品　※ 0.4　※ 瓦棒葺(心木なし)<br>・<br>・<br>・<br>・<br>専門工事業者<br>※ 監督員の承諾する業者 |
| | 2. 折板葺 | JISA6514の規格品　(13.2.2)(13.2.3)<br>材種 ／ 厚さ ／ 山高及び山ピッチによる区分 ／ 断熱材 ／ 耐火の性能<br>※ JISG3312の屋根用規格品　※ 0.8　・0920 ／ ・有 ／ ・有(30分耐火)<br>・JISG3302の屋根用規格品　・1525 (mm) ／ ・無 ／ ・無<br>・JISK6774のSGのA種規格品　・1730<br>・<br>山高及び山ピッチによる区分はJISによる。<br>専門工事業者<br>※ 監督員の承諾する業者<br>・ |
| | 3. と い | (表13.4.1)(13.4.3)(表13.4.4)<br>材種 ／ 防蓄<br>※ 配管用鋼管　※ 表13.4.4により行う　・行わない<br>・硬質塩化ビニル管 |
| | 4. ルーフドレン | 防水層押え縁付けボルト、ナット、ビス類は、黄銅製又は、ステンレス製(SUS304)とする。 |

| 訂正 | 月．日 |
|---|---|
| | ・ |
| | ・ |
| | ・ |


一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号　TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事
山形県知事登録（106）第447号
一級建築士第113527号
須藤良介


| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| H6.5. | | | | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | A－1.5.6 |
| | | | | 図面名称：仕様書　縮尺 | A 1 |

## 14 金属工事

1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (表14.2.1)

| 種類 | 施工箇所 |
|---|---|
| ・一種 | |
| ・一種 | |

2. 鉄の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2～表14.2.4)

| 亜鉛めっきの区別 | 付着量の種別 | 施行箇所 |
|---|---|---|
| ・A類 | ・A種 ・B種 ※C種 | |
| ・B類 | ・A種 ・B種 ・C種 | |

溶融亜鉛めっきの付着量試験
※ 行わない ・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験
※ 行わない ・ 行う

3. 軽量鉄骨天井下地 野縁などの種類 (14.4.1)(表14.4.1)
屋内 ※ 19形 ・ 25形 屋外 ・ 19形 ※ 25形

4. インサート 断熱材用インサート(保温板で断熱材打込部分) (14.4.1)

5. 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーなどの種類 (14.5.2)(表14.5.1)
※ 表14.5.1による。

6. 手すり及びタラップ (14.6.1)(14.6.2)

| | 材質 | 表面処理の種別 |
|---|---|---|
| 手すり | ・ステンレスSUS 304<br>・鋼製 | 亜鉛めっきの場合表14.2.2のA類、表14.2.3のC種 |
| タラップ | ・ステンレスSUS 304 | |

7. 金属成形板張り (14.7.1)(表14.2.1)

| 材種 | 製法 | 寸法 | 形状 | 表面処理等 |
|---|---|---|---|---|
| ・アルミニウム | ・押出し<br>・プレス<br>・ロール | 板幅 ・<br>板厚 ・ | | |

製造所

8. アルミニウム製笠木 部材の種類 (表14.8.1)
・ 250形 ・ 350形
表面処理 (14.8.2)(表14.2.1)
※ A－1種又はB－1種 ・ A－2種又はB－2種

## 15 左官工事

1. 防火材料 ※ 屋内の壁及び天井の仕上げ材は防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。
・ 次の箇所を除き、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。

2. 防水モルタル塗り 防水材 (15.3.5)

3. 仕上塗材仕上げ (15.6.1)(表15.6.1)(15.6.4)

| 規格名称 | 種類(呼び名) | 仕上 | 工法 | 上塗り材 |
|---|---|---|---|---|
| ・薄付け仕上げ塗材 | ・外装薄塗材C<br>・内装薄塗材C<br>・外装薄塗材E<br>・内装薄塗材E<br>・内装薄塗材Si | | ※吹付け<br>・ローラー | |
| ・厚付け仕上げ塗材 | ・外装厚塗材C<br>・外装厚塗材E | ・模様吹き<br>・凸部処理 | ※吹付け<br>・こて | |
| ・複層仕上塗材 | ・複層塗材CE<br>・複層塗材E<br>・複層塗材RS<br>・複層塗材RE<br>・複層塗材Si | ・ゆず肌<br>・凸部処理<br>・凹凸模様 | ※吹付け<br>・ローラー | 材料<br>※水系上塗り材<br>・アクリル樹脂エナメル<br>・ウレタン樹脂エナメル<br>色彩<br>・光沢(※1色 ・2色)<br>・メタリック |

4. 軽量骨材仕上塗材吹付け 色彩 ※ 生地色 ・ 着色 (15.7.1)

| 種別 | 骨材 | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※ 軽量骨材仕上塗材 | ※ パーライト系<br>・ バーミキュライト系 | ※ 5 | JISA 6917の適合品 |

## 16 建具工事

① アルミニウム製建具 防火戸は建築基準法に基づく認定を受けたものとする。 (16.2.1～16.2.3)(表16.2.1)

| 類別 | ・A類 | ※B類 |
|---|---|---|
| 耐風圧(kg/m²) | ・ | ※ 280以下 |
| 気密性による等級 | ・8 ・2 | ※ 8 ・2 |
| 水密性による等級 | ・35 ・50 | ・25 ※ 35 ⊕5 |
| わく見込寸法(mm) | ・ | ※ 70 ⊙ 58 |
| 表面処理 | ・ | ※ B－1種 ⊙ B－2種 |

B－2種の場合 ・ ブロンズカラー(標準色) ・ ブロンズカラー(濃色) ・ ステンカラー
⊙ ホワイトカラー

② 網戸 使用方法による区分 ※ 外面納まりの可動式 ・ (16.2.5)
網の種類 ・ ガラス繊維入り合成樹脂 ・ ステンレス(SUS 304)
※ 合成樹脂
メッシュ ※ 16 ・ 18

3. 鋼製建具 (16.3.2)

4. 鋼製軽量建具 (16.4.2)

| | |
|---|---|
| 召合わせ、縦小口包み板、押縁等の材質 | ※ 鋼製軽量建具標準詳細図及び(追加版)による |
| 塗装 | ・行う ※ 行わない (16.4.3) |

鋼製軽量建具標準詳細図及び(追加版)による場合は、施工図などの提出を省略することができる。

5. ステンレス製建具 鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ (16.5.2)

6. 自動扉(開閉機構) 駆動式 ※ 電気式又は電動油圧式 (16.6.2)
検出装置 ※ マットスイッチ式 ・ 熱線式
安全用光電スイッチ併用とする
・ 全半開装置付き(半開幅― )

7. 重量シャッター 機能による種類 ※ 防火シャッター ・ 防煙シャッター ・ その他 (16.7.1)
開閉機能による種類 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 ・ 下部手動式
シャッターケース(防火、防煙以外の場合) ・ 設ける ・ 設けない

8. 軽量シャッター 開閉機能による種類 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (表16.8.1)
シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない

⑨ 建具用金物 マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない (16.10.2)(16.10.3)

| 金物の種類 | 型式 | 製造所 |
|---|---|---|
| モノロック | | 美和ロック ニューステー、ニューカナ、リョービ |
| 本締り付きモノロック | | 〃 |
| シリンダー錠 | | 〃 |
| シリンダー本締り錠 | | 〃 |
| ドアクローザー | | 〃 |
| ピボットヒンジ | | 〃 |
| フロアーヒンジ | | 〃 |
| ヒンジクローザー | 内蔵型 | 〃 |

10. 複層ガラス 断熱の区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 (16.11.1)

⑪ ガラスの留め材 (16.11.1)

| 建具の種類 | 材質 |
|---|---|
| アルミニウム製 | 引違い建具及び片引き建具の障子はガスケット又はシーリング材、その他はシーリング材 |
| 鋼製<br>ステンレス製<br>木製 | シーリング材 |

網入りガラスの留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けたシーリング材とする。

12. オーバーヘッドドア (表16.12.1)(表16.12.2)

| セクション材料による種類 | 開閉機能による種類 | | ガイドレール |
|---|---|---|---|
| ・スチールタイプ<br>・アルミニウムタイプ<br>・ファイバーグラスタイプ | ※ バランス式<br>・チェーン式<br>・電動式 | ・スタンダードタイプ<br>・ローヘッドタイプ<br>・ハイリフトタイプ | ※ 鋼製<br>・ステレスSUS 304<br>(⊘2.0) |

アルミニウム形材の表面処理
※ 陽極酸化皮膜複合塗装(※ 標準色 ・ ) ・ 陽極酸化皮膜

## 17 塗装工事

1. 防火材料 屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。 (11.1.1)

2. 亜鉛めっき面の素地ごしらえ ※ A種(建具) ・ B種(その他) (表11.2.3)

3. マスチック塗材塗り (17.16.2)(表17.16.1)

| 種別 | 凸面処理 | 仕上材塗り |
|---|---|---|
| ・A種 | ・行う ※ 行わない | |
| ・B種 | ・ | |
| ・C種 | ・行う ※ 行わない | ※ アクリル樹脂エナメル2回塗り<br>・ つや有合成樹脂エマルションペイント2回塗り |

施工業者 「全国マスチック事業協同組合連合会に所属し、同連合会が実施する検定試験の合格者を有する者」
施工標識 外壁は工事完了後、監督員の指示する場所に取り付ける。

4. 床用塗料塗り 表面仕上げの種類 ※ 平滑仕上 ・ 防滑仕上

⑤ 一般塗料の塗装業者 ※ 日本塗装工業会の会員 ・ 監督員の承認する塗装業者

## 18 内装工事

1. ビニル床シート張り (11.1.1)

| 種類 | 記号 | 色柄 | 厚さ(mm) | 品質・規格 |
|---|---|---|---|---|
| ※ 一般用(発泡層のないもの) | ※ NC | ※ 無地 | ・2.0<br>※ 2.5 | ※ JISA 5705による |

工法 ・ 突付け 施工箇所( ) (11.1.2)
・ 熱溶接 施工箇所( )

2. ビニル床タイル張り (11.2.1)

| 種類 | | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| ※ JISA 5705の規格品 | ※ 半硬質<br>・軟質 | ※ 2.0<br>・ |
| ・ ホモジニアスビニル床タイル | ※ マーブル<br>・プレーン | ※ 2.0<br>・ |

3. ビニル幅木 材種 ※ 軟質 ・硬質 厚さ(mm) ※ 2 ・ (11.2.1)
高さ(mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100

4. 石こうボード及びその他のボード張り (1.4.1)

| 材種 | 種別など | | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 石こうボード | | 壁 | ・9(※不燃)<br>※ 12(不燃)<br>・ | JISA 6901の規格品 |
| | | 天井 | ※ 9(※不燃)<br>※ 12(不燃) | |
| 化粧石こうボード | 普通 | トラバーチン模様 | ※ 9(不燃)<br>・ | JISA 6911の規格品 |
| | | 水目模様(裏桟付き) | 9(※不燃) | |
| | 特殊 | | | |
| ロックウール化粧吸音板 | ※ 内部用<br>・軒天用 | 普通 | ※ 9 ・12 | JISA 6307の規格品 |
| | | 立体模様 | ・12 ・15 ・19 | |
| 無石綿ケイ酸カルシウム板 | | | ・6 ・8 ・10 ・12 | JISA5418に準じたノンアスベスト製品 |
| シージングボード石こうボード | | | ・9 ・12 ・15 | JISA 6912の規格品 |

⑤ フローリング張り (18.5.1)(18.5.3)(18.5.4)

| 類別 | 材種 | 工法 |
|---|---|---|
| ※ 複合1種フローリング<br>・ 複合2種フローリング<br>・ 複合3種フローリング | ※ 和室はひのき又は松<br>・ その他さくら又はけやき | ※ 釘留工法<br>(種別 ・A種 ・B種 ※C種)<br>・ 接着工法 |

6. 壁紙張り (18.6.1)

| 施工箇所 | 品質 | 防火性能の級別 |
|---|---|---|
| | | ・1級 ・2級 |
| | | ・1級 ・2級 |
| | | ・1級 ・2級 |
| | | ・1級 ・2級 |

品質は参考商品名である。

7. カーペット敷き (18.8.2～18.8.4)(表18.8.2)(表18.8.3)(表18.8.4)

| 施工箇所 | 種類 | 種別 | 敷込み | 品質 | 帯電防止性 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ・ウィルトンカーペット | ※ C種 | ※ グリッパー工法 | | ・18.8.3(a)(3)による<br>・ |
| | ・タフテッドカーペット | ・A種<br>・B種<br>・C種 | ※ 全面接着工法(下敷き材なし)<br>・グリッパー工法 | | ・18.8.3(a)(3)による<br>・ |
| | ・タイルカーペット | ※ C種 | ※ 全面接着工法 | | ・18.8.3(a)(3)による<br>・ |

品質は参考商品名である。

| 施工箇所 | 種類 | 厚さ(mm) | ラバーの有無 | 敷込み | 品質 |
|---|---|---|---|---|---|
| | ・ニードルパンチカーペット | 3.5以上 | ・有<br>・無 | 全面接着工法 | |

品質は参考商品名である。

⑧ 断熱材 (18.9.2)(18.9.3)

| 種類 | 材種 | 厚さ(mm) | 品質 |
|---|---|---|---|
| ・ポリスチレンフォーム保温材 | ※ B類保温板2種<br>・ | ※ 25<br>・ | JISA 9511の規格品 |
| | ・ | ・ | |
| ・硬質ウレタンフォーム保温材 | ・現場吹付け<br>・発泡断熱材 | ・ | JISA 9526による<br>(特定フロンを使用しないもの) |

⊙ グラスウール 24K ⊙ 50

9. 吸音材

| 材質 | 品質・規格 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|
| グラスウール吸音材 | 吸音用グラスウール2号 32K(JISA 6306の規格品)<br>ガラスクロス(JISR 3414 EP18) 黒縁張り品 | ※ 25 |

## 19 舗装工事

1. 再生資材 ・ 使用する ・ 使用しない (19.1.1)
使用する場合の規格は、「プラント再生舗装技術指針」、「アスファルト舗装要項」による。

2. しゃ断層及び凍上抑制層用材料 しゃ断層 ※ 川砂、海砂又は良質な山砂 (19.2.1)
凍上抑制層 ・ 切込砂利又は切込砕石
・ 再生クラッシャラン

3. 盛土材料 路床の盛土材料 ・ (19.2.2)

4. 路床土の支持力比(CBR)試験 ※ 行わない ・ 行う(※ 乱した土 ・ 乱さない土) (19.2.3)

5. 路床締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う (19.2.3)

6. 路盤材料 ・ クラッシャランのC-40又はクラッシャランスラグのCS-40 (19.3.1)(表193.1)
・ 再生クラッシャラン

7. アスファルト舗装 加熱アスファルト混合物の種類 (19.4.2)(表19.4.2)

| | |
|---|---|
| 表層 | ・ 細粒度アスファルト混合物(13)<br>・ 再生細粒度アスファルト混合物(13) |
| 基層 | ・ 粗粒度アスファルト混合物(20) |

アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない (19.4.4)

8. コンクリート舗装 早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (19.5.1)
溶接金網 ※ あり ・ なし

## 20 排水工事

1. グレーチング

2. 鋳鉄製マンホールふた

マンホールふたは簡易防臭型とし、表面に用途別の標準文字付きとする。

## 21 植栽工事

1. 植込み用土 ※ 現場発生の良質土 ・ 客土(21.2.1)(d)による。 (21.1.1)

2. 芝 種別 ※ こうらい芝 ・ 野芝 (21.2.1)
客土 ・ 行う ※ 行わない (21.2.1)

## 22 雑工事

1. コーナービード 材種 ※ アルミニウム合金製 ・ (22.1.1)
高さ ※ 天井まで ・ 1.8m程度

2. 階段滑り止め 材種 ステンレス(SUS304)ビニールタイヤ入り(幅 約25mm) (22.1.2)
取り付け方法 ※ 埋込み工法 ・ 接着工法

3. 巾板 (22.1.4)

| 種類 | 規格名称 | 色彩 | 形式 |
|---|---|---|---|
| ・はうろう<br>※ 焼き付け | JIS S6045の規格品 | ・緑 | ・平面<br>・曲面<br>・スクリーン引分け |

4. カーテン (22.3.1)(22.3.2)(表22.3.1)

| 名称・品質など | ひだの種類 | 形式 | 引分け装置 |
|---|---|---|---|
| | ・A種 ※B種 ・C種 | ・片引き ・引分け | ※手引 ・ひも引 ・電動 |
| | ・A種 ※B種 ・C種 | ・片引き ・引分け | ※手引 ・ひも引 ・電動 |

品質は参考商品名である。

⑤ カーテンレール 材種 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製 (22.3.2)
形状 ※ D型又は角型 ・ C型

6. ブラインド (22.4.1)

| 形式 | ※ 横型ブラインド | ・縦形ブラインド |
|---|---|---|
| スラット | ※ アルミニウム合金 | ・ |
| 開閉方式 | ※ ギヤー式 ・コード式 | |
| スラットの成形(mm) | ※ 25 | ・80 ・100 |
| 昇降テープの材種 | ※ ポリエステル編組 | |

7. アルミニウム製カーテンボックス 色彩 ※ シルバー ・ 着色

⑧ 点検口

| 施工箇所 | 材種 | 寸法 | 形式 | 製造所 |
|---|---|---|---|---|
| 天井 | ※ アルミニウム製<br>・ | ※ 450×450<br>・ 600×600 | ※ 額縁タイプ<br>・ 目地タイプ | [illegible] |
| 床 | ※ アルミニウム製<br>・ | ※ 450×450<br>・ 600×600 | | |

9. くつふきマット

| 材種 | 受わく |
|---|---|
| ※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製<br>・ 硬質アルミニウム合金製<br>・ ステンレス製(SUS 304) | ※ ステンレス製(SUS 304)<br>・ 硬質アルミニウム合金製 |

10. ステンレス流し台 ※ BL商品(システム ※ A－1型 ・ A－B型)トラップ付
・

11. コンロ台 ※ BL商品(システム ※ A－1型 ・ A－B型)バックカード(※ 有 ・ 無)
・

12. つり戸棚 ※ BL商品(システム ※ A－1型 ・ A－B型)
・

13. 水切棚 ※ 1段 ・ 2段
・

14. 既製手摺受金物 ※ ステンレス製(SUS 304)既製品

15. 屋内掲示板 わく アルミニウム製

16. 煙突用成形ライニング材

17. 視覚障害者用誘導ブロック ・ コンクリート系 ・ レジンコンクリート系(厚 30mm)
・ 塩化ビニール系

18. 誘導標識 市販品

19. かぎ箱 市販品 フック数(本) ・ 30 ・ 40 ・ 60 ・ 100

20. 敷地境界石標 種別 ・ A種 ※ B種 (22.7.1)

21. 旗竿 形式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝ m
材種 ※ アルミニウム合金 ・
製造所

22. 身障者用可動手すり

| | |
|---|---|
| ㉓ 床下換気孔 | ABS樹脂製 断熱密閉型 150×450 |
| ㉔ コンパクトキッチン | 図示 松下 KE 120 P1ZL 2W4 |
| ㉕ シャワーユニット | 図示 松下 SE 801 |
| ㉖ ベッド | 図示 (株)ミーリージャパン SJO-21 |
| ㉗ ユニットバス | 図示 松下 ニカイブロ EF-HDA04 |

| | |
|---|---|
| 床暖房用合板70アー | ⑫ キャプテンクイーン S 大建工業(株) |
| 合板70アー | ⑫ ミラージュDシリーズ |
| 防水遮湿シート | ⑫ 0.20 タフシート アドラ建材(株) |

A－156

| 訂正 | 月.日 |
|---|---|
| | ・ |
| | ・ |
| | ・ |

一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事
山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
佐藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| H 6. 5. | | | | 図面名称 | 仕様書 | 縮尺 A 2 |

## 外部仕上表

| | |
|---|---|
| 基礎 | 鉄筋コンクリート造　コンパネ型枠打放シ |
| 外壁 | 防水透湿シート貼 唐松縞甲板貼@15 ガードラック |
| 軒天 | 唐松縞甲板貼@15 ガードラック |
| 屋根 | 野地板 ⑦12・アスファルトルーフィング 22kg品・カラー長尺鉄板 横葺 ⑦0.35 |
| 建具 | 住宅用アルミサッシ（ホワイト）・雨戸（木製ガードラック） |
| 床下換気孔 | ABS樹脂製 断熱密閉型 150×450 |
| 小屋裏換気孔 | 銅網張り 120×1,700 |
| 瓦棒板包ミ | カラー鉄板 ⑦0.35 |
| 水切り | 雨戸鴨居・雨戸敷居・戸袋笠木・サッシ木枠・土台 カラー鉄板 ⑦0.35 |
| 棟表示板 | 木製彫込 240×150 ⑦24 |
| 断熱材 | 天井・外壁 GW ⑦50 24kg/m³　床下（束立床組） GW ⑦50 24kg/m³ フレキシブルボード ⑦4 押エ |
| 雨落水路 | U字溝 360A 河砂利 φ25 詰× |
| | |

## 内部仕上表

| 室名 | 床 仕上 | 床 下地 | 幅木 仕上 | 幅木 幅木高 | 腰 仕上 | 壁 仕上 | 天井 仕上 | 天井 天井高 | 天井 回り縁 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ベランダ | 杉板貼@18カードラック | 木下地組 | | | 防水透湿シート下貼 唐松縞甲板貼@15カードラック | 防水透湿シート下貼 唐松縞甲板貼@15 カードラック | 唐松縞甲板貼@15カードラック | | | 手摺（木製ガードラック）・踏段（木製ガードラック） |
| 湯沸室 | 合板フロアー貼 ⑦12 | 同上 | 木製幅木ワックス | 60 | 唐松縞甲板貼@15 ワックス | 唐松縞甲板貼@15 ワックス | 唐松縞甲板貼@15 ワックス | | | コンパクトキッチンユニット<br>カーテンレール（ステンレス）・下足入（ナラ練付） |
| 脱衣室 | 同上 | 同上 | 同上 | 〃 | 同上 | 同上 | 同上 | | | 棚（木製合板フロアー貼）・ハンガーパイプ（ステンレス φ25）・フロアーハッチ（アルミ製450角） |
| 便所 | 同上 | 同上 | 同上 | 〃 | 同上 | 同上 | 同上 | | | 棚（ランバーコア ⑦24 ワックス） |
| 浴室 | | 土間コンクリート | | | | | | | | シャワールーム |
| 寝室 | 床脇用合板フロアー貼 ⑦12 | 木下地組 | 木製幅木ワックス | 60 | 唐松縞甲板貼@15 ワックス | 唐松縞甲板貼@15 ワックス | 唐松縞甲板貼@15 ワックス | | | ベット・ベット用品収納棚・ベッドキャビネット・椅子 |
| ロフト | 合板フロアー貼 ⑦12 | 同上 | 同上 | 〃 | 同上 | 同上 | 同上 | | | |
| プロパン置場 | コンクリート金ゴテ | 土間コンクリート | | 600 | コンクリート打放シ | 防水透湿シート下貼 唐松縞甲板貼@15 ガードラック | 唐松縞甲板貼@15 ガードラック | | | |

## 木製建具表

| 記号 | 仕様 | 材料 | 仕上 | 塗装 | 硝子 | 金物 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| WD — 1 | 片開両面壁羽目戸 | | カラマツ縞甲板貼 | ガードラック | F4（袖） | T番・DC・本締付レバーハンドル・戸当 |
| WD — 2 | 片開フラッシュ戸 | | ナラベニヤ貼 | CL | — | T番・本締付レバーハンドル |
| WD — 3 | 〃 | | 〃 | 〃 | — | T番・表示付レバーハンドル 戸当 |
| WW — 1 | 片引片面壁羽目戸 | スプルス | カラマツ縞甲板貼 | ガードラック | — | 戸車・シンチューVレール |
| WW — 2 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 〃 |
| WW — 3 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | — | 〃 |
| | | | | | — | |

A－1.5.6

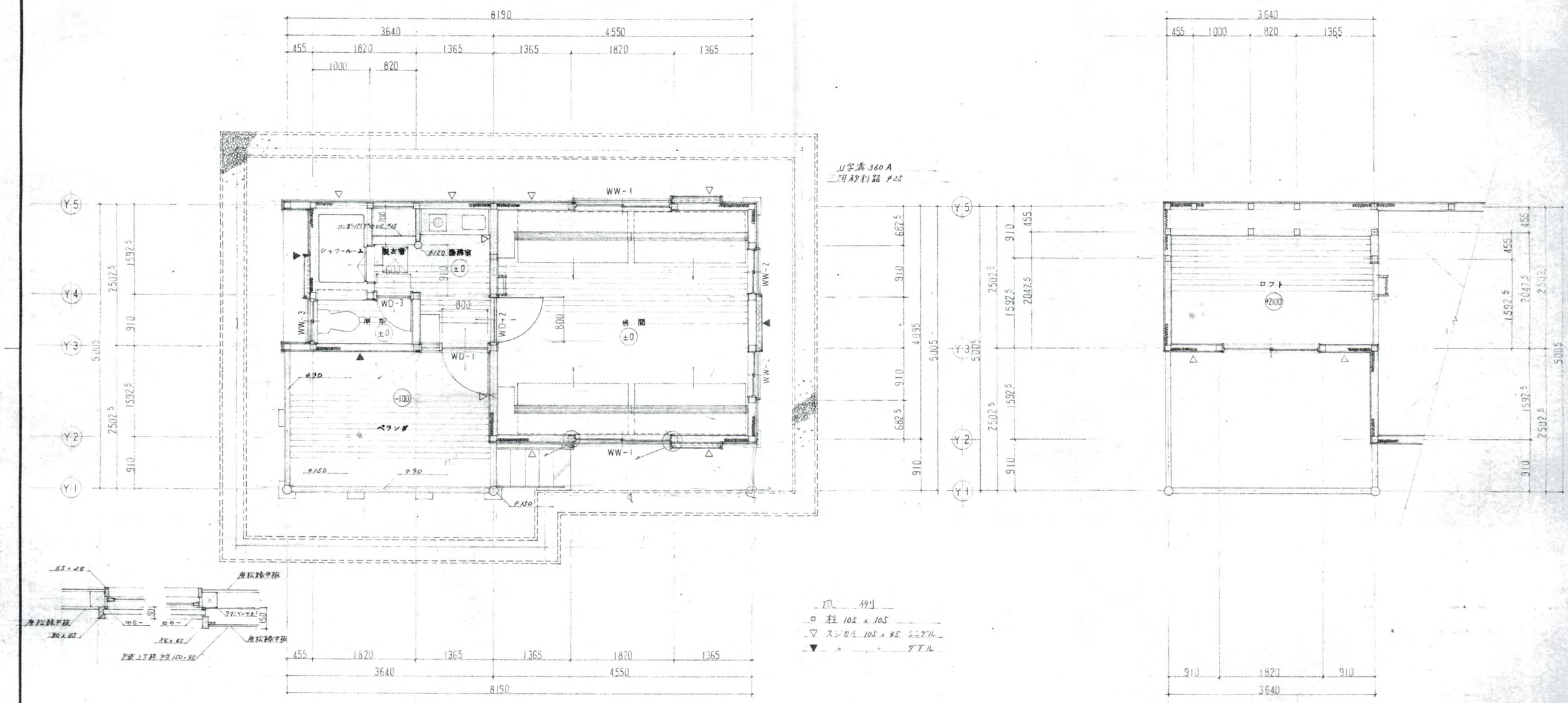
| 訂正 | 月・日 | |
|---|---|---|
| | ・ | |
| | ・ | |
| | ・ | |

一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事
山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 図面名称 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| H 6. 5. 1 | 村田 | | 須藤 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 仕上表・建具表 縮尺 | A 3 |

A－156

| 訂正 | 月．日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第11357号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 配置図 | 縮尺 1:500 | A / 4 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |




A－1.5.6 1階平面図

ロフト平面図

1. フロア. 脱衣 床張
2. 浴室
3. 火鉢
4. 下駄箱カット
5. ドマ-逆
6. デッキ床
7. ベット2台
8. キッチン
9. トイレ

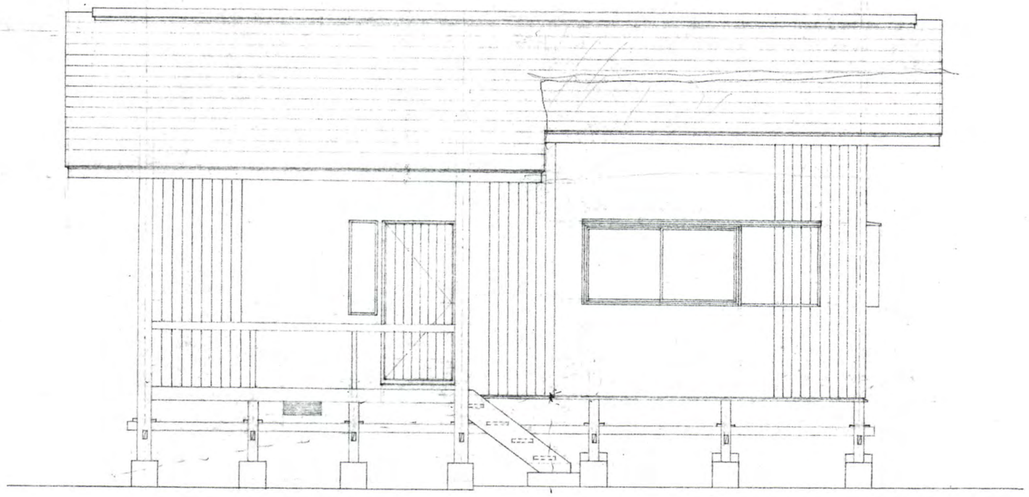
| 訂正 | 月・日 | |
|---|---|---|
| | ・ | |
| | ・ | |
| | ・ | |

一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

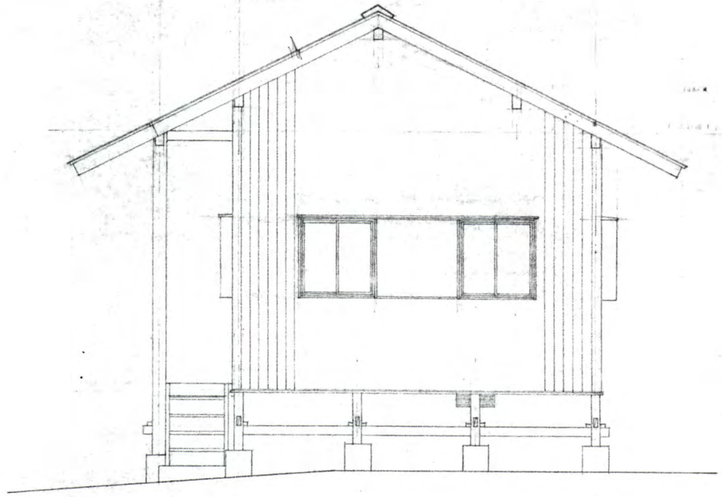
山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
酒井良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| H 6. 5. | | | | 図面名称 | 平面図 | 縮尺 1:50 |

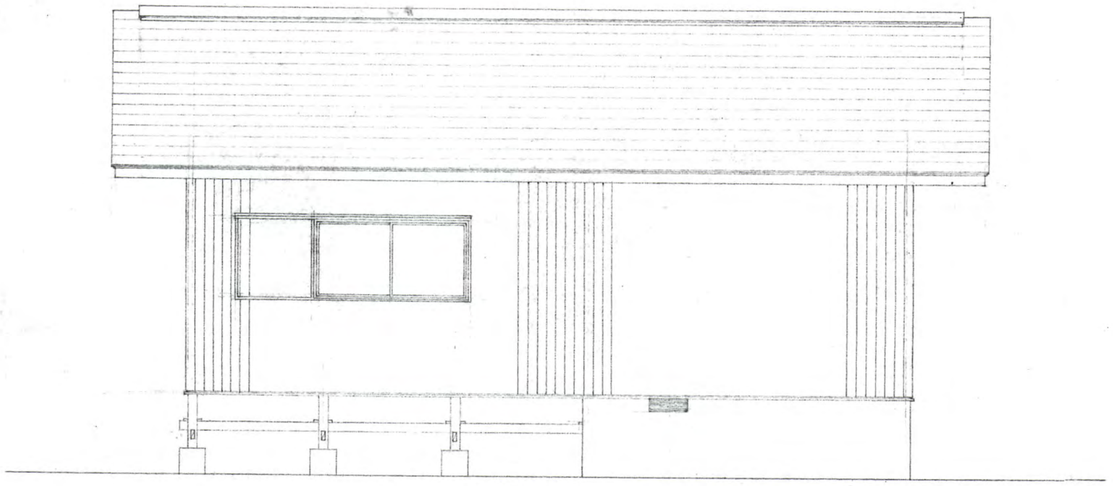
A－1.5.6



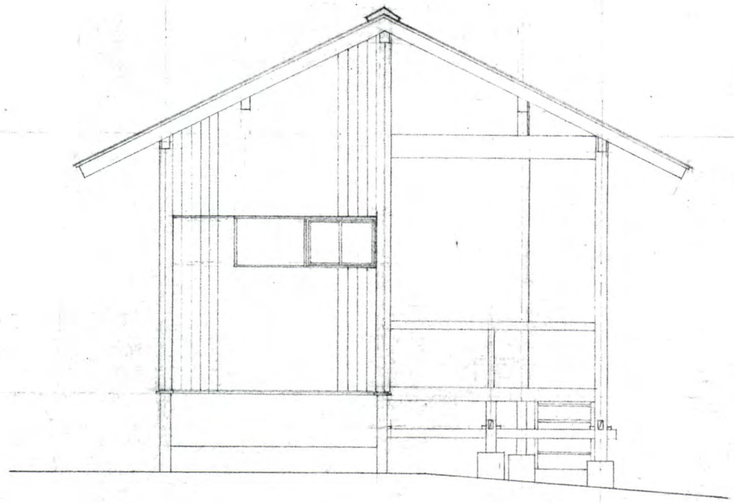
C 立 面 図



B 立 面 図



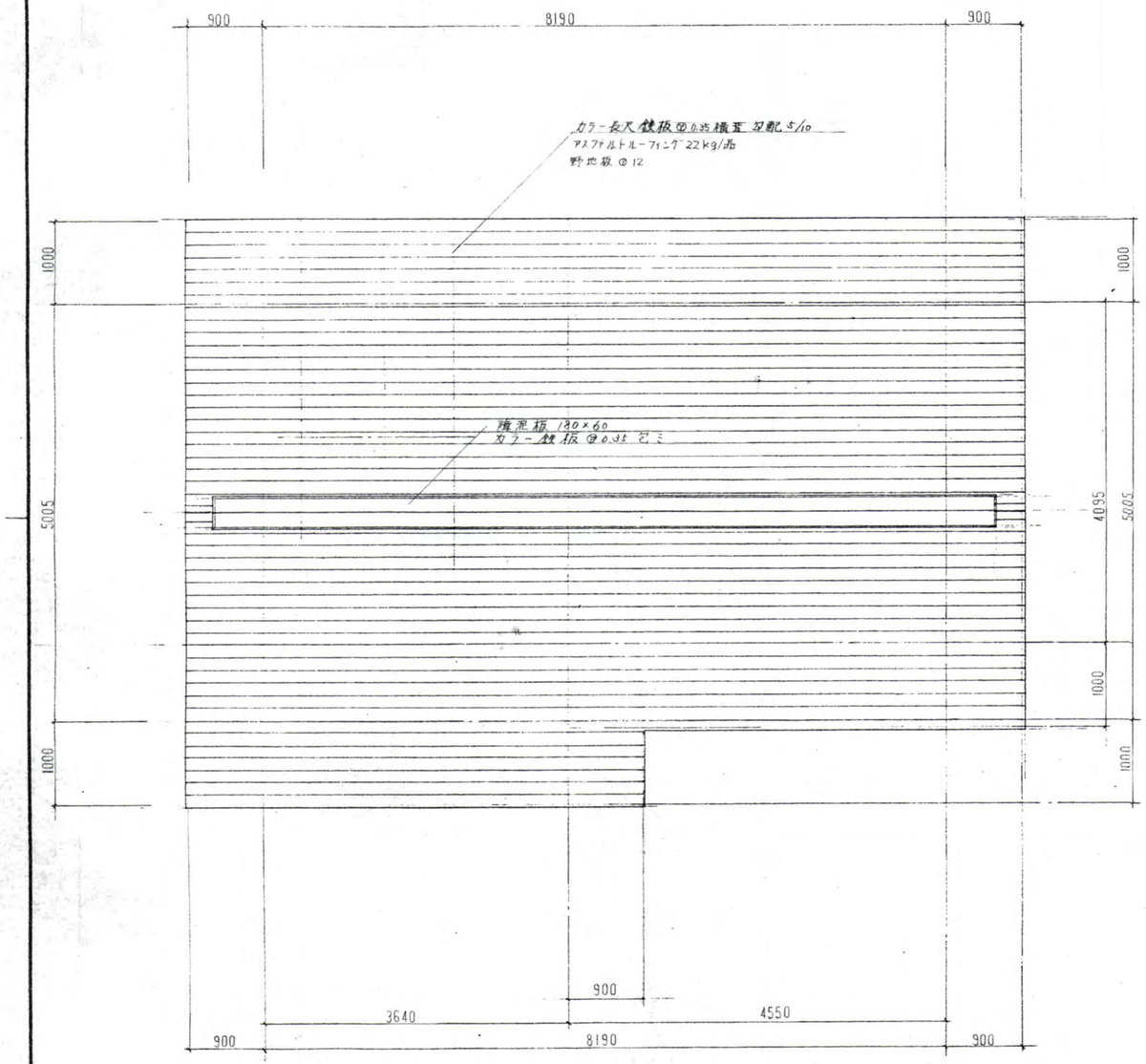
A 立 面 図



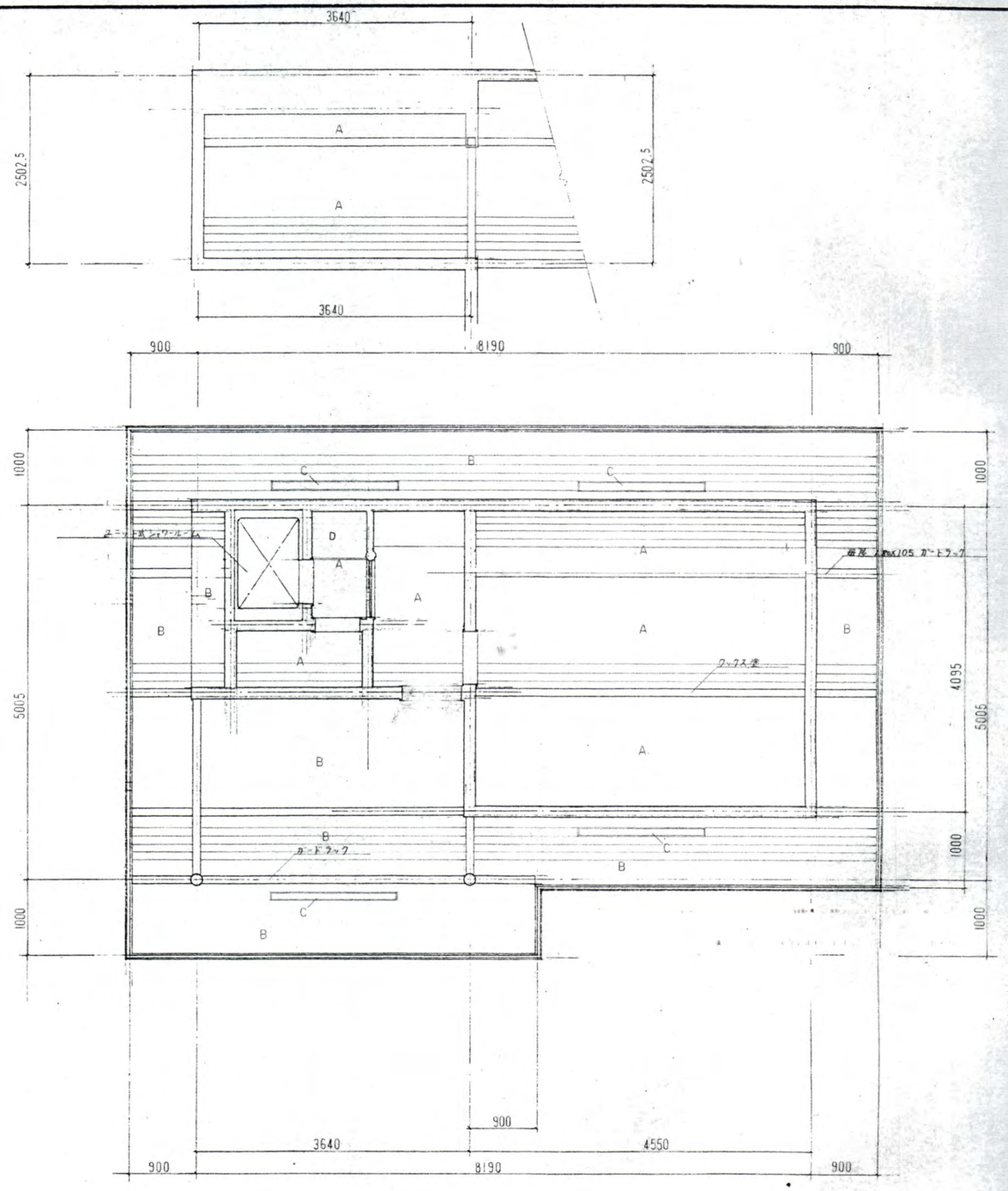
D 立 面 図

A－156

| 訂正 | 月．日 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
| | ・ | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 立 面 図 | 縮尺 1:50 | A 6 |
| | ・ | | | | | | | | | | |




屋根伏図




凡例
A 屋根瓦棒葺鉄板 @.15 ワックス塗
B 〃 上 カードラック塗
C 換気口 鋼板製 1700 × 110 (板ゆ1枚)
D フレキシブルボード @4 EP/A

天井伏図

| 訂正 | 月.日 | |
|---|---|---|
| | . | |
| | . | |
| | . | |

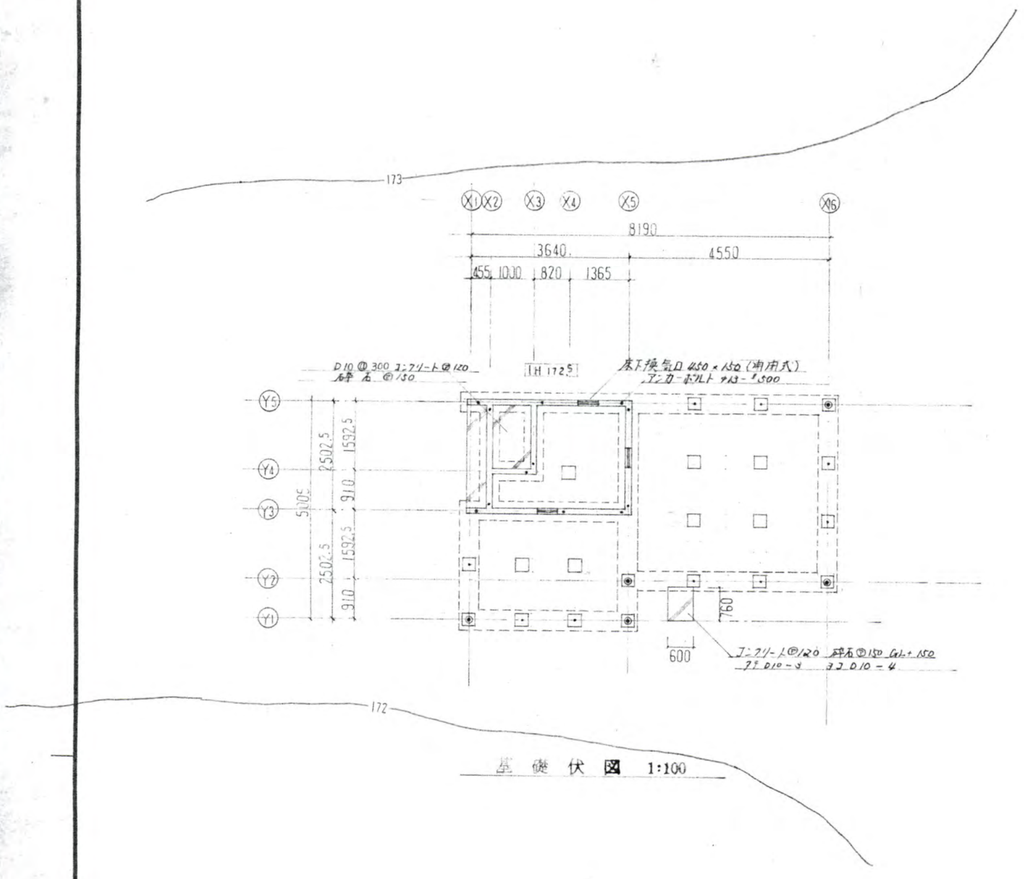
一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

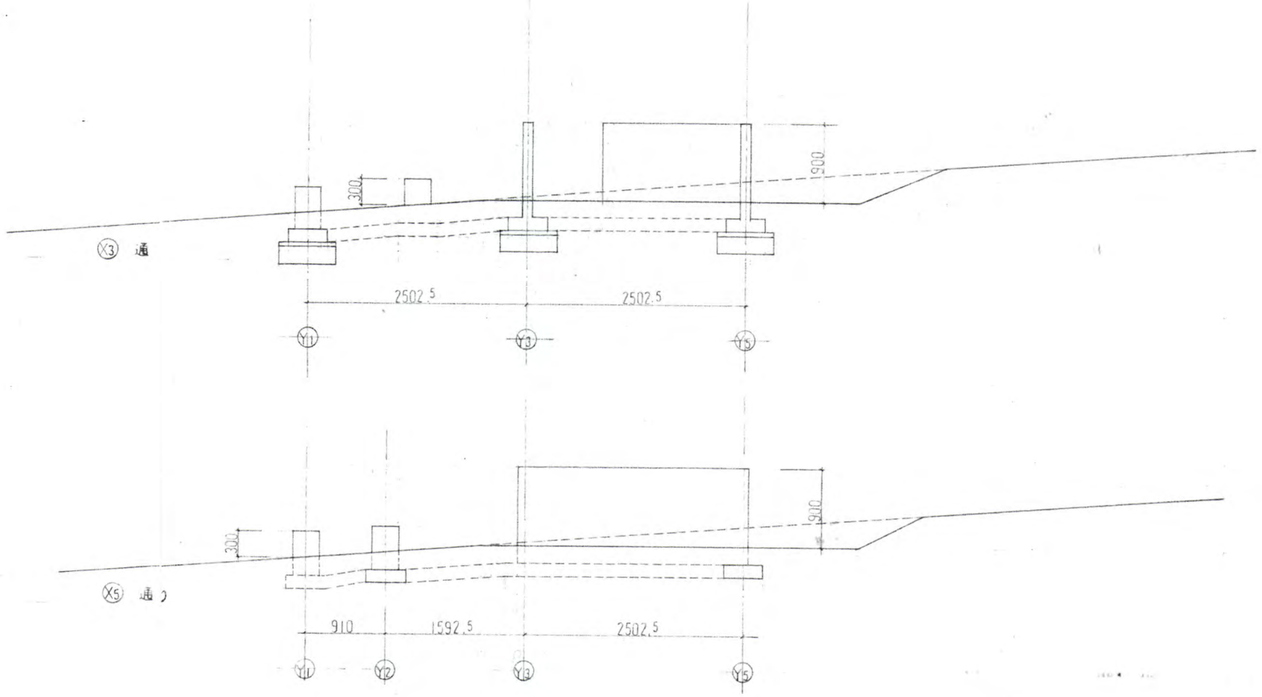
| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 |
|---|---|---|---|
| H 6. 5. | | | |

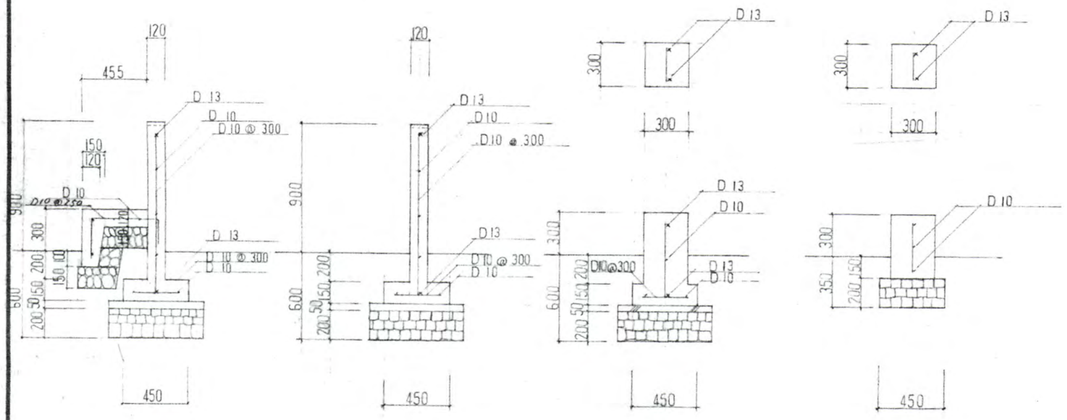
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 A/7 |
| 図面名称 | 屋根伏図 天井伏図 | 縮尺 1:50 | |

A－156



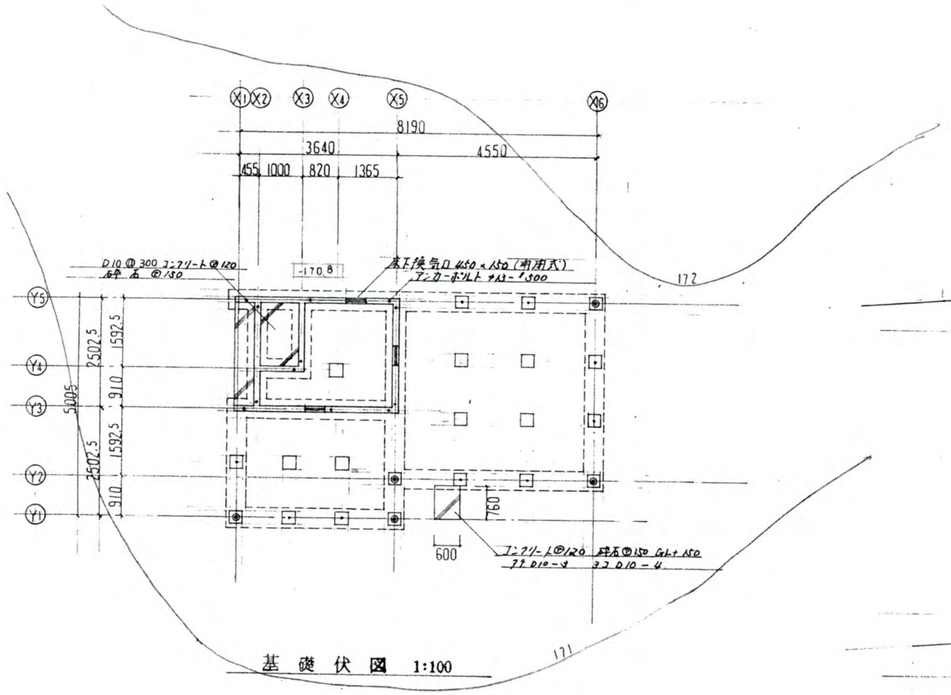

基礎伏図 1:100



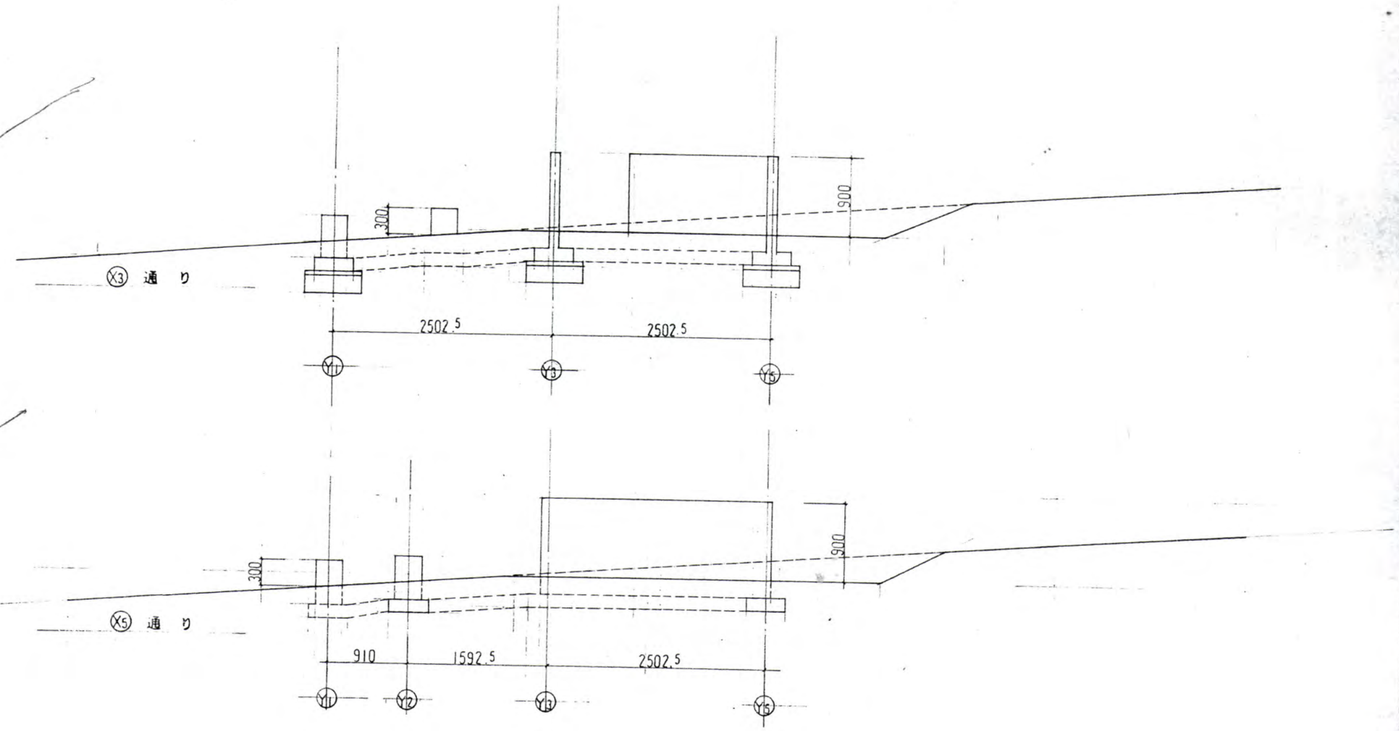



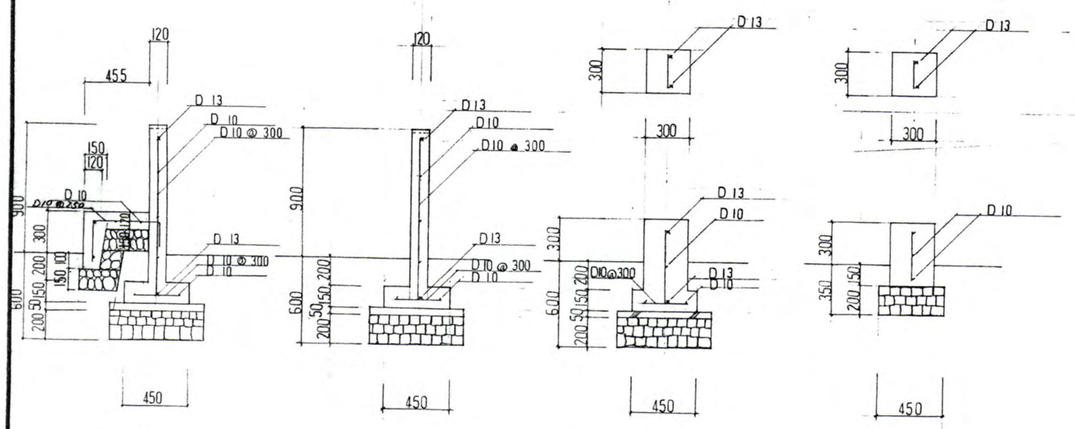

基礎詳細図 1:30

| 訂正 | 月・日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知登録(1106)第447号<br>一級建築士 第123527号<br>菊地良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 基礎伏図 基礎詳細図 | 縮尺 1:100 1:50 | A－1 A 8 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |



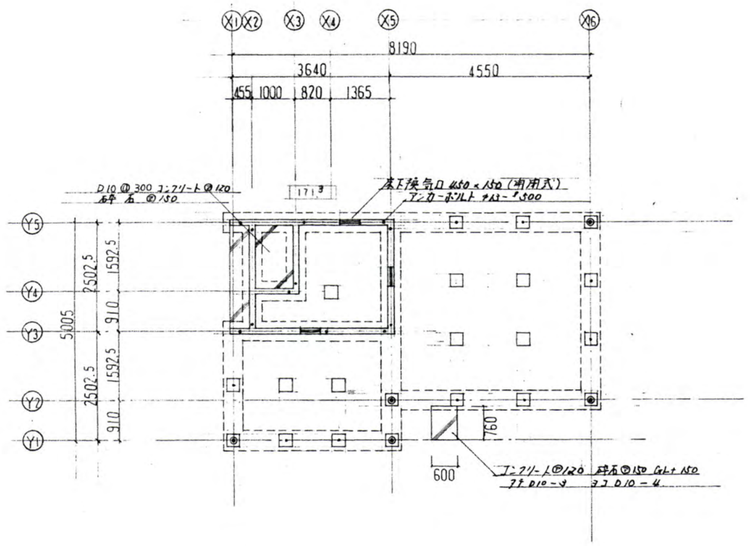

基礎伏図 1:100



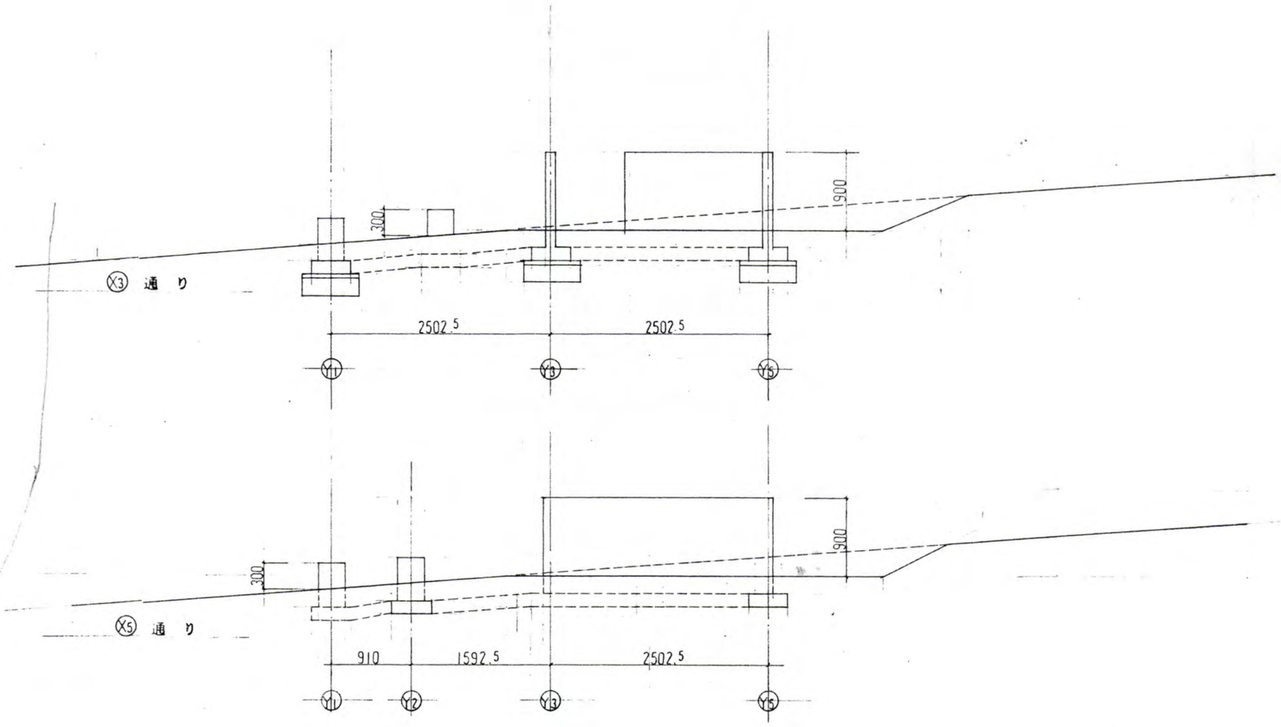



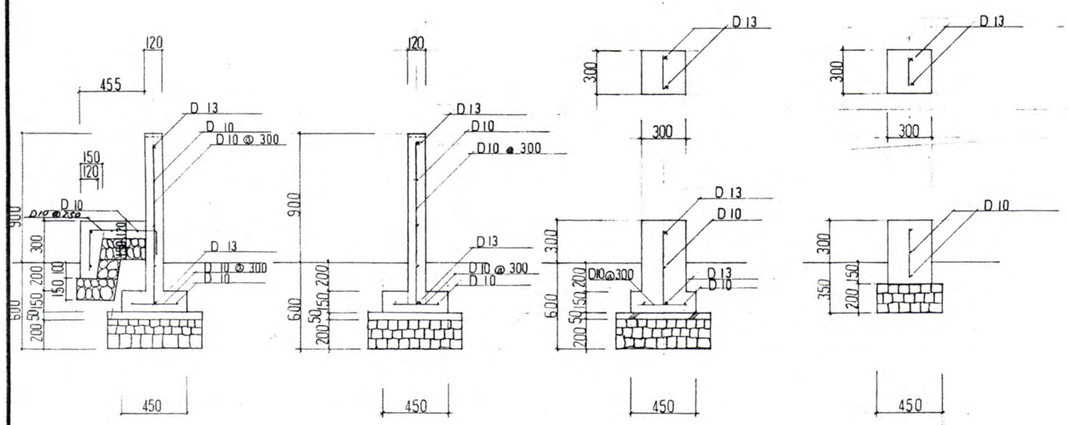

基礎詳細図 1:30

| 訂正 | 月.日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 6. 5 | | | | 図面名称 | 基礎伏図 基礎詳細図 | 縮尺 1:100 1:50 |
| | ・ | | | | | | | | | | A－5 |
| | ・ | | | | | | | | | | A 9 |

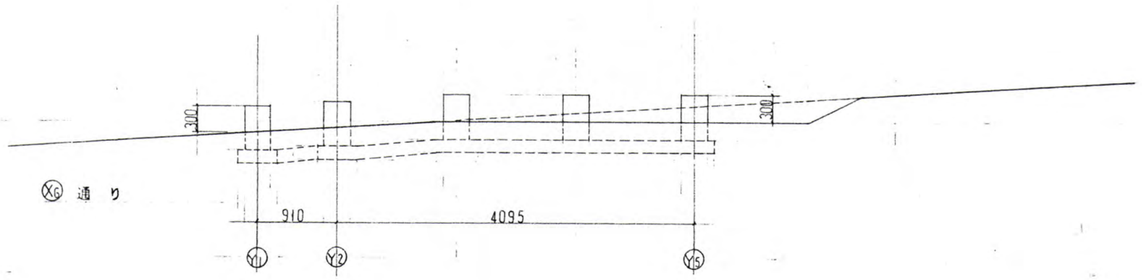



基礎伏図 1:100



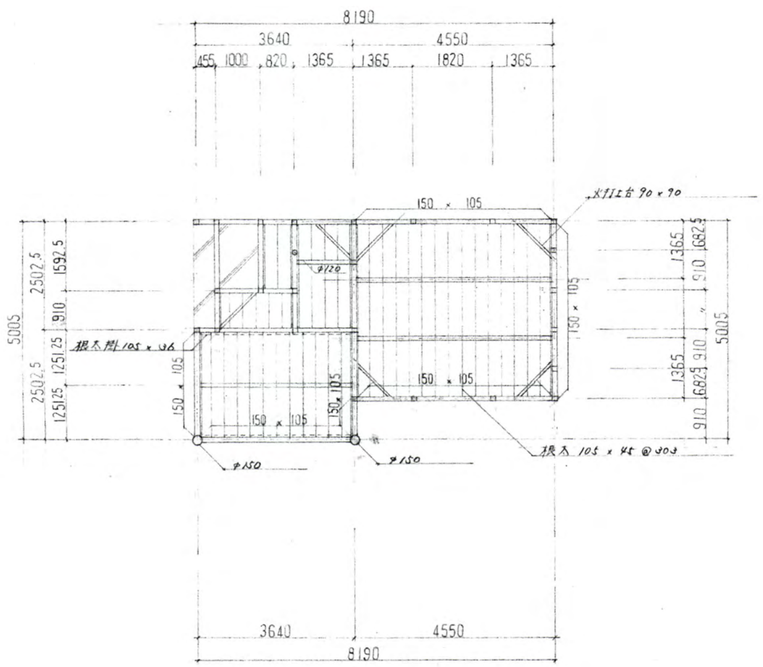



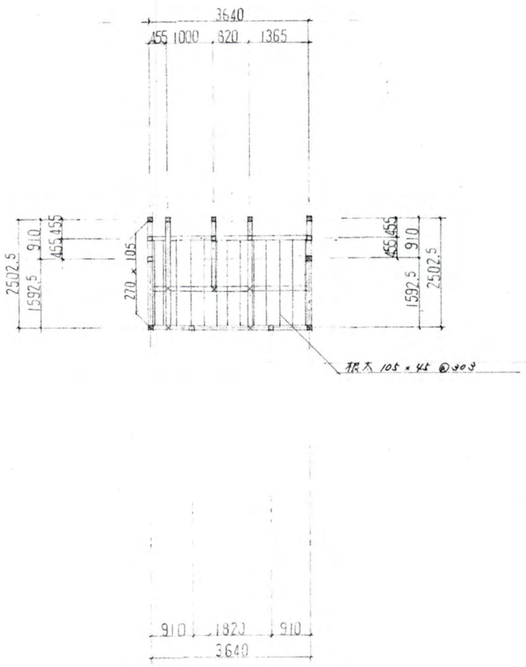

基礎詳細図 1:30

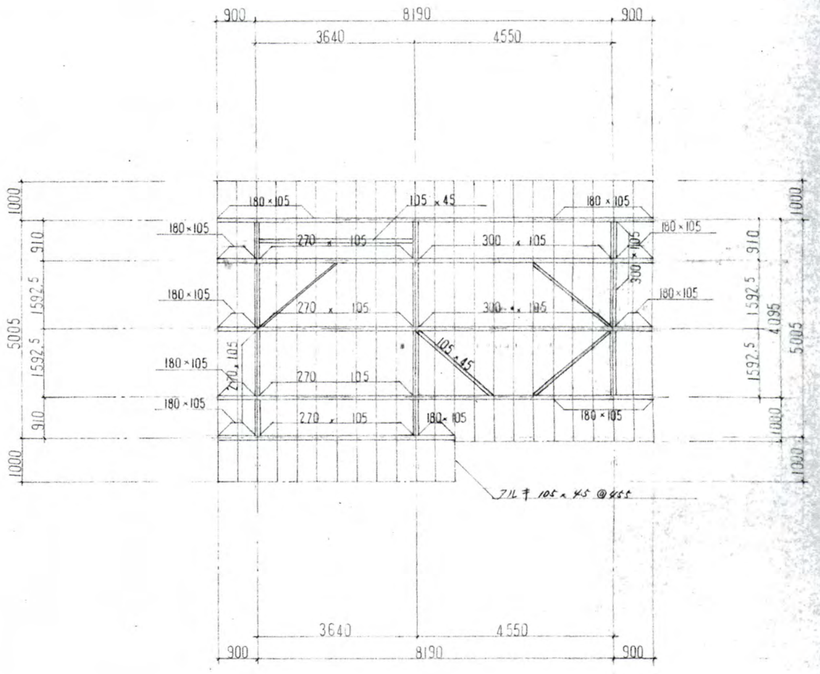



| 訂正 | 月・日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 5. 5. | | | | 図面名称 | 基礎伏図 基礎詳細図 | 縮尺 1:100 1:50 | A 10 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

A－6




凡例
特記ナキ部材ノ全テ 105 × 105
金物ハ全テ隠ヒイトスル
□ ハ天部ノ柱ヲ示ス

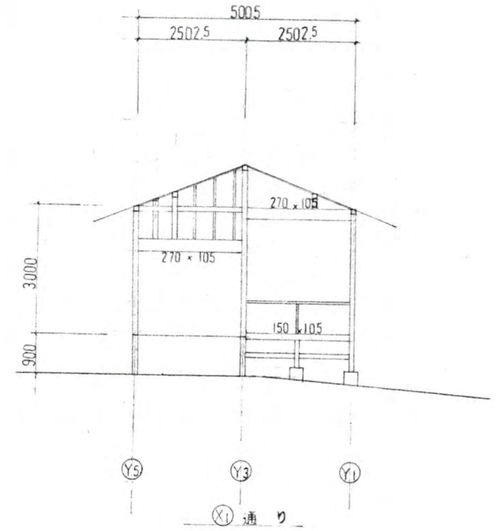
床伏図

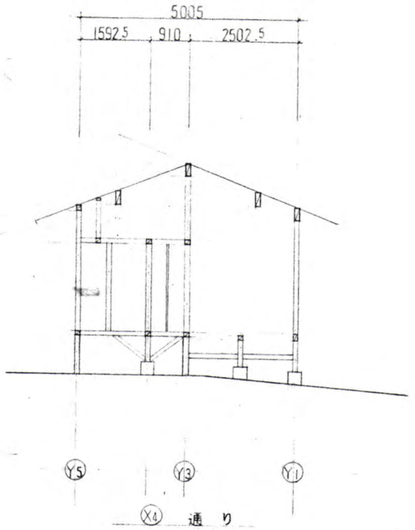
床伏図

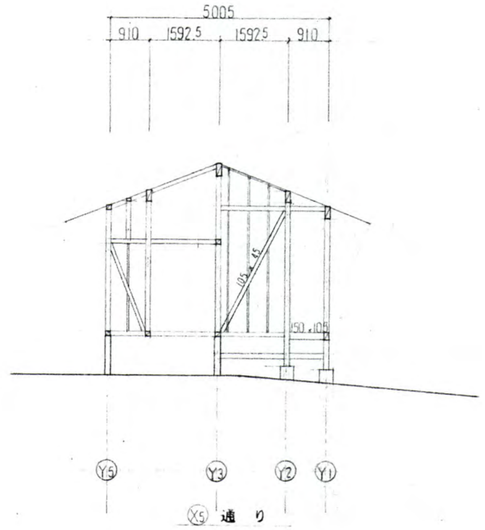
小屋伏図

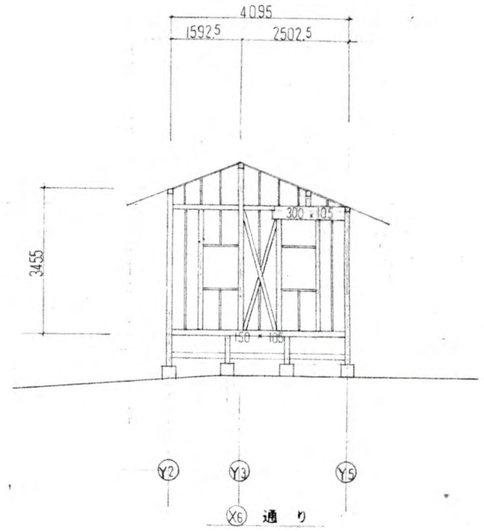
A－1.5.6

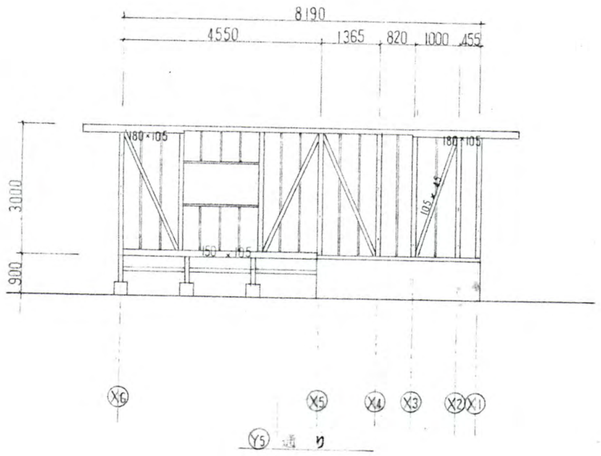
| 訂正 | 月・日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番24号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士 第113527号<br>[illegible] | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 床伏図 小屋伏図 縮尺 1:100 | A / 11 |
| | ・ | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | |

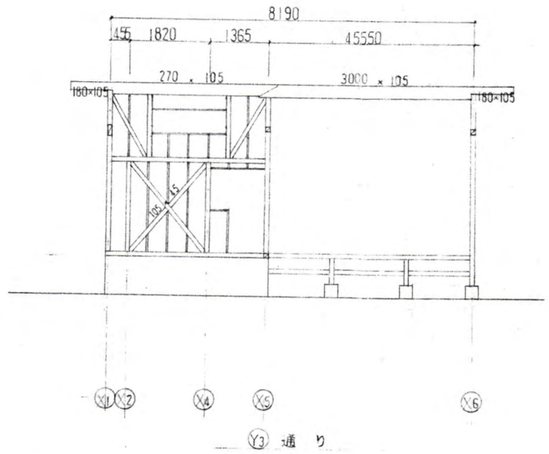


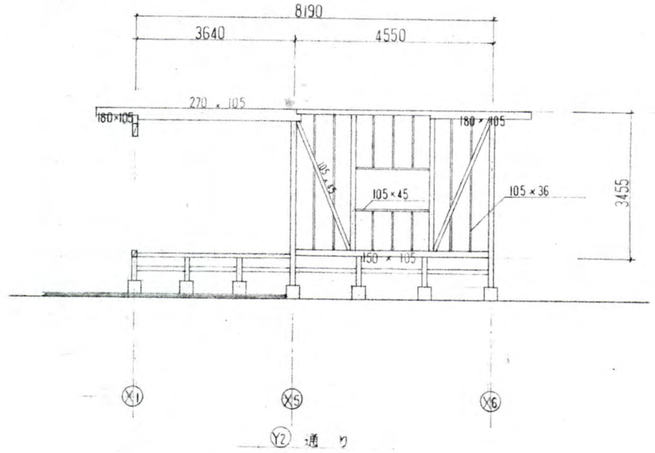



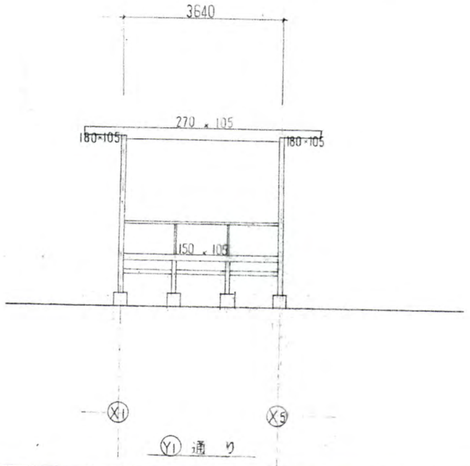



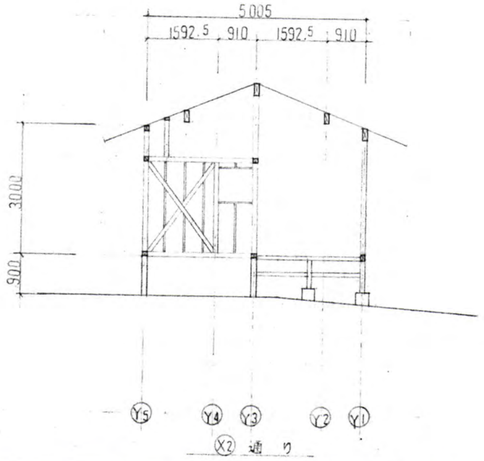




| 訂正 | 月．日 | |
|---|---|---|
| | ． | |
| | ． | |
| | ． | |

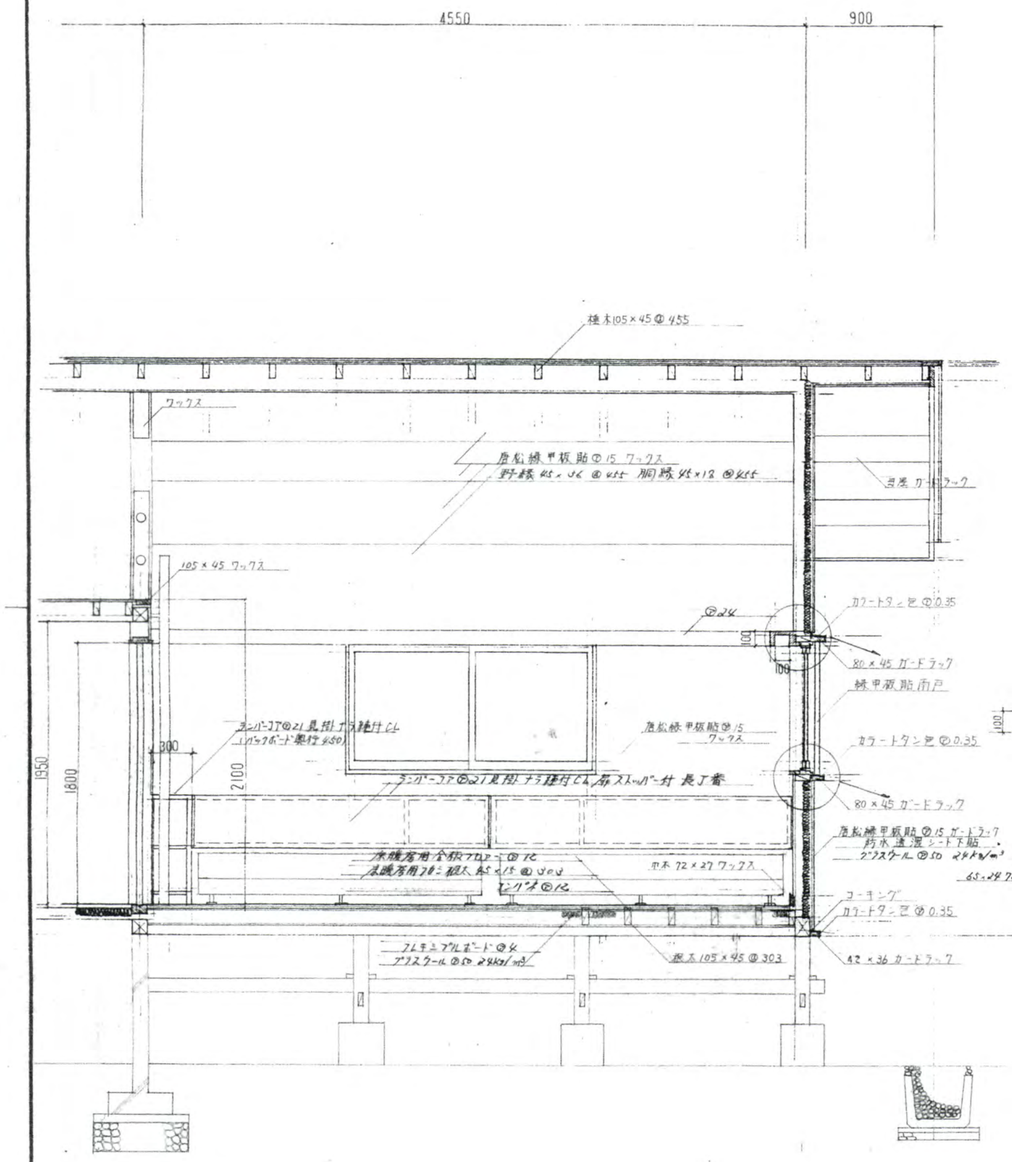
一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

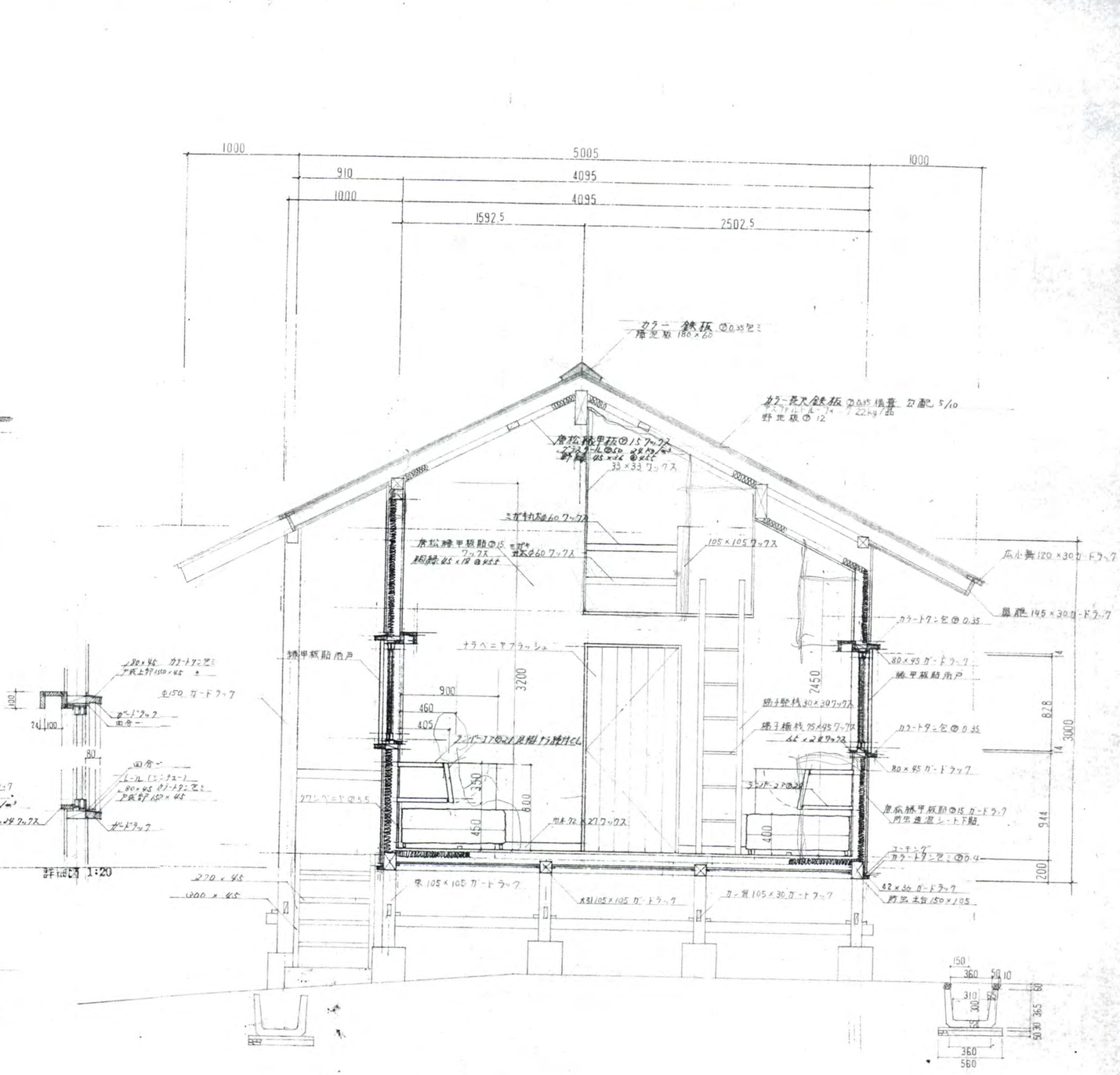
山形県知知事登録(1106)第447号
[illegible]

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| H 6. 5. | | | | 図面名称 | 軸組図 | 縮尺 1:100 |

A－156

A / 12



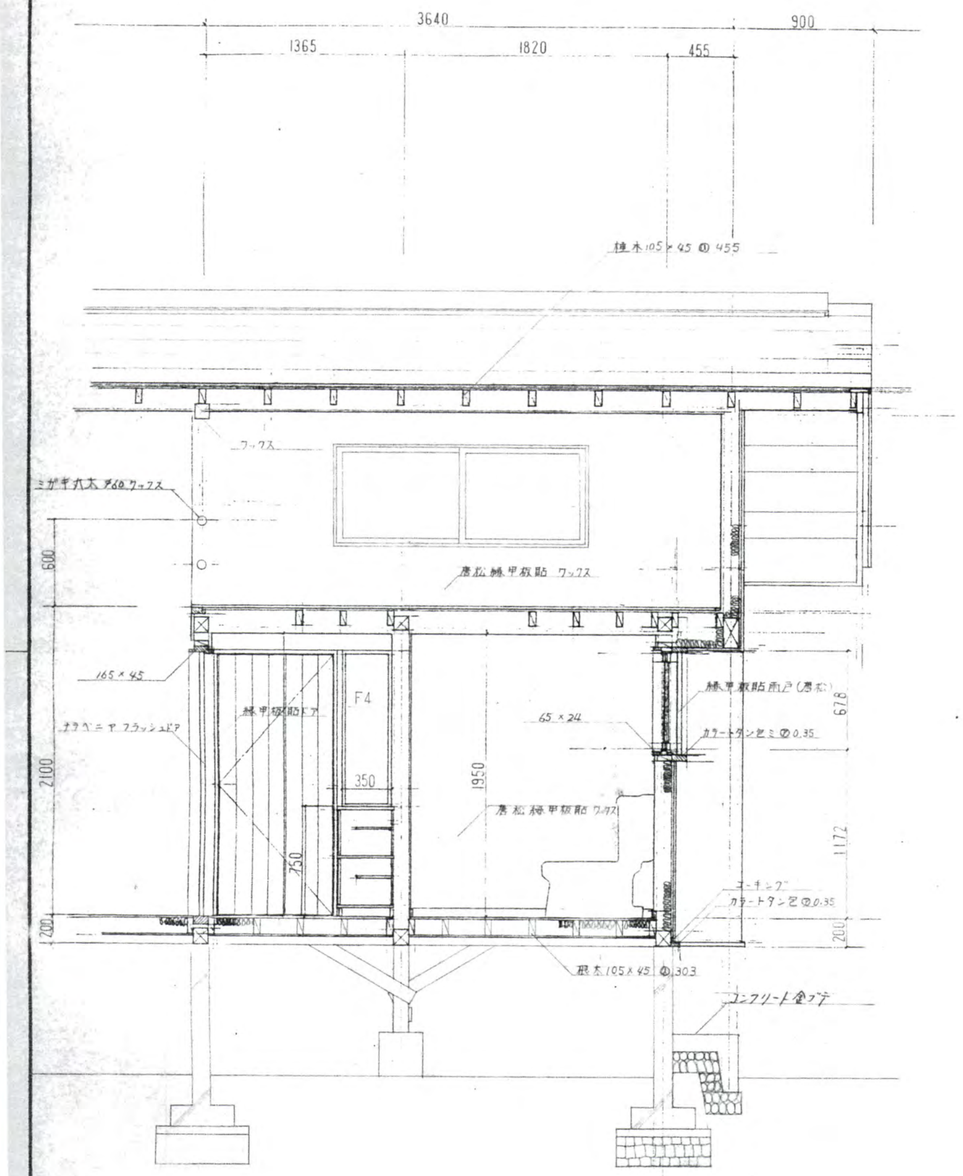



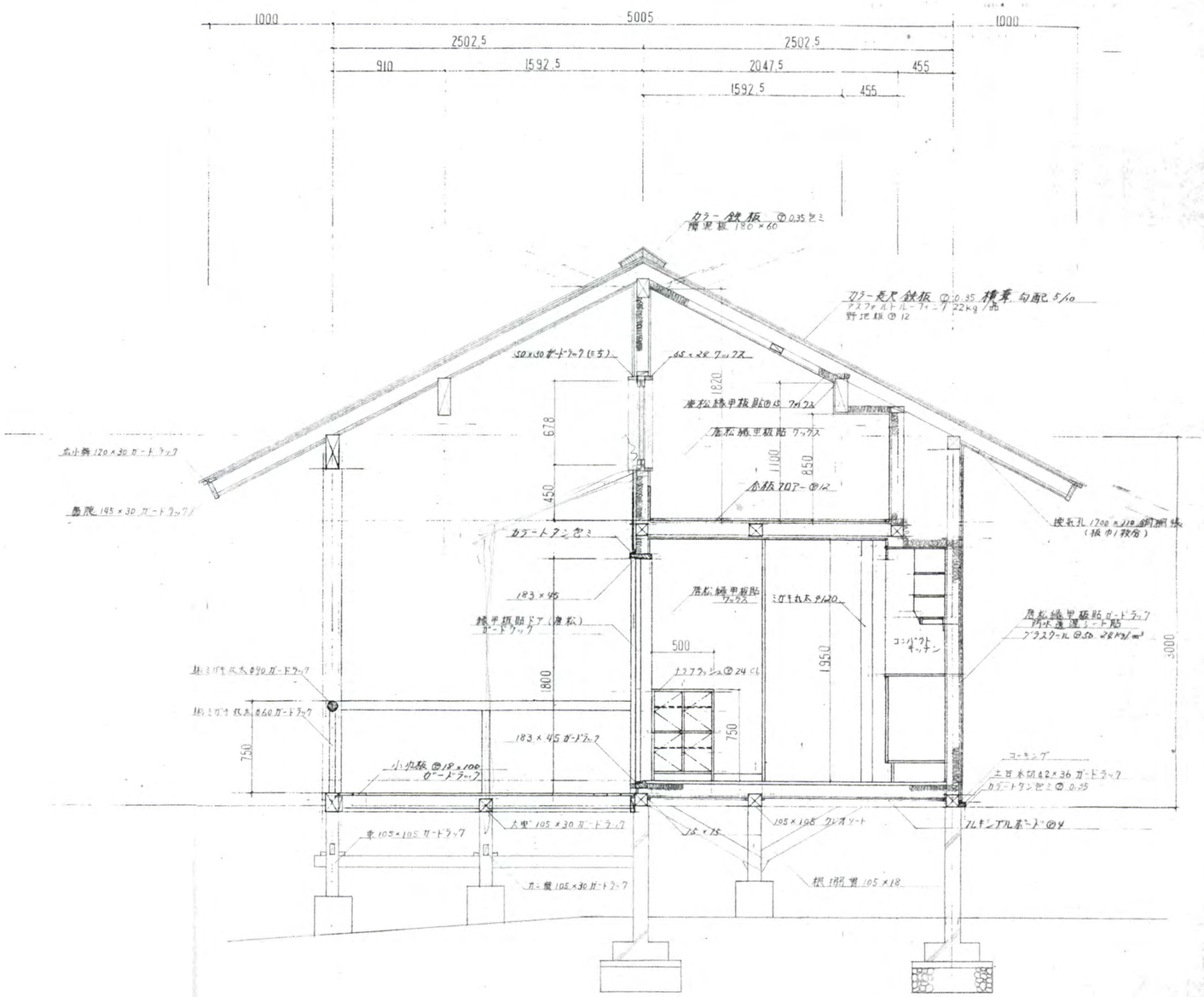

詳細図 1:20

| 訂正 | 月.日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>建築士 第113527号<br>藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 断面詳細図 | 縮尺 1:30 |

A－156

A/13

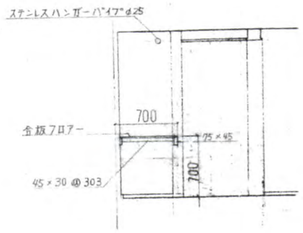


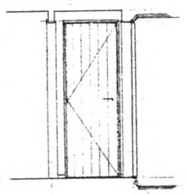

A — 1,5,6

| 訂正 | 月.日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 断面詳細図 | 縮尺 1:30 |

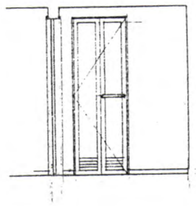
A / 14



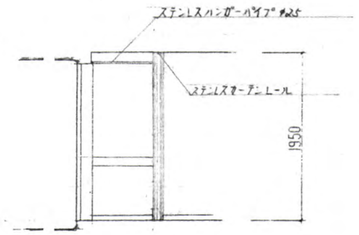

脱衣室 B



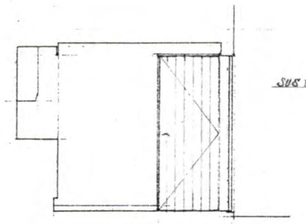
脱衣室 C



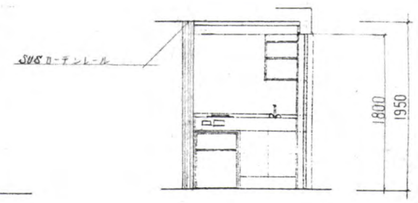
脱衣室 D



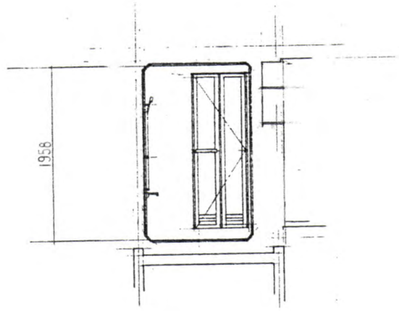

脱衣室 A



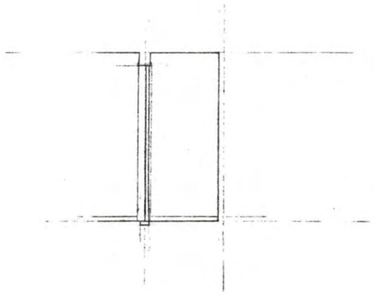
湯沸室 B



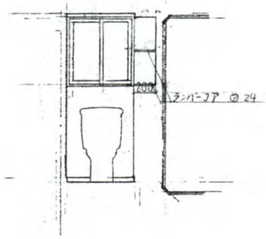

湯沸室 A



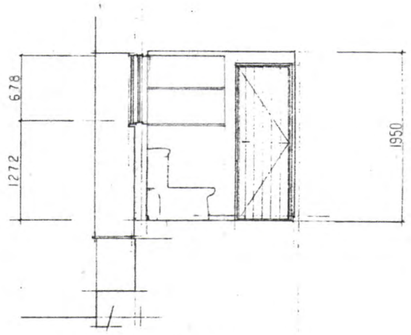

シャワールーム B



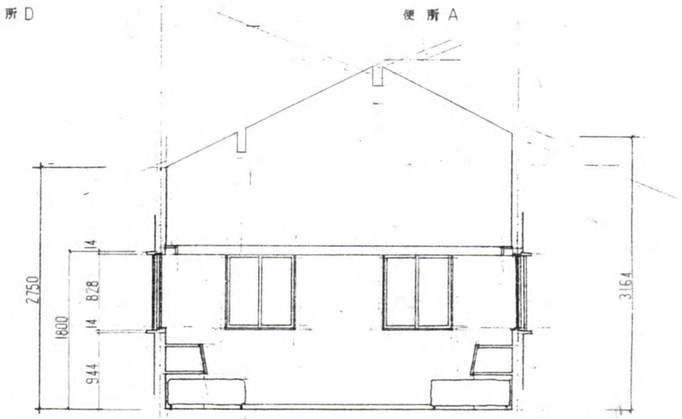
便所 B




便所 D




便所 A




居間 B

※シャワールーム参考品番（SE 801）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ニカイブロ | S 801 | フロアーセット | (GRU 10014) |
| 〃 | 〃 | 壁 セット | (GRU 50511) |
| 〃 | 〃 | ドア セット | (GRU 5164) |
| 〃 | 〃 | 機能壁セット | (GRU 6215) |
| 〃 | 〃 | 鏡 セット | (GRU 6311) |
| 〃 | 〃 | 小物 セット | (GRU 8280) |
| 〃 | 〃 | 長物 セット | (GRU 3808) |
| 2ハンドル壁付 | | 北海道 | (RL 9KF 100GUW ZE) |
| 壁面断熱材パック | | | •(RL 94001) |
| 点検口付 | | | |
| FY-HDA04 | | | |
| 防湿型自然灯 40W | | | |

※コンパクトキッチン参考品番

KE 120 P1 ZL (F) ZW4

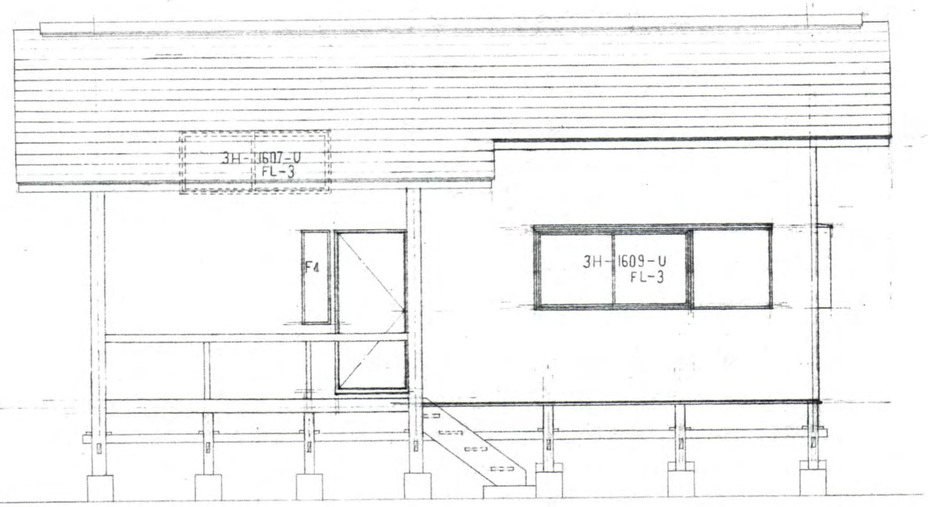
100V 電気式クーキングヒーター

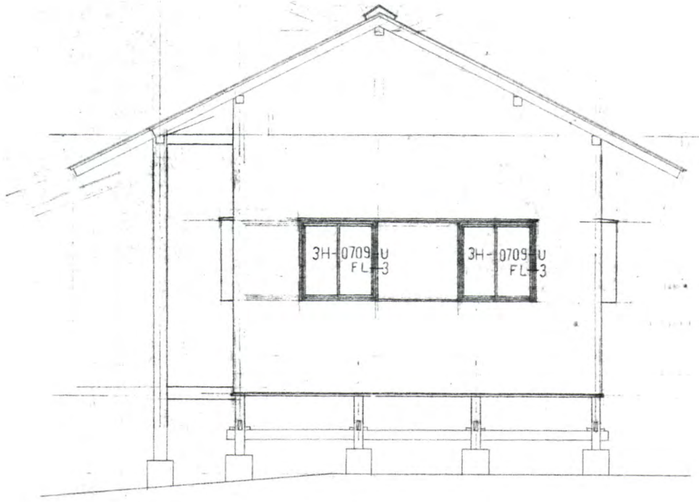
冷蔵庫 換気扇

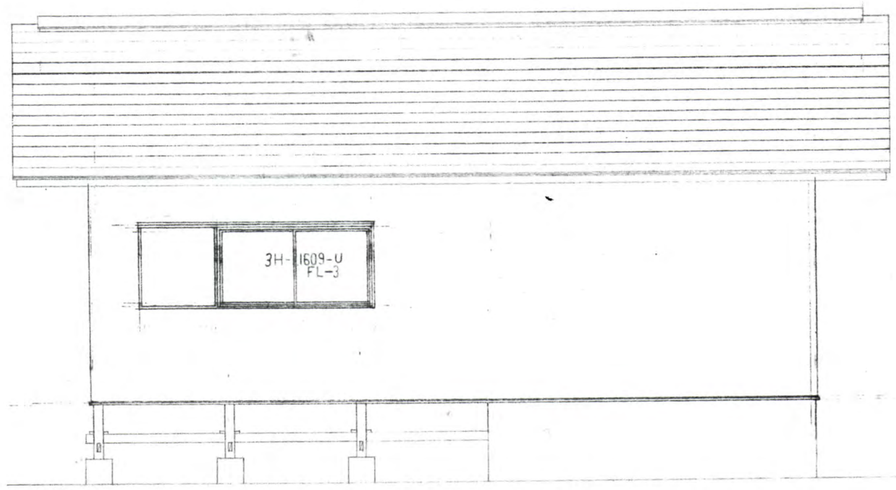
FY-HDA04

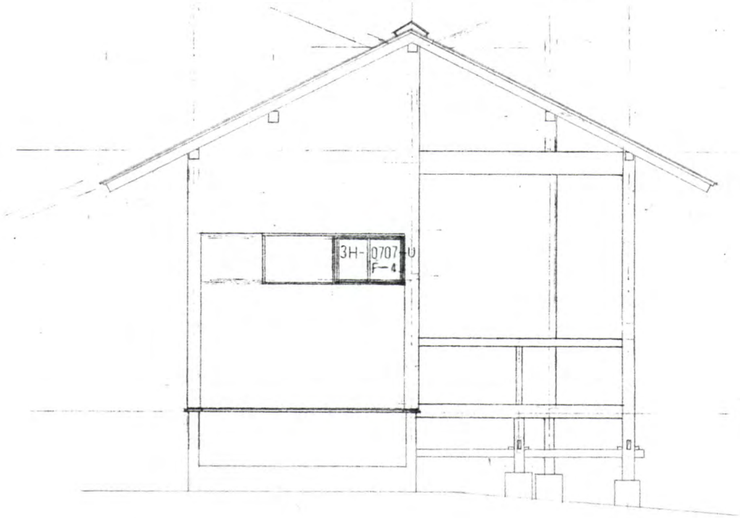
A－1.56

| 訂正 | 月．日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント | 山形県知事登録(1106)第447号 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | 山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535 | 一級建築士第113527号 | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 展開図 | 縮尺 1:50 | A 15 |
| | ・ | | 註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 須藤良介 | | | | | | | | |



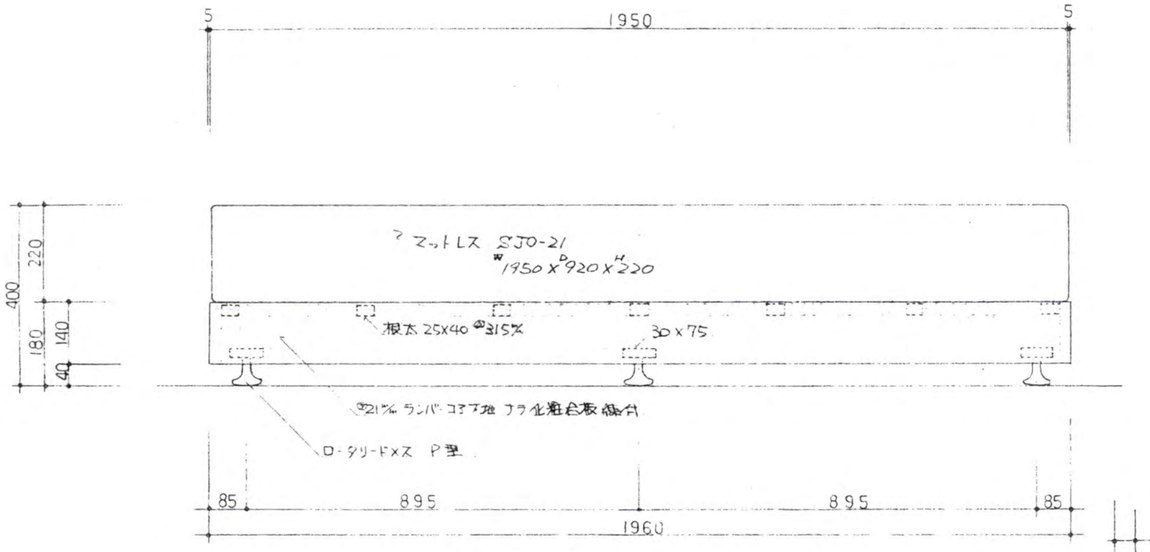



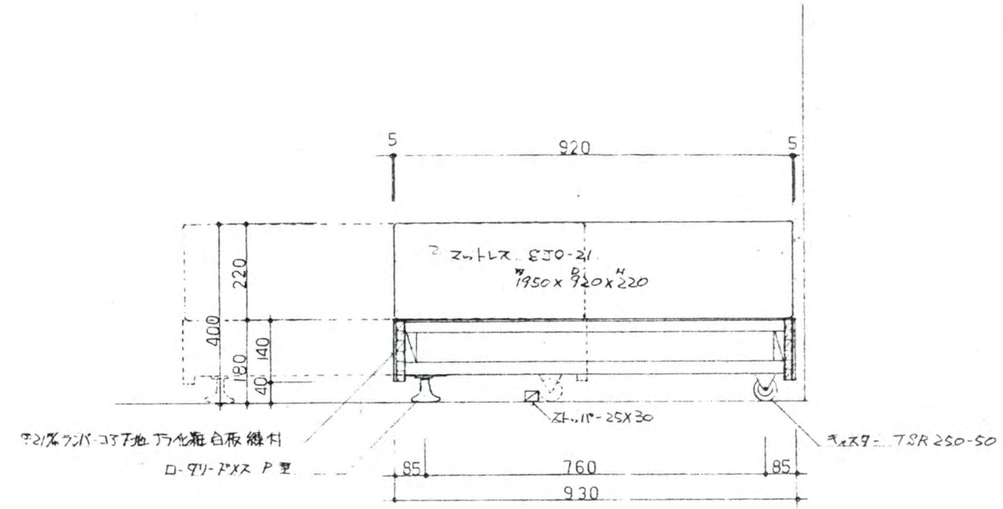

特記事項： 網戸は、FIX 以外のアルミサッシに取付
色は、ホワイト
品番は、ＹＫＫ

A－1.5.6

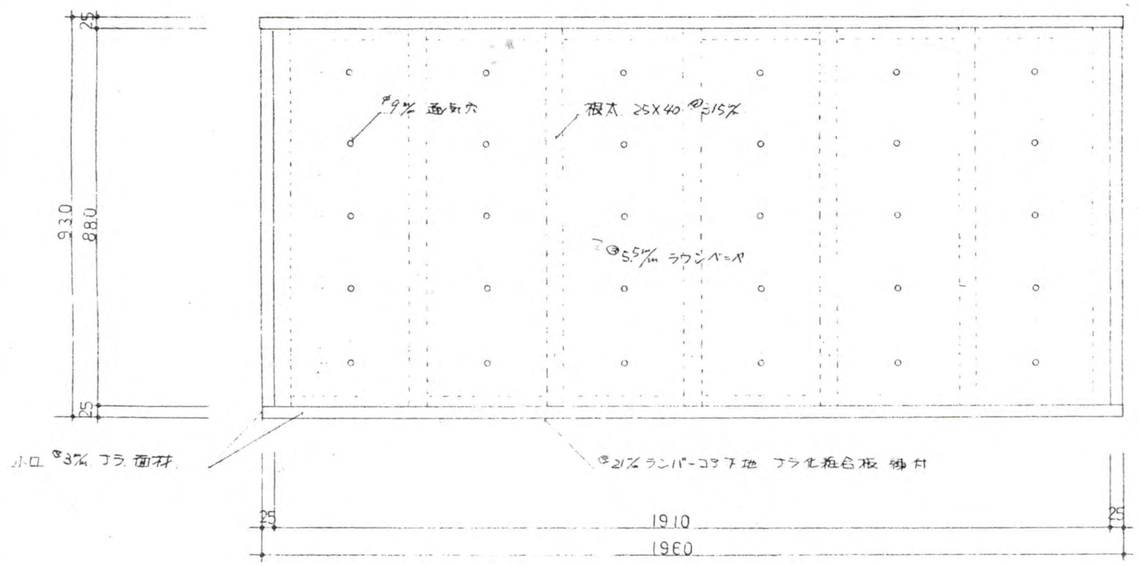
| 訂正 | 月．日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町７番21号 ＴＥＬ(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤 良 介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | 縮尺 1:50 | A 16 |
| | ・ | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | |



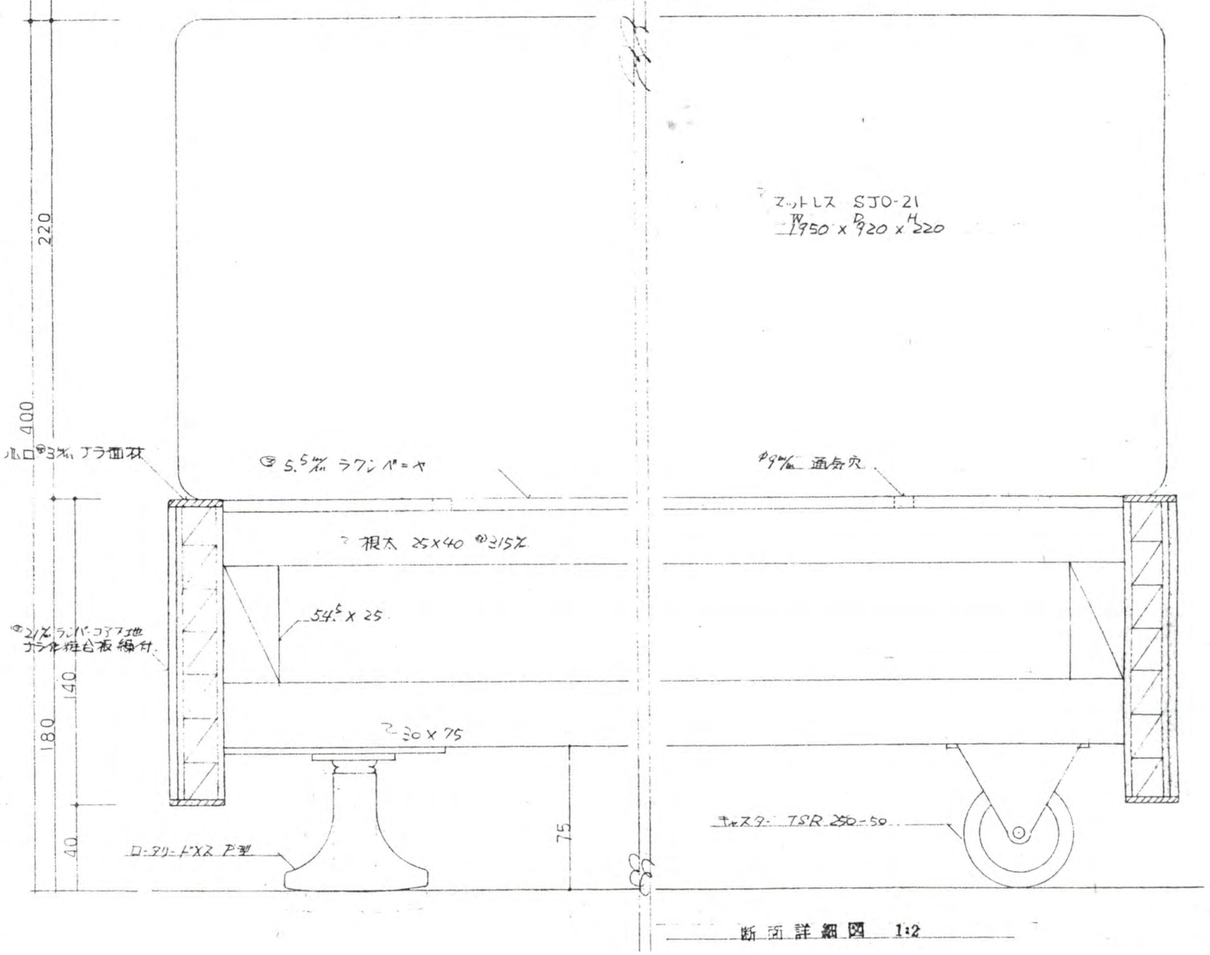

立　面　図 1:10




断　面　図 1:10




平　面　図 1:10




断面詳細図 1:2

A-1.5.6

| 訂正 | 月・日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | ベッド詳細図 | 縮尺 1:10 1:2 | A 17 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

# 仕様書

## I. 工事概要

1. 工事場所　山形県最上郡舟形町長沢字スルス沢地内

2. 建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階数 | 延面積(㎡) | 消防法施行令別表第1の区分 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ガラージ | 木造 | 1 | 43.16 m² | | 3棟 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

3. 工事種目（◎印の付いたものを適用する）

| 工事種目 ＼ 建物別及び階別 | 棟別 | 屋外 |
|---|---|---|
| ・空気調和設備 | | |
| ◎冷房設備 | ○ | |
| ◎暖房設備 | ○ | |
| ◎換気設備 | ○ | |
| ・排煙設備 | | |
| ・自動制御設備 | | |
| ◎衛生器具設備 | ○ | |
| ◎給水設備 | ○ | |
| ◎排水設備 | ○ | |
| ◎給湯設備 | ○ | |
| ・消火設備 | | |
| ・厨房機器設備 | | |
| ◎ガス設備 | ○ | |
| ・し尿浄化槽設備 | | |
| ・焼却炉設備 | | |
| ・ | | |
| ・ | | |

4. 指定部分　・無　・有

5. 設備概要（◎印の付いたものは、主要方式を示す）

| | | |
|---|---|---|
| 空気調和方式等 | ◎空気調和 | ・全空気方式　・ファンコイルユニット・ダクト併用方式<br>◎パッケージ方式（空冷ヒートポンプ式） |
| | ・温風暖房 | ・温風暖房機　・空気調和機<br>・全空気方式　・ファンコンベクター・ダクト併用方式<br>・将来冷房考慮（・ダクト　・配管　・機器）　※考慮外 |
| | ◎直接暖房 | ・蒸気暖房　・温水暖房　◎電気パネルによる直接方式 |
| 給水方式 | ◎水道直結方式　・高置タンク方式 | |
| 排水方式 | 建物内の汚水及び雑排水 | ◎分流式　・合流式 |
| | 放流先　汚水 | ・下水道直放流　◎し尿浄化槽（合併） |
| | 雑排水 | ・下水道直放流　・側溝　・別途例 |
| | | ◎し尿浄化槽（合併） |
| 給湯方式 | ・局所式　◎中央式 | |
| 消火設備方式 | ・屋内消火栓 | （・湿式　・乾式）　・連結送水管 |
| | ・スプリンクラー | （・湿式　・乾式） |
| | ・二酸化炭素 | |

## II. 工事仕様

### 1. 共通仕様

2. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修の機械設備工事共通仕様書（平成5年版）及び機械設備工事標準図（平成5年版）による。（スリーブ・工事は建築工事仕様による）

### 2. 特記仕様

1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項で・◎　※　●印のある場合の適用は下記による。
- ◎印のない場合は※を適用する。
- ◎印のある場合は◎印を適用し・※印は適用しない。
- ◎印と●印のある場合は、共に適用する。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ① 適用基準等 | 工事写真　営繕工事写真作成標準（東北地方建設局営繕部監修・平成2年版）による。<br>完成写真　※ 必要なし　◎ 必要あり（上記の東北土木部監修による）<br>標準色見本帳　東北地方建設局営繕部 平成元年版による。 |
| | ② 主任技術者等の資格 | 本工事の主任技術者等の資格に、下記の者を適用させる。<br>・資格の区分Ⅰを有する者　◎ 資格の区分Ⅱを有する者 |
| | 3. 電気保安技術者 | 工事現場に置く。 |
| | ④ 技能者 | 本工事に下記の当該職種別技能士を適用させる。<br>◎ 配管施工技能士　◎ 熱絶縁施工技能士　・冷凍・空気調和機器施工技能士<br>・建築板金施工技能士 |
| | ⑤ 機材 | 本工事に使用する機材等は、「設備機材等指定名簿（機械の部）」によるほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。 |
| | ⑥ 機材等の検査及び試験 | 共通仕様書による。 |
| | ⑦ 仮設工事 | 図面および特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修の建築改修工事共通仕様書（平成4年版）による。 |
| | ⑧ 監督員事務所 | 設ける（　号……建築工事共通仕様書による） |
| | ⑨ 監督員事務所の備品等 | 監督員事務所には次の備品等を設置する。<br>オフィスチェア |
| | ⑩ 工事用電力、水その他 | 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて請負者の負担とする。 |
| | ⑪ 工事用仮設物 | 構内に作ることが　◎ 出来る　・出来ない |
| | ⑫ 工事車両の駐車場所 | 構内に駐車　◎ 出来る　・出来ない |
| | ⑬ 資機材置場 | 構内に作ることが　◎ 出来る　・出来ない |
| | ⑭ 施工可能時間帯 | 原則として平日の　午前 8 時30分から　午後 5 時30分まで |
| | ⑮ 残土処理 | ※ 構外搬出適切処理　・構内指示の場所に敷ならし　・構内指示の場所にたい積 |
| | ⑯ 発生材の処理 | 引渡しを要するもの　※ なし　・あり（下記による） |
| | | 再生資源の利用を図るもの　※ なし　・あり（下記による） |
| | | 特別管理産業廃棄物　※ なし　・あり（下記による） |
| | ⑰ 完成図・その他 | 共通仕様書による完成図及び保全に関する資料（A4判に簡易ファイルしたもの、原図はケースに収納）を監督員に提出する。 |
| | ⑱ 総合調査 | 各機器の個別運転調整後に下記の総合調整を行う。<br>◎ 風量調整　◎ 水量調整　◎ 室内外空気の温湿度測定<br>・室内気流及びじんあいの測定　・騒音の測定　・初期運転状態の記録<br>◎ 末端水栓の残留塩素濃度の測定　・し尿浄化槽放流水質の測定<br>・機器の絶縁抵抗の測定　・ |
| | ⑲ 容量の表示 | イ) 電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。ただし、防災機器は除く。<br>ロ) 冷・温熱源機器等及び防災機器の能力、容量はその数値以上のものとする。<br>ハ) 電源の周波数は、50Hzとする。 |
| | ⑳ 耐震施工 | 機器の据付用地震力は下記に示す震度に、機器の重量を乗じたものとする。<br>イ) 設計用水平震度<br>地階及び1階床：一般機器 0.4　重要機器 0.6<br>中間階床：0.6　1.0<br>屋上部分（塔屋床含む）：1.0　1.5<br>ロ) 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の½とした値とする。<br>ハ) 重要機器類<br>（高置タンク・受水タンクは機器表による） |
| | ㉑ はつり | 既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによ |
| | ㉒ 施工事との取合い | イ) 端子等については、特に電気請負業者と事前打合せを行う。<br>ロ) 器機付属の制御盤及び操作盤迄の一次側電気工事はすべて　※ 別途　・本工事<br>ハ) 機器付属の制御盤及び操作盤以降の二次側電気工事はすべて　※ 本工事　・別途<br>ニ) すべてのスリーブ入れ及び穿入れは　※ 本工事　・別途<br>ホ) スリーブ及び穿入れの補強工事は　※ 別途　・本工事<br>ヘ) 天井、壁のボード類（軽量鉄骨も含む）の穴明け及び下地切込みは　※ 別途　・本工事 |
| | ㉓ 手続等 | 官公署への諸手続等は選定ゼネコン監督員と協議のうえ、請負者が代行処理する。 |
| | ㉔ 予備品等 | ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、20%納入する。（種別ごと最低1個） |
| | ㉕ 配管の建物躯入部の変位吸収 | 建物躯入部の変位吸収は標準図（施工4）による。<br>対象管　◎ 給水管　◎ ガス管　・油管　・ |
| | ㉖ 管周囲の保護及び埋戻し土・盛土 | イ) 管周囲の保護　◎ 山砂<br>ロ) 埋戻し土　・山砂　◎ 現地発生土 |
| | ㉗ 地中埋設標及び埋設表示用テープ | 地中埋設標及び埋設用テープは、下記による。<br>イ) 給水管　地中埋設標（※ 要　・不要）　埋設用表示テープ（※ 要　・不要）<br>ロ) ガス管　地中埋設標（※ 要　・不要）　埋設表示用テープ（※ 要　・不要）<br>ハ) 油管　地中埋設標（※ 要　・不要）　埋設表示用テープ（※ 要　・不要） |
| | 28. 絶縁フランジ取付箇所 | 図示による。 |
| | 29. 溶接部の非破壊検査 | 対象配管系統<br>検査の種類<br>抜取率　　%. |
| | ㉚ 弁等のサイズ | 特に明記のない弁等のサイズは接続配管サイズに同じ。 |
| | 31. インバーター用制御及び操作盤 | 共通仕様書第2編第3節4.3.2を適用する。<br>適用盤名 |
| | ㉜ その他 | 電気設備工事及び建築工事の特記仕様は別図による。 |
| 空調設備 | ① 温湿度調整目標値 | 外気条件：冬期 −5℃ DB　℃ RH；夏期 −32℃ DB　℃ RH<br>室内（目標値）一般系統：冬期 22℃ DB　℃ RH；夏期 27℃ DB　℃ RH<br>室内（目標値）：℃ DB　℃ RH；℃ DB　℃ RH |
| | 2. ばい煙濃度計 | ・取付ける　・取付けない |
| | 3. ばいじん量測定口 | ※ 取付ける（測定口80φフランジ止）　・取付けない |
| | 4. 煙突 | ※ 別途　・本工事（鋼板厚　mm、高さ　m以上） |
| | 5. 煙道 | ※ 鋼板厚300φ以下は3.2mm、300φを超えるものは4.5mmとする　・図示による<br>410φ以上の煙道には、掃除口に梯番を取付ける。 |
| | 6. ダクト | ※ 低速　※ アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライド） |
| | 7. 風量測定口 | 取付け場所は図示による。取付け面は監督員の指示による。 |
| | 8. 防煙ダンパ | 復帰方式　※ 遠隔式（電動式（定格入力DC24V0.5A以下））<br>※ 順送り　・同時 |
| | 9. 防火ダンパ | 図示のFVDとは、防火ダンパに風量調節機構を組み込んだもので、調節機構は投断的調節機構する。 |
| | 10. 定量ユニット | ・メカニカルタイプ　・風速センサータイプ |
| | ⑪ 配管材料 | イ) 冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）<br>ロ) 冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）<br>ハ) 蒸気管　給気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）<br>還水管　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）<br>ニ) 油管、油用通気管　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）<br>ホ) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管<br>※ 配管用炭素鋼鋼管（白）<br>ヘ) 空調用排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　◎ 塩ビ管（VP）<br>ト) 冷媒管　※ 銅管　◎ 断熱材被覆銅管（20T） |
| | 12. 弁類 | ※ JIS 5kg f/cm²　・JIS 10kg f/cm² |
| | 13. 鋼管用伸縮管継手 | ※ ベロース形　・スリーブ形 |
| | 14. 温度計 | 共通仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。（配管用はし形、ダクト用は丸形）<br>イ) 空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、還気ダクト及び外気ダクト<br>ロ) 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管<br>ハ) パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口 |
| | 15. 瞬間流量計及び測定用タッピング（32mmビトー管流量計用） | イ) 冷凍機又は冷温水発生機の冷水出口　・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）<br>・タッピング　を取り付ける<br>ロ) 冷凍機又は冷温水発生機の冷却水出口　・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）<br>・タッピング　を取り付ける<br>ハ) ボイラー又は熱交換器の温水出口　・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）<br>・タッピング　を取り付ける<br>ニ) 空気調和機の冷温水入口　・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）<br>・タッピング　を取り付ける<br>ホ) 冷温水ヘッダーの各還り管　・瞬間流量計（・固定形　・着脱可能形）<br>・タッピング　を取り付ける |
| | 16. オイルタンク | イ) 遠隔油量指示計　※ 取り付ける　・取り付けない<br>ロ) 計量尺は、青銅製、或鋼製又はアルミ製とし、100ℓ実測目盛刻印とする。計量口は錠付きとする。 |
| | 17. 積算油量計 | ※ 取り付ける　・取り付けない |
| | 18. 消音内貼り | イ) 施工箇所は図示による。<br>ロ) 内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。 |
| | ⑲ 保温 | イ) 建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む）、仕様は冷温水管の項による。<br>ロ) 屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。<br>ハ) 外気取り入れ風道の保温を　※ 行う　・行わない<br>ニ) 屋外の冷媒管の保温外装は　◎ 化粧ケース（樹脂製）とする。<br>ホ) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚　　%とする。 |
| | 20. 電気工事の範囲 | イ) 地震感知器の配管配線は　※ 別途　・本工事<br>ロ) 防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御器から煙感知器迄の配管配線は<br>※ 別途　・本工事 |
| | 21. カセット形ファンコイルユニットの風量分配ダクト | 自己消火性のポリスチレンフォーム製でもよい。 |
| | 1. 準拠事項 | ・暖房　・冷房　・空気調和設備の当該事項に準ずる。<br>・7　・8　・9　・10 |
| 換気設備 | ② ダクトの工法 | イ) 給気用ダクトは　※ アングル工法　・コーナーボルト工法（・　・スライド）<br>ロ) 排気用ダクトは　※ アングル工法　・コーナーボルト工法（・　・スライド） |
| | 3. 一般湯沸器のフード | ※ 別途　・本工事　◎ 一般ースパイラルダクト |
| | 4. 厨房用フード | イ) フードの周囲には幕板（フード面から天井面迄）を　・取付ける　・取付けない<br>ロ) フードコックを　※ 取付ける　・取付けない　◎ 厨房ーステンレスダクト |
| | ⑤ 保温 | イ) 外気取入れ風道は保温する。ただし、送風・排風機は除く。<br>ロ) 全熱交換器に接続するダクトの保温を行う。（ステンレス） |
| 排煙設備 | 1. 風道 | ・亜鉛鉄板製　・鋼板製（1.6mm以上） |
| | 2. 排煙口開放装置 | ・手動式（・ワイヤー式　・電気式）　・手動及び遠隔操作可能なもの |
| | 3. 排煙風量測定方法 | 排煙風量を測定する場合は JIS A 4303の排煙設備検査標準4.2.1−(2)−(c)による。 |
| | 4. 排煙口の形式 | ・可動羽根（スリット共）　・可動パネル |
| 自動制御設備 | 1. 中央監視制御 | ・有り　・無し |
| | 2. 中央監視制御装置の構成機能 | 別紙による |
| | 3. その他 | 室内温、湿度検出器等を2個以上併設して設置する場合は、サーモケースを使用する。 |
| 衛生器具設備 | ① 大便器洗浄弁 | 不凍結給水弁付とする。 |
| | ② 大便器洗浄タンク | ※ ロータンク　※ 手洗なし　◎ 手洗付 |
| | 3. 小便器洗浄装置 | ※ 押ボタン式（不凍結給水弁付）　・水栓　・節水装置<br>節水装置を適用する場合は、別記の選定図によるものとする。 |
| | 4. 小便器洗浄用ハイタンク | ※ 防露形（※ 露出　・いんぺい） |
| | 5. 小便器洗浄管 | ※ 埋込　・一部埋込　・露出 |
| | ⑥ 付属水栓 | 吊こま式（節水こま式）とする。実験器具用は除く。 |
| | ⑦ 注記板 | 大便器及び小便器の最寄の壁に取付ける。（陶器製とする） |
| | 8. 自動水栓 | 電源供給方法（※ AC100V　・乾電池） |
| 給水設備 | 1. 量水器 | 親メーターは　※ 借用　◎ 買取り<br>子メーターは　※ 買取り |
| | 2. 量水器例 | イ) 親メーター用　・水道事業者の指定品　・標準図（機材 47<br>ロ) 子メーター用　・標準図（機材 47　・水道事業者の指定品 |
| | ③ 配管材料 | イ) 一般用<br>・塩ビライニング鋼管（SGP-VA）<br>◎ ・　・（SGP-VB）<br>・　・（SGP-FVA）<br>・　・（SGP-FVB）<br>・ポリ粉体鋼管（SGP-PA）<br>・　・（SGP-FPA）<br>・<br>・<br>ロ) 地中用（屋内地中も含む）<br>◎ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）<br>・　・（SGP-FVD）<br>・ポリ粉体鋼管（SGP-PD）<br>・　・（SGP-FPD）<br>・ビニル管（JIS K-6742）<br>・　・（HIVP）<br>◎ ポリエチレン管（JIS K-6762）<br>・水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管<br>・ |
| | 4. 水栓柱 | 製　長サ　　% |
| | 5. 不凍水栓柱 | 長サ　　% |
| | 6. 散水栓ボックス | 雑付とする |
| | ⑦ 弁類 | 水道直結部分　※ JIS 10kg f/cm²<br>高置水槽以降　※ JIS 5kg f/cm²　・JIS 10kg f/cm² |
| | ⑧ 給水栓 | ・一般水栓　◎ 耐寒水栓 |
| | ⑨ 埋設深さ | ※ 一般敷地内（0.6 m以上）　・敷地内車両通路（1.2 m以上）<br>・公道部分（※ 水道事業者及び道路管理者規定による） |
| | 10. 埋設弁開閉用ハンドル | 本工事に　※ 含む（水道事業者管理以外の弁操作用）　・含まない |
| | ⑪ 保温 | イ) 量水器例内の保温を行う。<br>ロ) 屋外露出管（外、フランジ類を含む）は、共通仕様書第2編2.3.5表e3(ｲ)、厚さは、呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mmとする。<br>ハ) インペ（ビニルパイプ）（ビニルテープ） |
| | ⑫ 水道加入金等 | 水道加入金　・要（・本工事　別途工事）　◎ 不要<br>・その他（　）　・要（・本工事　・別途工事） |
| | ⑬ その他 | 給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。 |
| 排水設備 | ① 屋内汚水管 | イ) 屋内汚水管<br>・排水用塩ビライニング鋼管<br>・コーティング鋼管<br>・メカニカル形排水鋳鉄管<br>・鉛管<br>◎ 塩ビ管（VP）<br>ロ) 屋内雑排水管<br>◎ 配管用炭素鋼鋼管（白）（給湯用配管）<br>・排水用塩ビライニング鋼管<br>◎ 塩ビ管（VP）<br>ハ) 屋外汚水、雑排水管<br>・ヒューム管（1種B形）<br>◎ ビニル管（VP）<br>・コーティング鋼管<br>・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>・<br>ニ) 通気管、空調用排水管<br>・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>◎ 塩ビ管（VP） |
| | ② 満水試験継手 | ◎ 取付けない　・図示した箇所に取付ける |
| | ③ 別途流し | トラップは別途、立管は本工事（接続配管は、硬質塩化ビニル管でもよい） |
| | ④ 試験 | 排水管は、衛生器具などの取付け完了後煙試験又は通水試験を行う。 |
| | ⑤ 放流負担金等 | ◎ 不要　・要（・別途工事　・本工事） |
| 給湯設備 | ① 配管材料 | ◎ 給湯用塩ビライニング鋼管　・銅管　・被覆銅管　・保温付被覆銅管 |
| | ② 弁類 | 給水設備の当該事項による。 |
| | ③ 湯沸器廻り配管 | 機器に接続する給水管、給湯管は銅製又はステンレス製のフレキシブルチューブを使用してよい。 |
| | ④ 湯沸器の排気筒 | ※ 本工事（厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製）　・別途　◎ 干渉 |
| | ⑤ 保温 | 湯沸器排気筒の保温は　※ 行う　◎ 行わない |
| 消火設備 | 1. 配管材料 | イ) 一般<br>・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>・圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch 40）<br>・　・（継目無管）（Sch 80）<br>ロ) 地中埋設部<br>・外面被覆鋼管（SGP-VS）<br>・　・（SGP-PS） |
| | 2. 消火栓開閉弁 | ・JIS 10kg f/cm²　・JIS 20kg f/cm² |
| | 3. 保温 | 屋外露出管については給水管に準じる。 |
| | 4. 2号消火栓の圧力損失 | kg f/cm² 以下 |
| 厨房機器設備 | 1. 厨房機器類 | 図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし、寸法は標準とする。 |
| | 2. 付属制御盤 | 器具付属の制御盤は、製造者規格品とする。 |
| ガス設備 | ① ガスの種別 | ・都市ガス（発熱量　kcal/m³）　都市ガス供給事業者名<br>◎ 液化石油ガス（発熱量12,000kcal/kg） |
| | ② 配管材料 | イ) 一般<br>※ 配管用炭素鋼鋼管（白）<br>※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）<br>・圧力配管用炭素鋼鋼管<br>・銅管<br>・<br>ロ) 地中埋設部<br>・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>◎ ポリエチレン被覆鋼管<br>・塩化ビニル被覆鋼管<br>・ガス用ポリエチレン管<br>・<br>・ |
| | 3. 都市ガス | イ) ガスメーター<br>親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。<br>ロ) 引込み負担金　・不要　・要（・別途工事　・本工事） |
| | ④ 液化石油ガス | イ) ガスボンベは　※ 借用　・買取り<br>（・10kg　・20kg　◎ 50kg　本）<br>ロ) ガスメーター<br>親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。<br>ハ) 転倒防止用の鎖は　※ 本工事　・別途工事<br>ニ) 転倒防止装置は　◎ 本工事とし施工要領は標準図（施工61）による。 |
| | ⑤ ガス漏れ警報器 | 図示の場所に　・取付ける（・分離形　・一体形）◎ 検討まい<br>外部出力端子　（・有り　・なし） |
| | 6. 排気機連動用スイッチ | ガス器具接続配管に　・取付ける（・ガス圧方式　・水圧方式）<br>取付けた部屋には、アクリル製注意板を取付ける。 |
| | ⑦ 埋設深さ | ※ 一般敷地内（0.6 m以上）　・敷地内車両通路（1.2 m以上）<br>・公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による） |
| | 8. その他 | 配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 |
| し尿浄化槽設備 | 1. 処理能力 | 人、　m³/d、（処理水量　ℓ/日・人） |
| | 2. 放流水質 | BOD　mg/ℓ以下、SS　mg/ℓ以下、<br>BOD　20mg/ℓのとき、BOD除去率　%以上 |
| | 3. 処理方式 | ※ 単独処理（分離接触ばっ気方式又は分離ばっ気方式）<br>・小規模合併処理（・分離接触ばっ気方式　・嫌気濾床接触ばっ気方式）<br>・合併処理（・回転板接触方式　・接触ばっ気方式　・長時間ばっ気方式） |
| | 4. 主要構造 | ※ ユニット形（FRP製、槽外形寸法　約　L×　W×　Hm） |
| | 5. 総電気容量 | ・単相　V　Kw　・3相　V　Kw |
| | 6. ブロワー装置及び基礎 | イ) 外部に設置するブロワー装置は鉄板製カバー付とし、コンクリート基礎上に固定する。<br>ロ) ブロワー装置の付属ケーブル（キャブタイヤケーブル）を約　m取付ける。<br>ハ) ブロワー装置を2基設置する場合はタイマーによる自動交互運転とする。 |
| | 7. 流入方式 | 設計GL−約　m　※ 自然流入方式　・ポンプアップ方式 |
| | 8. 流出方式 | ※ 自然流出方式　・ポンプアップ方式 |
| | 9. 臭突 | ※ 本体に通気口のない場合は不要とする。 |
| | 10. ポンプ槽 | 十分な容量の　・流入　・流出　ポンプ槽を付属する。 |
| | 11. ポンプ | ※ 流入用及び流出用ポンプは十分な揚量、揚程とする。 |
| | 12. 制御盤 | ※ 制御盤には漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。<br>・製造者標準品とする。 |
| | 13. 防臭ふた | ※ 本工事（・MHA形　・MHB形　・製造者規格品）　・別途 |
| | 14. 装置強度 | 強度は下記条件を満足するものとする。<br>※ 製造者標準形　・耐荷重形（積載荷重とも　TON　以上走行駆車可能なもの） |
| | 15. 土工事 | イ) 基礎坑　・要（※ 別途　・本工事）　・不要<br>ロ) 基礎コンクリート　・要（※ 本工事　・別途）　・不要<br>ハ) 根切り　（※ 本工事　・別途）<br>ニ) 埋戻し　（※ 本工事　・別途）<br>ホ) 山止め　・要（※ 本工事　・別途）　・不要<br>ヘ) 水替え　・要（※ 本工事　・別途）　・不要 |
| | 16. 消毒剤 | 30日分を納入する。 |
| | 17. 水質表示等の提出 | 一定期間定常状態において使用後、放流水質性能等を記入した水質表を提出する。 |
| | 18. フローシート | 合成樹脂製パネル（厚さ4mm以上、文字は掘込み）を取付ける。 |
| | 19. 消毒装置 | ・ノズル式　・消毒剤式 |
| 焼却炉設備 | 1. 構造 | ケーシングは鋼板製とし内部に耐火レンガ又は耐火キャスタブルを使用したものとする。 |
| | 2. 煙突 | ・本工事（・製造者規格品（板厚、高さ共、集じん機付）　・図示による（板厚　mm、高さ　m以上））　・別途 |
| | 3. 煙道 | 鋼板製　・3.2mm　・4.5mm |
| | 4. 断熱 | 煙道の断熱工事を　・行う　・行わない |
| | 5. 付属品 | 火掻棒及び灰掻棒などを、一式納入する。 |

| 訂正 | 月・日 |
|---|---|
| | ・ |
| | ・ |
| | ・ |


一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント　山形県知事登録
山形県村山市楯岡二日町7番21号　TEL (55)3535　一級建築士
註：設計変更の際は建築士法第19条による事　須藤


| 決裁(1106)第447号 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第113527号 良介 | H.6. 5 | 古瀬 | | 須藤 | 図面名称 | 特記仕様書 | 縮尺 | A-156 M 1 |

# 設備機材等指定名簿　（機械の部）　平成5年度

## JISマーク表示品目

注「JISマーク表示品目」とは、工業標準化法第19条の規定に基づくJISマークの表示をした機材をいう。

| 品目 | 機材名 | 適用範囲 | 記事 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 管 | 鋼管 | | JIS G 3452（配管用炭素鋼鋼管）<br>JIS G 3442（水道用亜鉛めっき鋼管） | |
| | スケジュール鋼管 | | JIS G 3454（圧力配管用炭素鋼鋼管） | |
| | ステンレス鋼管 | | JIS G 3448（一般用ステンレス鋼鋼管） | |
| | 銅管 | | JIS H 3300（銅及び銅合金継目無管） | |
| | ビニル管 | | JIS K 6741（硬質塩化ビニル管）<br>JIS K 6742（水道用硬質塩化ビニル管） | |
| | ポリエチレン管 | | JIS K 6762（水道用ポリエチレン管） | |
| | ヒューム管 | | JIS A 5303（遠心力鉄筋コンクリート管） | |
| 継手 | 鋼管及び外面被覆鋼管継手 | | JIS B 2301（ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手）<br>JIS B 2302（ねじ込み式鋼管製管継手） | |
| | 鋼管継手 | | JIS B 2303（ねじ込み式排水管継手） | |
| | ビニル管継手 | | JIS K 6739（排水用硬質塩化ビニル管継手）<br>JIS K 6743（水道用硬質塩化ビニル管継手） | |
| 弁 | 青銅弁 | | JIS B 2011（青銅弁） | |
| | 鋳鉄弁 | | JIS B 2031（わずみ鋳鉄弁）<br>JIS B 2051（可鍛鋳鉄10Kねじ込み形弁）<br>JIS B 2062（水道用仕切弁） | |
| | 鋼鋼弁 | | JIS B 2071（鋼鋼フランジ形弁） | |
| 板 | | | JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） | |
| 保温材 | ロックウール保温材 | | JIS A 9504（ロックウール保温材） | |
| | グラスウール保温材 | | JIS A 9505（グラスウール保温材） | |
| | ポリスチレンフォーム保温材 | | JIS A 9511（ポリスチレンフォーム保温材） | |
| 衛生陶器及び紙器 | 陶生陶器 | | JIS A 5207（陶生陶器） | |
| | 水栓 | | JIS B 2061（給水栓） | |
| 自動空気抜器 | 放熱器トラップ | | JIS B 8402（暖房用放熱器トラップ） | |
| 接合材 | 床排水 | | JIS Z 3211（軟鋼用被覆アーク溶接棒）<br>JIS Z 3321（溶接用ステンレス鋼棒及びワイヤ） | |
| 浄化槽構成部品 | し尿浄化槽構成部品 | | JIS A 4101（ガラス繊維強化プラスチック製浄化槽構成部品） | |

## 水マーク表示品目

注「水マーク表示品目」とは、日本水道協会水道検査印のまマークの表示をした機材をいう。

| 品目 | 機材名 | 適用範囲 | 記事 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 管及び継手 | ライニング鋼管 | SGP−VA（一般配管用）<br>SGP−VD（地中配管用） | JWWA K 116（水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管） | |
| | ポリ粉体鋼管 | SGP−PA（一般配管用）<br>SGP−PD（地中配管用） | JWWA K 132（水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管） | |
| | ビニル管 | | JWWA K 118（水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管） | |
| | ビニル管継手 | | JWWA K 119（水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管継手） | |
| | 鋳鉄管 | | JWWA G 113（水道用ダクタイル鋳鉄管）<br>JWWA G 114（水道用ダクタイル鋳鉄異形管） | |

## 認定品目等

注「認定品目等」とは、認定委員会などで認定又は評定され、認定証等・評定マークなどを貼付したものをいう。

| 品目 | 機材名 | 適用範囲 | 記事 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 保温材 | ポリスチレンフォーム保温材 | 保温筒及び筒以外の成形品 | JIS A 9511（ポリスチレンフォーム保温材）のJISマーク表示許可工場で製造されたもの。 | |
| ポンプ | 消火ポンプユニット | | (財)日本消防設備安全センターの認定証票が貼付されたもの。 | |
| ガス湯沸器 | 貯湯湯沸器 | | ガス事業者が認定するもの、ただしLPG用は(財)日本ガス機器検査協会の認定証票が貼付されたもの。 | |
| | 瞬間湯沸器 | | ガス事業者が認定するもの。 | |
| 排煙機 | 排煙機 | | (財)日本排煙センターの性能評定マークが貼付されたもの。 | |
| ガス漏れ警報設備 | ガス漏れ警報器警報器連動遮断装置 | | (財)日本ガス機器検査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。 | |
| | ガス漏れ警報装置 | 中継器・受信機 | 日本消防検定協会の合格証票が貼付されたもの。 | |
| | ガス遮断装置 | | 日本エルピーガス機器検査協会の検査合格証が貼付されたもの。 | |

## 製造業者等指定品目

注「製造業者等指定品目」とは、機材名欄に記載してあるものについて、製造業者等を指定したものをいう。

| 品目 | 機材名 | 適用範囲 | 製造業者等名 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 衛生陶器及び紙器 | 小便器用節水ユニット | 光合感知方式タイムスイッチ方式 | 7070 | |
| ポンプ | うず巻ポンプ多段ポンプ | | | |
| | 汚水・雑排水汚物用水中モータポンプ | 電動機が乾式であるもの | | |
| | | 電動機が油封式であるもの | | |
| タンク | FRP製パネルタンク | | | |
| | 鋼板製パネルタンク | | | |
| 弁及び継手 | 減圧弁（蒸気用）蒸気調整弁ベローズ形伸縮継手 | | | |
| | ライニング弁 | | | |
| | バタフライ弁 | | | |
| 消火設備 | ハロゲン化物消火システム | | | |
| | スプリンクラー消火システム | | | |
| ふた | ふた（鋳鉄製） | | 長谷川鋳工 | |
| 排水金具 | 排水金具 | | 長谷川鋳工 | |

| 品目 | 機材名 | 適用範囲 | 製造業者等名 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ボイラ | 給湯用簡易ボイラ | | | |
| | 鋼鉄製ボイラ | | | |
| 冷凍機 | チリングユニット | | | |
| | 遠心冷凍機 | | | |
| | 蒸だき吸収冷温水機 | | | |
| | 小形吸収冷温水機ユニット | | | |
| | パッケージ形空気調和機 | | | |
| 冷却塔 | 冷却塔 | | | |
| 空気調和機 | ユニット形空気調和機 | | | |
| | エアコン | | 松下 | |
| | ファンコイルユニット<br>カセット形ファンコイルユニット | | | |
| 全熱交換器 | 全熱交換機 | 回転型 | | |

| 品目 | 機材名 | 適用範囲 | 製造業者等名 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 送風機 | 遠心送風機 | 多翼形及び後向き羽根形 | | |
| | 消音ボックス付送風機 | | | |
| | 換気扇 | | 松下 | |
| 空気清浄装置 | 自動巻取形エアフィルタ | | | |
| | 電気集じん器 | ろ材挿入形 | | |
| | 折込み形エアフィルタ | HEPAを除く | | |
| 送風機付属品 | 吹出口 | アネモディフューザ<br>ユニバーサル形吹出口<br>線状吹出口 | | |
| | 室風量ユニット<br>定風量ユニット | | | |
| | 排煙口 | | | |
| | 防火ダンパ | 防火ダンパ<br>防煙ダンパ<br>防火防煙ダンパ<br>(財)日本排煙センターの性能評定マークが貼付されたもの | | |
| 自動制御 | 自動制御システム | | | |
| 計器類 | 鋼製温度計 | | | |
| 冬期寒 | 電気ヒーター | | 松下 | |

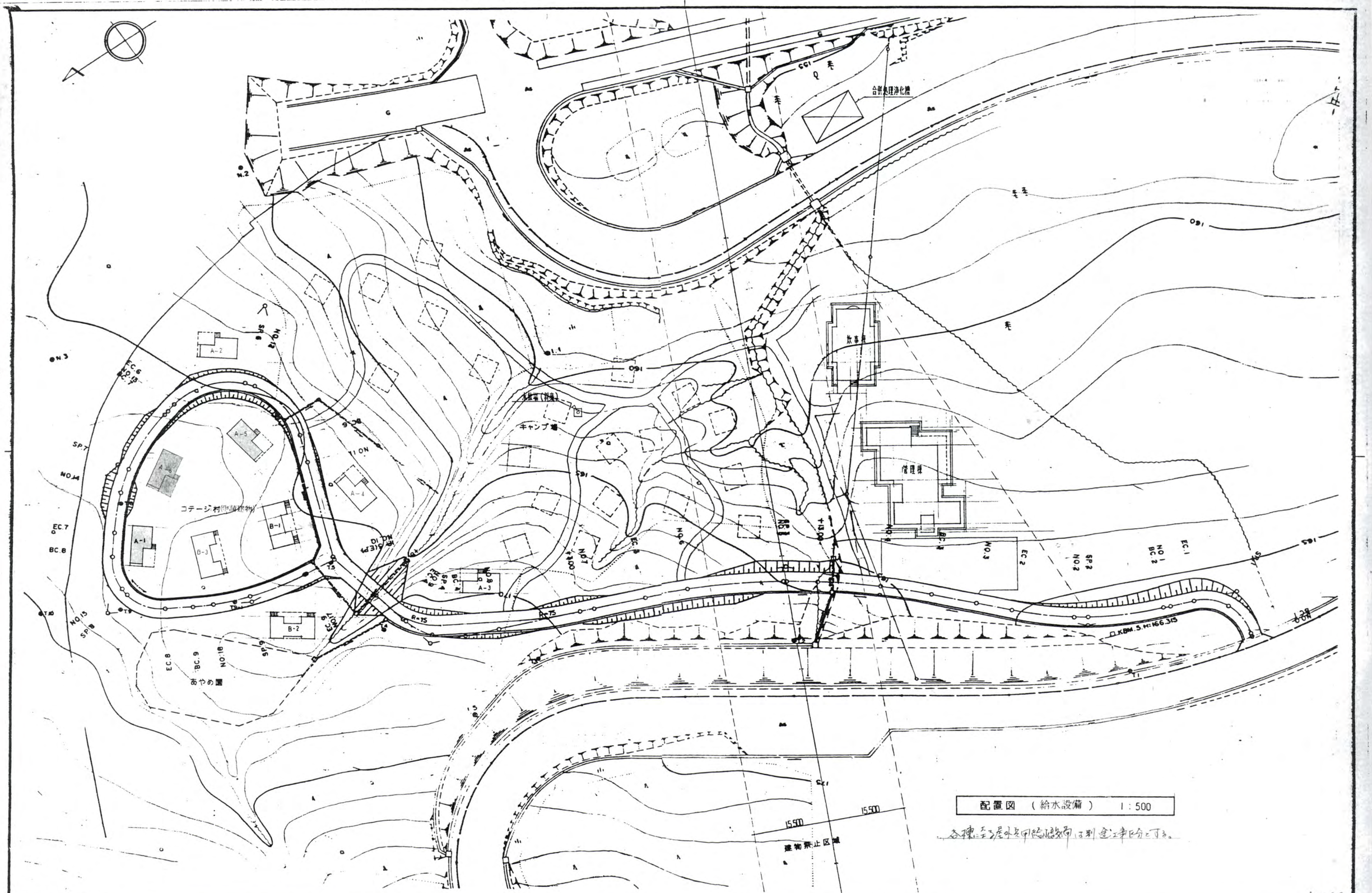
| 訂正 | 月.日 |
|---|---|
| | |
| | |
| | |

一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号　TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 |
|---|---|---|---|
| H.6.5 | 古瀬 | | 須藤 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 A-156 |
| 図面名称 | 設備機材等指定名簿 | 縮尺 | M / 2 |




配置図 （給水設備） 1：500

各棟における屋外給水引込管は別途工事区分とする。

| 訂正 | 月．日 | |
|---|---|---|
| | ・ | |
| | ・ | |
| | ・ | |

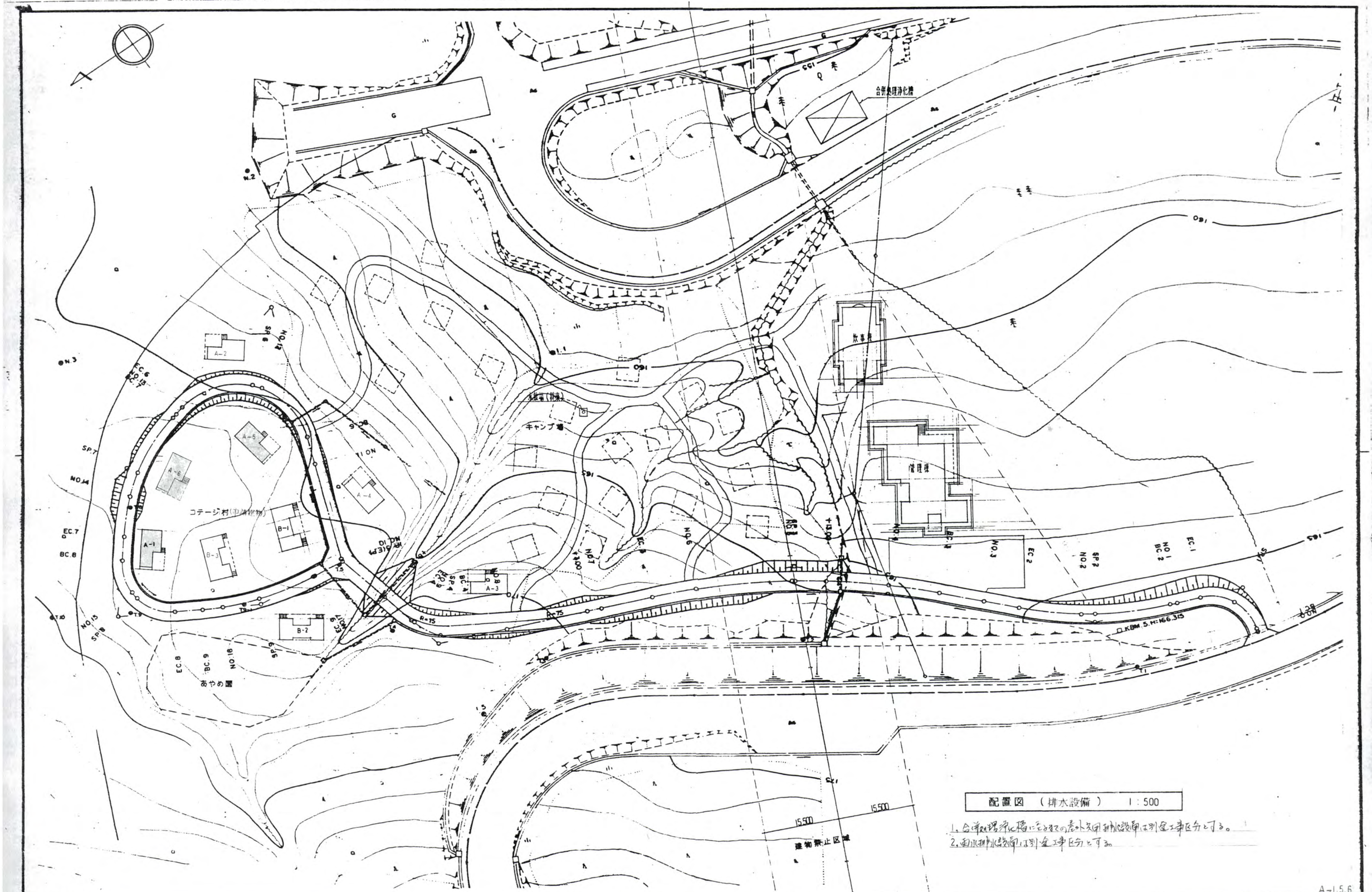
一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

山形県知事登録（1106）第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 |
|---|---|---|---|
| H.6. 5 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
| 図面名称 | 配 置 図（給水設備） | 縮尺 1:500 | M 3 |

A-1.5.6




配置図 （排水設備） 1：500

1. 合併処理浄化槽にそうまでの屋外配管は別発注工事区分とする。
2. 雨水排水設備は別発注工事区分とする。

A-156

| 訂正 | 月．日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録（1106）第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H.6. 5 | | | | 図面名称 | 配置図（排水設備） | 縮尺 1:500 | M 4 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

汚水桝リスト

| 記号 | 桝仕様 | 桝寸法 | 桝深さH | 蓋仕様 | 備考　地盤高（銹） |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | SC-2 | 450□ | A-1 650<br>A-2 720<br>A-3 560<br>A-4 565<br>A-5 570<br>A-6 790 | MHB | コテージ　3基 |
| ② | 〃 | 〃 | | 〃 | コテージ　3基　① ±0 |
| | | | | | |
| ③ | SC-2 | 450□ | 600 | MHB | 2基　② -100 |
| ④ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ③ -500 |
| ⑤ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ④ -300 |
| ⑥ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑤ -300 |
| ⑦ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑥ -100 |
| ⑧ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑦ -1.500 |
| ⑨ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑧ -1.000 |
| ⑩ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ⑨ -3.000 |
| ⑪ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ⑩ -2.500 |
| ⑫ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ⑪ -2.000 |
| ⑬ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ⑫ -600 |
| ⑭ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ⑬ -1.000 |
| ⑮ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ⑭ -1.000 |
| ⑯ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑮ -100 |
| ⑰ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑯ -200 |
| ⑱ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑰ -800 |
| ⑲ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | ⑱ -1.000 |
| ⑳ | SC-3 | 600□ | 650 | 〃 | ⑲ -100 |
| ㉑ | 〃 | 〃 | 650 | 〃 | ⑳ -200 |
| ㉒ | 〃 | 〃 | 720 | 〃 | ㉑ ±0 |
| | 浄化槽 | — | 750 | — | ㉒ ±0 |
| | | | | | |
| ㉚ | SC-2 | 450□ | 600 | MHB | ② -100 |
| ㉛ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ㉚ -500 |
| ㉜ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ㉛ -500 |
| | NO. 6 に接続 | | | | |
| ㉝ | SC-2 | 450□ | 600 | MHB | ② -300 |
| ㉞ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ㉝ -500 |
| | NO. 9 に接続 | | | | |
| ㉟ | SC-2 | 450□ | 600 | MHB | ② -100 |
| | NO. 8 に接続 | | | | |
| ㊵ | SC-2 | 450□ | 600 | MHB | ② -100 |
| ㊶ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ㊵ -1300 |
| ㊷ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ㊶ -2.000 |
| ㊸ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ㊷ -3.000 |
| ㊹ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ㊸ -2.000 |
| | NO. 15 に接続 | | | | |

汚水桝リスト

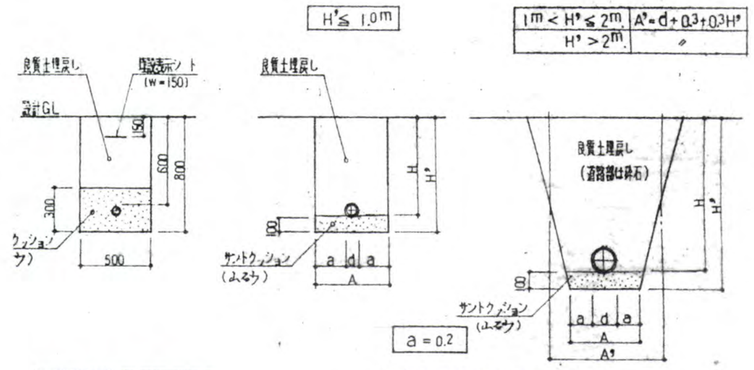
| 記号 | 桝仕様 | 桝寸法 | 桝深さ | 蓋仕様 | 備考　地盤高（銹） |
|---|---|---|---|---|---|
| ㊿ | SC-2 | 450□ | 580H | MHB | |
| (51) | 〃 | 〃 | 580 | 〃 | ㊿ -100 |
| (52) | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | (51) -300 |
| (53) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (52) -300 |
| (54) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (53) -300 |
| (55) | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | (54) ±0 |
| (56) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (55) -1.600 |
| (57) | SC-3 | 600□ | 760 | 〃 | (56) -1.600 |
| (58) | 〃 | 〃 | 650 | 〃 | (57) -900 |
| | NO. 20 に接続 | | | | |
| | | | | | |
| (59) | RC-2 | 450□ | 520 | MHB | トラップ桝　(52) ±0 |
| (60) | SC-2 | 450□ | 560 | 〃 | (59) ±0 |
| | グリース阻集器より NO. 52 に接続 | | | | |
| (61) | RC-2 | 450□ | 520 | MHB | トラップ桝　±0 |
| (62) | SC-2 | 450□ | 560 | 〃 | (61) ±0 |
| (63) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (62) -1.200 |
| (64) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (63) -100 |
| (65) | 〃 | 〃 | 560 | 〃 | (64) ±0 |
| | NO. 55 に接続 | | | | |
| | | | | | |
| (66) | SC-2 | 450□ | 580 | MHB | ±0 |
| (67) | SC-3 | 600□ | 620 | 〃 | (66) ±0 |
| (68) | 〃 | 〃 | 670 | 〃 | (67) ±0 |
| (69) | 〃 | 〃 | 710 | 〃 | (68) ±0 |
| | NO. 57 に接続 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 汚水桝リスト | | | | | |
| (70) | SC-2 | 450□ | 560 | MHB | ±0 |
| (71) | 〃 | 〃 | 590 | 〃 | (70) ±0 |
| (72) | SC-3 | 600□ | 680 | 〃 | (71) ±0 |
| (73) | 〃 | 〃 | 710 | 〃 | (72) ±0 |
| (74) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (73) -500 |
| (75) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (74) -200 |
| (76) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (75) -200 |
| (77) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (76) -200 |
| (78) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (77) -200 |
| (79) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (78) -200 |
| | | | | | |

汚水桝リス；

| 記号 | 桝仕様 | 桝寸法 | 桝深さ | 蓋仕様 | 備考　地盤高（銹） |
|---|---|---|---|---|---|
| (80) | SC-2 | 450□ | 500H | MHB | (79) -200 |
| (81) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (80) -200 |
| (82) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (81) -200 |
| (83) | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | (82) -200 |
| (84) | 〃 | 〃 | 520 | 〃 | (83) -150 |
| (85) | 〃 | 〃 | 540 | 〃 | (84) -150 |
| (86) | 〃 | 〃 | 560 | 〃 | (85) -150 |
| | NO. 21 に接続 | | | | (86) -100 |
| | | | | | |
| | | | | | |

雑排水桝リスト

| 記号 | 桝仕様 | 桝寸法 | 桝深さ | 蓋仕様 | 備考　地盤高（銹） |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓐ | RC-2 | 450□ | 500H | MHB | 7基 |
| Ⓑ | 〃 | 〃 | 500 | 〃 | ±0 |
| Ⓒ | 〃 | 〃 | 600 | 〃 | Ⓑ ±0 |
| | | | | | |
| | 浄化槽より | | 1.170 | MHB | |
| Ⓓ | RC-3 | 600□ | 1.150 | 〃 | ±0 |
| Ⓔ | RC-4 | 900φ | 1.200 | 〃 | Ⓓ ±0 |
| Ⓕ | RC-3 | 600□ | 610 | 〃 | Ⓔ -1.500 |
| | 道路側溝 | | | | |
| Ⓖ | RC-3 | 600□ | 1.200 | MHB | |




給水管埋設断面図

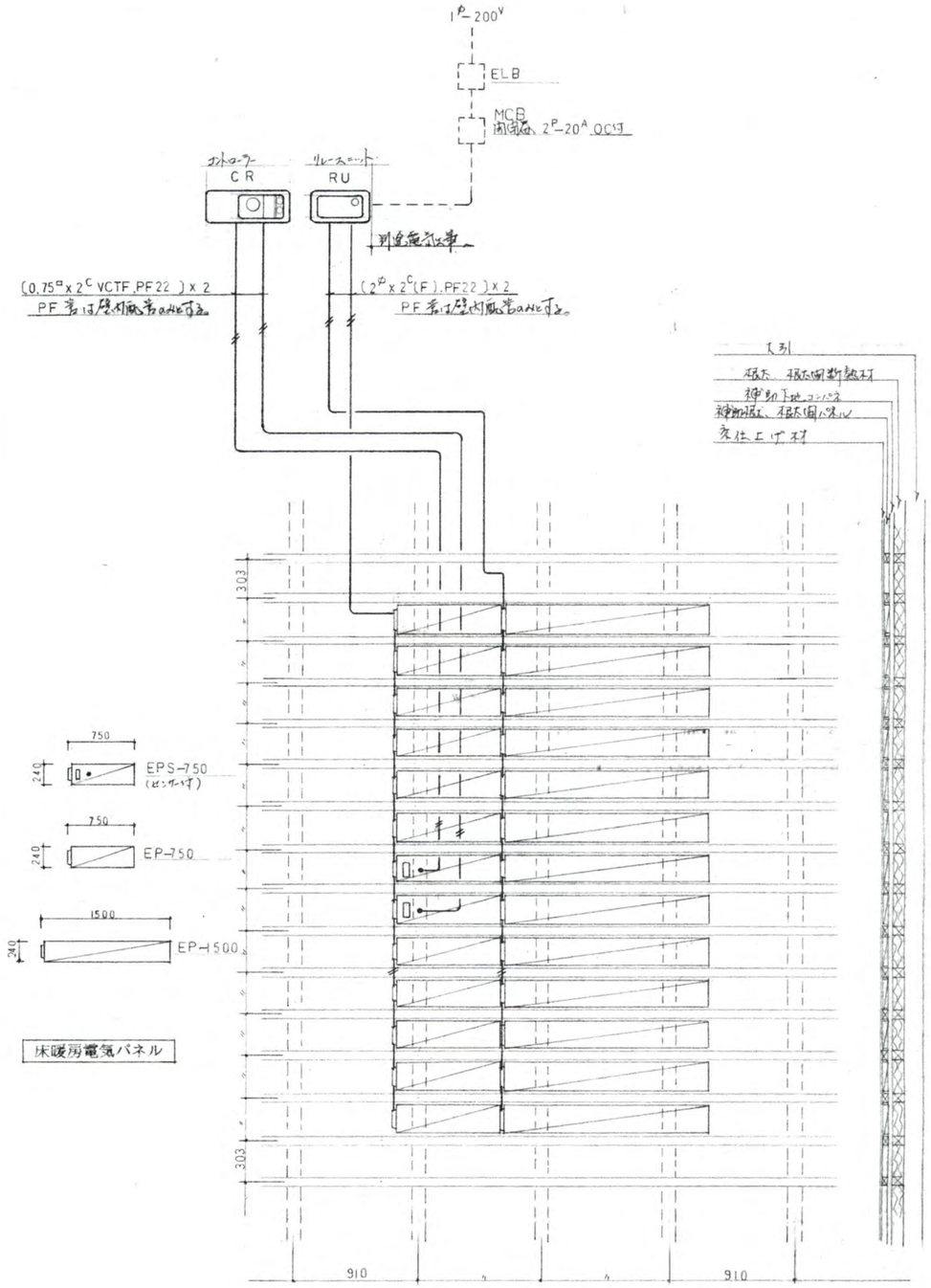
排水管埋設断面図

A-156

| 訂正 | 月・日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号　TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H. 6. 5 | | | | 図面名称 | 桝リスト表 | 縮尺 | M 5 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

## 機　器　表

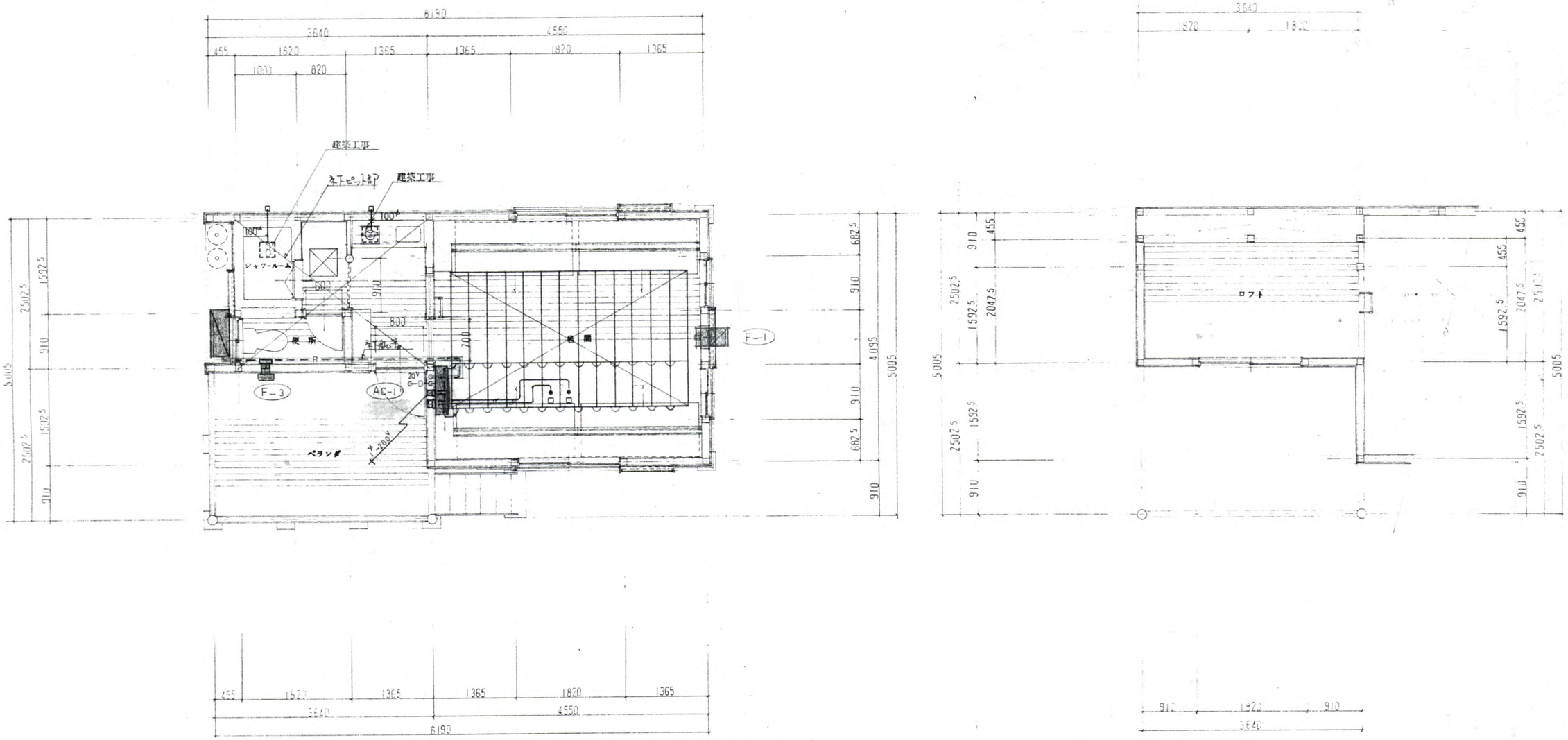
| 記号 | 名称 | 仕様 | A-1 | A-2 | A-3 | A-4 | A-5 | A-6 | B-1 | B-2 | B- | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| EPS-750 | 床暖房電気パネル | センサー付根太間パネル、縦長型 定格電力60W 放熱量52kcal/h 定格電圧1φ200V DJ-U1HS相当品 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 4 | | | 24 |
| EP-750 | 〃 | 根太間パネル、縦長型 定格電圧60W 放熱量52kcal/h 定格電圧1φ200V DJ-U1H相当品 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 14 | 14 | 14 | | | 108 |
| EP-1500 | 〃 | 根太間パネル、長尺型 定格電圧120W 放熱量104kcal/h 定格電圧1φ200V DJ-U2H相当品 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 18 | 18 | 18 | | | 132 |
| CR | 同上コントローラー | 24Vタイマー付 取付ボックス(4"角浅型セーフボックス)、電圧DC12V | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | | | 12 |
| RU | 同上リレーユニット | 制限容量2kW(10A)×2回路、電源スイッチ付 取付ボックス(4"角浅型セーフボックス) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | | | 12 |
| AC-1 | エアコン | 壁掛型 空気ヒートポンプ式 冷房能力(0.3~4.5)kW 暖房(0.3~6.7)kW 圧縮機1.1kW 室外機(屋内)20"(外)40" 電源(室外側)1φ200V) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 6 |
| AC-3 | 〃 | スタンド付壁掛型 空気ヒートポンプ式 冷房能力2.5kW×2 暖房3.4kW×2 圧縮機2.0kW 室外機(屋内)20"×2(外)40"×2 電源(室外側)1φ200V) | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| | エアコン共通事項 | 冷媒配管は銅管 冷媒配管は保温厚20mmとしAC-1は6.35φ×0.7t(ヤマ2.0×3C) AC-3は6.35φ×0.62t(ヤマ2.0×3C) 室外機配管は基礎へ埋込ダクトにて相互の事 (各ユニットを除く引込を含む) | | | | | | | | | | | | |
| F-1 | 換気扇 | 壁付 排気型 電気シャッター付 シロッコファン 28cm×13cm×16.5cm 1φ100V 本体 防水アミ付ステンレスフード付 (FY-20EGP) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 6 |
| F-2 | 〃 | 天井埋込型 低騒音 100φ×280cm×40cm 8kg×14.5W (FY-24S1) 屋外ステンレスフード(防水アミ付)共 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| F-3 | 〃 | 壁付パイプファン 低騒音 電気式シャッター(グリルは別) FY-12PPE2 屋外ステンレスフード(防水アミ付)共 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | 6 |
| | (給気口) | ダクト及防水アミ付屋外ステンフード(100φ)DAL共工事 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 9 |
| | (排気口) | 〃 (100φ) 〃 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 9 |




床暖房電気パネル布設要領図

A-156

| 訂正 | 月.日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | H.6. 5 | | | | 図面名称 | 冷暖房換気設備 機器仕様表 | 縮尺 | M 6 |

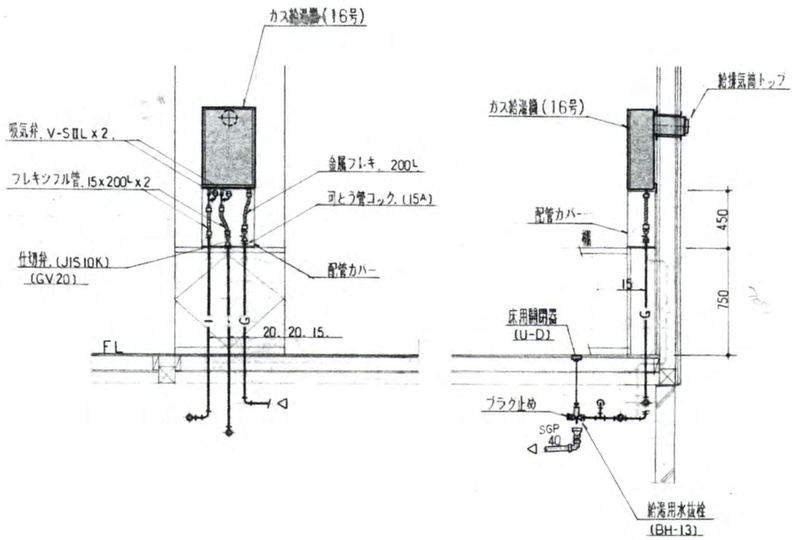



A-1.5.6 平 面 図 1/50

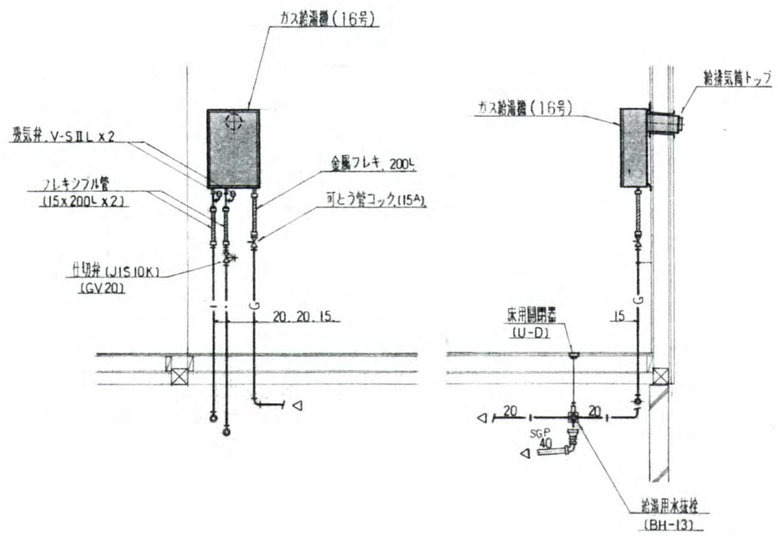
| 訂正 | 月・日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤 良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H.6.5 | | | | 図面名称 | 換気設備<br>冷暖房設備 (A-1.5.6) 平 面 図 | 縮尺 1:50 | A-1.5.6<br>M 7 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

衛生器具表 （コテージ村）

| 器具名 | 組 | 器具仕様 | 参考型番 | A-1 | A-2 | A-3 | A-4 | A-5 | A-6 | B-1 | B-2 | B-3 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 洋風大便器 | 9 | VC1210R、腰掛式タンク密結形サイホン便器(節水形)、紙巻器<br>手洗付防露式タンク、ルームヒーター付暖房便座、標記板共 | C720、TS721ZLSN、TS731FUS、TS116MD、<br>S721BF、CF121、T53PR75、T53DS、A21L、 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 煙気弁 V-LL付 |
| 汚物入 | 9 | 鋼板製ホーロー鍍仕上品 | — | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガス給湯機 | 9 | FF式ガス給湯機(温調タイプ) 16号 (瞬間型) 後方直付型<br>給湯能力 30,000 KCAL/H、ガス消費量 2.5 Kg/H、 電源 100V・43W、<br>メインリモコン(コード6m共)、後方丸型給排気筒トップ | GQ-166WS-FFB (15A) BL | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 同上配管カバー | 6 | H= 450 mm、 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| プロパンガスボンベ置場 | 9 | プロパンガスボンベ 50kgx2 本立 (別途) マイコンガスメーター(別途)<br>2本立用自動切替調整器、ボンベチェーン 本工事含む | AS8-2S メーカー標準に準ずる | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |



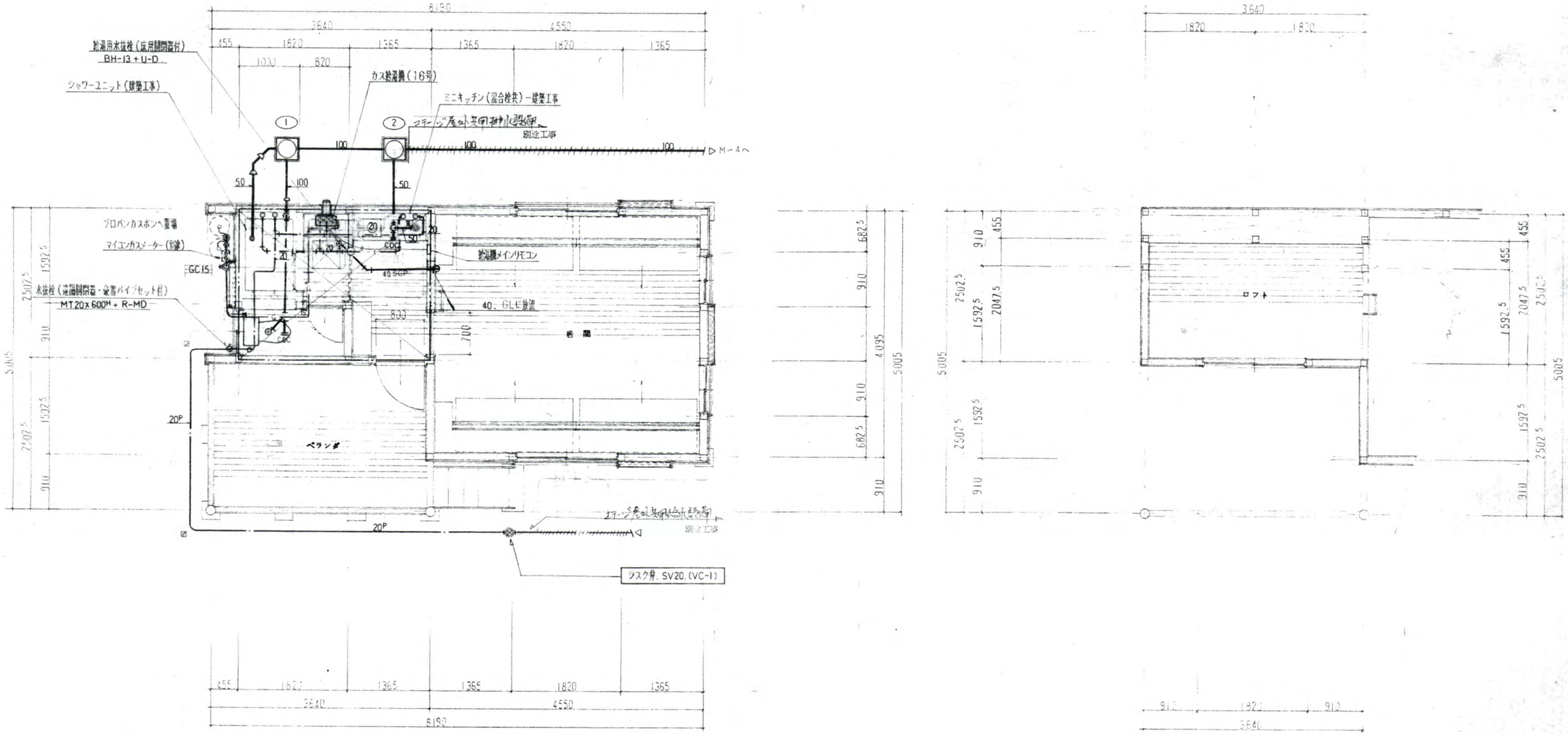

A棟 給湯機廻り断面図 1：30




B棟 給湯機廻り断面図 1：30

A-156

| 訂正 | 月.日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H.6.5 | | | | 図面名称 | 衛生器具表 | 縮尺 1:30 | M 8 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |




A-1.5.6 平 面 図 1/50

註：1) 図中 ▨ 部は，配管用ピット部分を示す．
2) ガス給湯機廻りの配管及び弁類は，別紙詳細図参照
3) 流し台・シャワーユニット(建築工事)の付属トラップは，本工事にて断熱施工

| 訂正 | 月．日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県 知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H. 6. 5 | | | | 図面名称 | 給湯及び衛生設備(A-1.5.6)平 面 図 | 縮尺 1：50 | M 9 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

A-1.5.6

# 仕　様　書

Ⅰ．工事概要

1．工事場所　山形県最上郡舟形町長沢字スルス沢地内

2．建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階数 | 延面積(㎡) | 消防法施行令別表第一による用途区分 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| コテージ | 木造 | 1 | 43.16㎡ | | 3棟 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

3．工事種目（◎印のついたものを適用する）

| 工事種目 ＼ 建物別及び屋外 | 建物別 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙ 電灯設備 | ○ | | | | |
| ・動力設備 | | | | | |
| ・受変電設備 | | | | | |
| ・自家発電設備 | | | | | |
| ・避雷設備 | | | | | |
| ⊙ 電話設備 | ○ | | | | |
| ・電気時計・拡声設備 | | | | | |
| ・表示設備 | | | | | |
| ・インターホン設備 | | | | | |
| ⊙ テレビ共同受信設備 | ○ | | | | |
| ・防犯設備 | | | | | |
| ・火災報知設備 | | | | | |
| ・構内交換設備 | | | | | |
| ・中央監視制御設備 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ・構内配電線路 | | | | | 外灯設備を含む |
| ・構内通信線路 | | | | | |

4．指定可分　※ なし　・ あり

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

関面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書（平成元年版）及び電気設備工事標準図（平成元年版）による。

2．特記仕様

1）項目は番号に○印のついたものを適用する。

2）特記事項で、・ ⊙ ※ ◉印のある場合の適用は、下記による。

⊙印のない場合は、※印を適用する。

⊙印のある場合は、⊙印を適用し、※印は適用しない。

⊙印と◉印のある場合は、共に適用する。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ① 適用基準等 | ・ 営繕工事写真作成標準（東北地方建設局営繕部監修 昭和56年版）<br>・ 標準色見本帳（東北地方建設局営繕部 昭和57年版）<br>・ |
| | ② 機材 | 本工事に使用する機材等は、別紙「設備機材等指定書」(電気の部）によるほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は監督員の承諾を受ける。 |
| | ③ 電気主任技術者 | 工事現場におく電気主任技術者は、東北地方建設局制定の保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 |
| | ④ 工事用電力、水、その他 | 本工事に必要な工事用電力、水などの費用は請負者の負担とする。<br>官公署等への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 |
| | ⑤ 工事用仮設物 | 構内につくることが　⊙ できる　・ できない |
| | 6．発生材の処理 | 引渡しを要するもの　※ なし　・ あり（下記による） |
| | ⑦ 残土処分 | ・ 構外搬出道切処理　⊙ 構内指示の場所に敷ならし　・ 構内指示の場所にたい積 |
| | ⑧ 完成図のファイル及び保全に関する説明書 | 完成図（A4版に簡易ファイルしたもの、原図はケースに収納）及び、保全に関する説明書（A4版に簡易ファイルしたもの）を監督員に提出する。 |
| | 9．耐震施工 | 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針（建設省住宅局建築指導課監修）」による。<br>なお、設計用水平地震力は、次に示す設計用水平震度に機器の重量を乗じたものとする。<br>また、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の½とする。<br><br>設計用水平震度<br>重要度の区分 ＼ 層区分：地階・1階 ／ 2階以上 ／ 塔屋・最上階上階<br>重要度の高い設備機器：0.6 ／ 1.0（1.3） ／ 1.5（2.0）<br>その他の設備機器：0.4 ／ 0.6 ／ 1.0<br>（注）（　）内数値は、防震装置付き機器などの場合を示す。<br>重要度の高い設備機器<br>・ 配電盤　・ 自家発電装置　・ 交換機　・ |
| | ⑩ 他工事との取合い | ⊙ はり貫通部の補強及びスリーブ<br>補強　※ 建築工事　・　スリーブ　※ 本工事　・<br>⊙ 床、壁開口部の仮枠及び補強<br>仮枠　※ 本工事　・　補強　※ 建築工事　・<br>⊙ 天井埋込器具の取付箇所の天井ボード類、下地の切込み、天井下地の補強<br>※ 建築工事（墨出しは本工事）　・<br>⊙ 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地　※ 本工事　・<br>⊙ 埋込形分電盤、端子盤、プルボックスの仮枠及び埋込部の補強<br>仮枠　※ 本工事　・　補強　※ 建築工事　・<br>⊙ 照明器具、鏡縁などの吊ボルト用インサート　※ 本工事　・<br>・ 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ<br>※ 建築工事　・<br>・ 電気窯、自家発電などの基礎及びピット（ふたを含む）<br>基礎　※ 建築工事　・　本工事　ピット　※ 建築工事　・ 本工事<br>・ 自立形制御盤の基礎コンクリート　・ 建築工事　※ 本工事<br>・ 屋外受変電設備の基礎　※ 建築工事　・ 本工事<br>・ 自立形アンテナの基礎　※ 建築工事　・ 本工事<br>・ 自動ドアへの電源供給は本工事、制御盤は別途とするほか、下記による。<br>制御盤以降の配管　※ 本工事　・ 別途<br>制御盤以降の配線　※ 別途　・ 本工事 |
| | 11．保温、結露防止 | 外部に面する壁、天井で建築工事でFP板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。 |
| | ⑫ 合成樹脂可とう管 | 合成樹脂可とう管は、PF管とし温度による分類は、タイプ－25とする。<br>又、合成樹脂可とう管工事に使用する位置ボックスは、原則として樹脂製とする。 |
| | ⑬ 電線本数、管路など | 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。 |
| | ⑭ インサート | 鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。 |
| | ⑮ 呼び線 | 長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 |
| | ⑯ フラッシュプレート | ※ 金属製（ステンレス、所金属も含む）　・ 樹脂製 |
| | 17．フロアプレート | 水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。 |
| | 18．研り | 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 |
| | 19．再使用機器 | 取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ、取付ける。 |
| | ⑳ 接地極の種別及び位置表示 | 接地極の種別は下記を標準とし、EBの長さは1,500mmとする。ただし、W－30は1,200mmとする。<br>鉄柱機器用接地極の埋設標は不要とする。<br><br>接地の種別 ＼ 記号 ＼ 接地抵抗値 ＼ 接地極の規格、設置<br>・ 避雷設備用接地 ＼ $E_a$ ＼ 0Ω以下 ＼ EP×1<br>・ 避雷設備用接地 ＼ $E_a$ ＼ 0Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連一組<br>・ 共同接地 ＼ $E_a$ $E_b$ $E_c$ ＼ 0Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連一組<br>・ 共同接地 ＼ $E_a$ $E_b$ ＼ 0Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連一組<br>・ 第1種 ＼ $E_1$ ＼ 10Ω以下 ＼ EP×1<br>・ 第1種 ＼ $E_1$ ＼ 10Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連－2組<br>・ 第2種 ＼ $E_2$ ＼ 30Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－30)×2連－2組<br>・ 第2種 ＼ $E_2$ ＼ 5Ω以下 ＼ EB(D－10又は(W－30)×2<br>・ 第3種 ＼ $E_3$ ＼ 3Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連一組<br>・ 第3種 ＼ $E_3$ ＼ 100Ω以下 ＼ EB(D－10又は(W－30)×1<br>・ 特別第3種 ＼ $E_{sp}$ ＼ 0Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連一組<br>・ 構内交換機（局用） ＼ $E_t$ ＼ 0Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連一組<br>・ 本配線盤の保安器 ＼ $E_m$ ＼ 10Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連－2組<br>・ 電話引込口の保安器 ＼ $E_m$ ＼ 100Ω以下 ＼ EB(D－10又は(W－30)×1<br>・ 拡声増幅器 ＼ $E_s$ ＼ 100Ω以下 ＼ EB(D－10又は(W－30)×1<br>・ 測定用 ＼ $E_e$ ＼ —— ＼ EB(D－10又は(W－30)×1<br>・ 構造体接地 ＼ ＼ 建築構造体利用（通信用も含む）<br>・ 避雷器用（低圧用） ＼ $E_{LL}$ ＼ 10Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連－2組<br>・ 避雷器用（高圧用） ＼ $E_{LH}$ ＼ 10Ω以下 ＼ EB(D－14又は(W－40)×3連－2組 |
| | ㉑ 塗装工事 | 下記部位に使用する、外面のっき電線管の露出配管には塗装を施す。<br>※ 屋外　※ 倉庫内 |
| 電灯設備 | ① 工事範囲 | ⊙ 配管　⊙ 配線　・ 機器類 |
| | ② 電気方式 | 幹線　※相3線式 $\frac{200V}{\sqrt{3}=115V}$　50Hz<br>分岐　※単相2線式 200V<br>分岐　※単相2線式 100V |
| | ③ 施工方法 | 幹線　※ 金属管配線　⊙ ケーブル配線<br>分岐　電灯　※ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線<br>コンセント　※ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線 |
| | ④ 蛍光灯 | 蛍光灯器具安定器の回路方式、電圧、周波数は図示以外は下記による。<br><br>蛍光灯の種類 ＼ 標準図記号<br>ホームライト ＼ GL15<br>壁形のランプ（ホームライトを除く） ＼ GH15<br>直管形のランプ：15形以下 ＼ GL15<br>直管形のランプ：20形　防雨形器具、防湿形器具、電池内蔵形非常用照明器具及び誘導灯 ＼ GL15<br>直管形のランプ：20形　上記以外のもの ＼ GH15<br>直管形のランプ：40形の避難口誘導灯 ＼ GL15<br>直管形のランプ：40形（避難口誘導灯を除く）及び110形 ＼ RH 5<br>コンパクト形のランプ：13W　18W　27W ＼ GL15<br>コンパクト形のランプ：36W ＼ GH15 |
| | ⑤ 蛍光ランプ | 40形　⊙ 省エネ形　⊙ 全部　・ 事務室などの居室に限る）<br>・ 一般形<br>20形　・ 省エネ形（・ 全部　・ 廊下、倉庫及び屋外部分を除く）<br>⊙ 一般形 |
| | 6．非常用照明装置 | 建設省住宅局建築指導課監修の「非常用の照明装置に関する指針」(昭和54年版）による。 |
| | 7．非常用照明器具 | ※ 電池内蔵形　・ 電源別置形<br>・ 電池内蔵形自熱灯器具　（・ 送り端子付き　・ 送り端子なし） |
| | 8．ハイチンションアウトレット | ※ 上下形又は回転形　・ 外部固定形　・ |
| | ⑨ 予備配管 | 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合（25）を1本、5個以上の場合（25）を2本、天井まで立上げる。 |
| 動力設備 | 1．工事範囲 | ・ 配管　・ 配線　・ 制御盤類 |
| | 2．電気方式 | 幹線　三相3線式 200V　50Hz<br>分岐　三相3線式 200V |
| | 3．施工方法 | 幹線　※ 金属管配線　・ ケーブル配線<br>分岐　※ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線 |
| | 4．機器への接続 | 電動機などへの接続は本工事とする。 |
| | 5．電動機等の接地 | 図示以外は金属管接地とする。 |
| | 6．電磁開閉器用押釦（遠方操作用） | ・ 埋込連用形起動器具　・ 換箱入（・ 埋込形　・ 露出形） |
| | 7．機械設備工事との取合い | 冷暖房機器付属の制御盤に対する起動停止指令、インターロック及び状態表示などの配線については機械設備工事業者と打ち合わせを行う。 |
| 受変電設備 | 1．工事範囲 | ・ 機器類　・ |
| | 2．電気方式 | 高圧　三相3線式　6kV　50Hz<br>低圧　三相3線式　200V<br>低圧　単相3線式　100V/200V |
| | 3．配電盤 | ※ 屋内形　・ 屋外形<br>※ キュービクル式配電盤　・ 高圧閉鎖配電盤<br>・　・ |
| | 4．主遮断装置 | ※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF－S）　・ 高圧交流遮断器（CB）<br>定格遮断電流　kA |
| | 5．設備容量 | ・ 変圧器総容量　kVA　・ 高圧電動機　kW |
| | 6．進相用コンデンサ | ・ 高圧　・ 低圧<br>自動力率制御装置　・ あり　・ なし |
| | 7．接地 | ・ 単独接地（　）　・ 共同接地（　） |
| | 8．直流電源装置 | ※ 非常用の照明器具の電源と共用　・ 受変電設備専用<br>種類　※ HS船蓄電池 |
| | 9．機器仕様 | 別図による。 |
| 自家発電設備 | 1．工事範囲 | ・ 機器類　・ |
| | 2．形式 | ※ 屋外形　・キュービクル式　・ オープン形 |
| | 3．発電機 | 電気方式　三相3線式50Hz　電圧　V、定格出力　kVA、 |
| | 4．原動機 | 定格出力　PS以上　始動方式　※ 電気式　・ 空気式<br>冷却方式　※ ラジエータ式　・ 水冷循環式 |
| | 5．燃料 | 種類　※ 軽油　・ 灯油　・ A重油<br>燃料小出槽　ℓ　主貯油槽（地下）　※ なし　・ あり（・ 別途　・ 本工事） |
| | 6．機器仕様 | 別図による。 |
| 避雷設備 | 1．工事範囲 | ・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設 |
| | 2．受雷部 | ・ 突針　・ むね上導体　・ 金属製手すり（別途）など |
| | 3．避雷導線 | ・ 引下げ導線　※ 建築構造体利用 |
| | 4．接地極 | ※ 接地極埋設　・ 建築構造体利用 |
| 電話設備 | ① 工事範囲 | ⊙ 配管　・ 配線　・ 端子盤 |
| | 2．施工方法 | 幹線　※ 金属管配線　※ ケーブル配線<br>分岐　※ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ フロアダクト配線 |
| | 3．ローケーションアウトレット（亀甲形） | ・ 一般電話用　個<br>・ 納入する　・ 取り付ける |
| | ④ 保安器用接地 | ・ 本工事　・ 別途工事 |
| 電気時計拡声その他通信設備 | 1．工事範囲及び施工方法 | 項目 ＼ 工事範囲：配管 ＼ 配線 ＼ 機器類 ＼ 施工方法：合成樹脂管配線 ＼ 金属管配線 ＼ ケーブル配線<br>・電気時計 ＼ ・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ※ ＼ ・ ＼ ・<br>・拡声 ＼ ・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ※ ＼ ・ ＼ ・<br>・表示 ＼ ・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ※ ＼ ・ ＼ ・<br>・インターホン ＼ ・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ※ ＼ ・ ＼ ・<br>・テレビ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ※ ＼ ・ ＼ ・<br>・防犯 ＼ ・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ※ ＼ ・ ＼ ・<br>・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ・ ＼ ※ ＼ ・ ＼ ・<br>・ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼<br>・ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼<br>・ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ ＼ |
| | 2．電気時計・拡声設備 | ・ 親時計　級　回線　※ 壁掛形　・ 自立形<br>・ 電子式チャイム組込み<br>・ プログラムタイマー組込み<br>・ 増幅器　級　W　※ 卓上形　・ キャビネットラック形<br>・ 一般放送用　・ 非常放送用 |
| | 3．表示設備 | ・ 表示盤　・ 多線直接式ランプ表示盤<br>・ パルス伝送式ランプ表示盤<br>・ パルス伝送式発光ダイオード表示盤 |
| | 4．インターホン設備 | ・ インターホン　・ 庁舎内連絡用　・ 身体障害者用　・ 夜間訪問用 |
| | 5．テレビ共同受信設備 | ・ テレビアンテナ　・ AV－1　・ AV－2　・ AU－1　・ AU－2　・BSA－120<br>・ アンテナマスト　※ 壁面取付形　・ 自立形　・ 順風放送用 |
| | 6．機器仕様 | 別図による。 |
| 火災報知設備 | 1．工事範囲 | ・ 配管　・ 配線　・ 機器類 |
| | 2．火災報知装置 | ・ 受信機P形　級　回線　・ 壁掛形　・ 自立形<br>・ 単独　・ 複合盤（自火報　回線　自動閉鎖　回線　ガス漏れ警報　回線）<br>・ 副受信機　回線<br>・ 機器収容箱　・ 専用形（・ 埋込形　・ 露出形）　・ 屋内消火栓箱に組込み |
| | 3．非常警報装置 | ・ 埋込形　・ 露出形 |
| | 4．自動閉鎖装置 | ・ 連動制御器　回線（遠方復帰機構　回線）<br>・ 単独（・ 壁掛形　・ 自立形）　・ 火報受信機などとの複合盤<br>・ 自動閉鎖機構　・ 防火戸用（本工事、電磁式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下）<br>・ 防煙ダンパ用（別途、瞬時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、遠方復帰機構（電動式）、DC24V、0.7A以下）<br>・ 防火シャッタ用（別途、DC24V、0.6A以下）<br>・ 自動閉鎖機構　・ 排煙ダンパ（別途、排煙機運転用連動機構付） |
| | 5．ガス漏れ警報装置 | ・ 受信機　回線<br>・ 単独（・ 壁掛形　・ 自立形）　・ 火報受信機などとの複合盤 |
| 構内交換設備 | 1．工事範囲 | ・ 交換機　・ 電話機　・ 配線（・ 全部　・ 端子盤以降） |
| | 2．形式 | ※ ボタン電話式　・ 分数中継台式　・ 中継台式 |
| | 3．回線数 | ・ 内線　／　回線　・ 局線　／　回線 |
| | 4．電話機 | ・ ボタン電話機　台　・ 停電用ボタン電話機　台<br>・ 内線電話機　台　・ 多機能電話機　台 |
| | 5．電話機への配線 | ・ 電話機1台につき、次のものを見込む。<br>・ TIVF0.65－2C（・ 20m　・　）<br>・ EBT 0.4 － 4C（・ 20m　・　）<br>・ ワイヤープロテクター（樹脂製　外形寸法　約 20×8）　1.5m |
| | 6．機器仕様 | 別図による。 |
| 中央監視制御設備 | 1．工事範囲 | ・ 配管　・ 配線　・ 機器類 |
| | 2．監視制御対象設備 | ・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 自家発電設備<br>・ 火災報知設備 |
| | 3．警報盤 | ・ 壁掛形　室<br>電源　・ 内蔵　・ 設備の電源より供給 |
| | 4．表示操作盤 | ・ 壁掛形　・ 自立形<br>組込み機器　・　・<br>・　・<br>電源　・ 設備の電源より供給<br>・ 表示操作盤専用（・ 内蔵　・ 別置）<br>種類　・ ニッケルカドミウム蓄電池　・ HS船蓄電池<br>・ |
| | 5．監視制御装置 | 構成機器　・ グラフィックパネル　・ ミニグラフィックパネル<br>・ プラズマディスプレイ　・ 操作卓<br>・ CRTディスプレイ（・ キャラクタ　・ 形　・ グラフィック　形）<br>・ 中央処理装置　・ 伝送端末局（子局）<br>・ 作表用印字装置　・ 地印字装置　形<br>・ |
| | 6．無停電電源装置 | ・ あり　・ なし |
| | 7．機器仕様 | 別図による。 |
| 構内配電線路 | 1．工事範囲 | ・ 管路　・ 配線　・ 機器類 |
| | 2．電気工事 | ・ 高圧三相3線式　6kV　50Hz<br>・ 低圧　相　線式　V<br>・ 低圧　相　線式　V |
| | 3．施工方法 | ※ 地中埋設式　・ 架空線式 |
| | 4．柱上機器 | ・ 高圧負荷開閉器<br>・ 引外形　（※ 一般形　・ 耐塩電じん用）<br>・ 無方向継電器付き　・ 方向性継電器付き<br>・ 避雷器　※ 一般形　・ 耐塩形<br>・ 高圧カットアウト、がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用 |
| | 5．高圧ケーブルの端末処理 | 屋外例　※ 一般用　・ 耐塩用<br>※ 処理者銘板取付（屋内外共、銘名、作業日、氏名を表示） |
| | 6．その他 | 東北電力㈱ 外線工事基準（架空線編）に準ずる。 |
| | 7．外灯設備 | ・ あり　・ なし |
| 構内通信線路 | 1．工事範囲 | ・ 管路　・ 配線 |
| | 2．用途 | ・ 電話用　・ 時計・拡声用　・ 火災報知用 |
| | 3．施工方法 | ・ 地中埋設式　・ 架空線式 |

## 機器取付高

機器取付高さは、下記を標準とする。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

| | 電力設備 機器 | 測点 | 取付高(mm) |
|---|---|---|---|
| 共通 | 取引用計器 | 地上～窓中心 | 約1,800 |
| | 引込開閉器 | 上～下端 | 1,800 |
| | 引込線引留め高 | 地上～引込点 | |
| 電話 | 分電盤 | 床上～中心 | 1,500(上端2,000以下) |
| | スイッチ(身障者用) | ・ | 1,100 |
| | ・（一般） | ・ | 1,300 |
| | ・（和室） | ・ | 1,200 |
| | コンセント(一般) | ・ | 300 |
| | ・（和室） | ・ | 150 |
| | ・（台上）台上～下端 | | 100 |
| | ・（ファン用） | 床上～下端 | ファン下端 |
| | ・（厨房） | 床上～中心 | 800～1,000 |
| | ・（車椅） | ・ | 1,300 |
| | ・（機械室） | ・ | 500～1,000 |
| 灯 | ブラケット(一般) | 床上～中心 | 2,100～2,300 |
| | ・（踊場） | ・ | 約2,500 |
| | ・（壁上） | 鏡上端～中心 | 150 |
| | 表示灯(身障者用) | 床上～中心 | 1,500 |
| | 避難口誘導灯 | 床上～下端 | 1,500以上 |
| | 廊下通路誘導灯 | 床上～上端 | 1,000以下 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 動力 | 盤類操作開閉器 | 床上～中心 | 1,500(上端2,000以下) |
| | 開閉器 | ・ | 1,500 |
| | 操作スイッチ | ・ | 1,300 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

| | 通信設備 機器 | 測点 | 取付高(mm) |
|---|---|---|---|
| 電話 | 引込線引留め高 | 地上～引込点 | |
| | 集合保安器箱 | 天井～上端 | 200 |
| | 端子盤(廊下、室内) | 床上～下端 | 300 |
| | ・（EPSなど） | 床上～中心 | 1,500 |
| | | | |
| | 壁付アウトレット(一般) | 床上～中心 | 300 |
| | ・（和室） | ・ | 150 |
| 時計拡声 | 壁掛形親時計 | 床上～中心 | 1,500(上端2,000以下) |
| | 壁付子時計 | ・ | 2,300 |
| | 壁掛形スピーカ | ・ | 2,300 |
| | 壁付アッテネータ | ・ | 1,300 |
| 警報・呼出・表示 | 表示盤 | 床上～中心 | 2,300 |
| | 壁付発信機 | ・ | 1,300 |
| | ベル、ブザー、チャイム | ・ | 2,300 |
| | 壁付押しボタン(一般) | 床上～中心 | 1,300 |
| | ・（身障者玄関用） | ・ | 1,100 |
| | ・（身障者便所内） | ・ | 900 |
| インターホン | 壁付インターホン(一般) | 床上～中心 | 1,300 |
| | ・（壁上） | 鏡上端～中心 | 1,100 |
| | 壁付アウトレット(一般) | ・ | 300 |
| | ・（和室） | ・ | 150 |
| テレビ | 表示灯(身障者用) | ・ | 1,300 |
| | 機器収容箱 | 天井～上端 | 200 |
| | 直列ユニット(一般) | 床上～中心 | 300 |
| | ・（和室） | ・ | 150 |
| 火災報知 | 受信機 | 床上～操作部 | 800～1,500 |
| | 副受信機 | ・ | 800～1,500 |
| | 機器収容箱 | ・ | 800～1,500 |
| | 発信機 | ・ | 800～1,500 |
| | 表示灯 | 床上～中心 | 2,100 |
| | 警報ベル | ・ | 2,300 |
| | 液化石油ガス用検知器 | 床上～上端 | 300 |

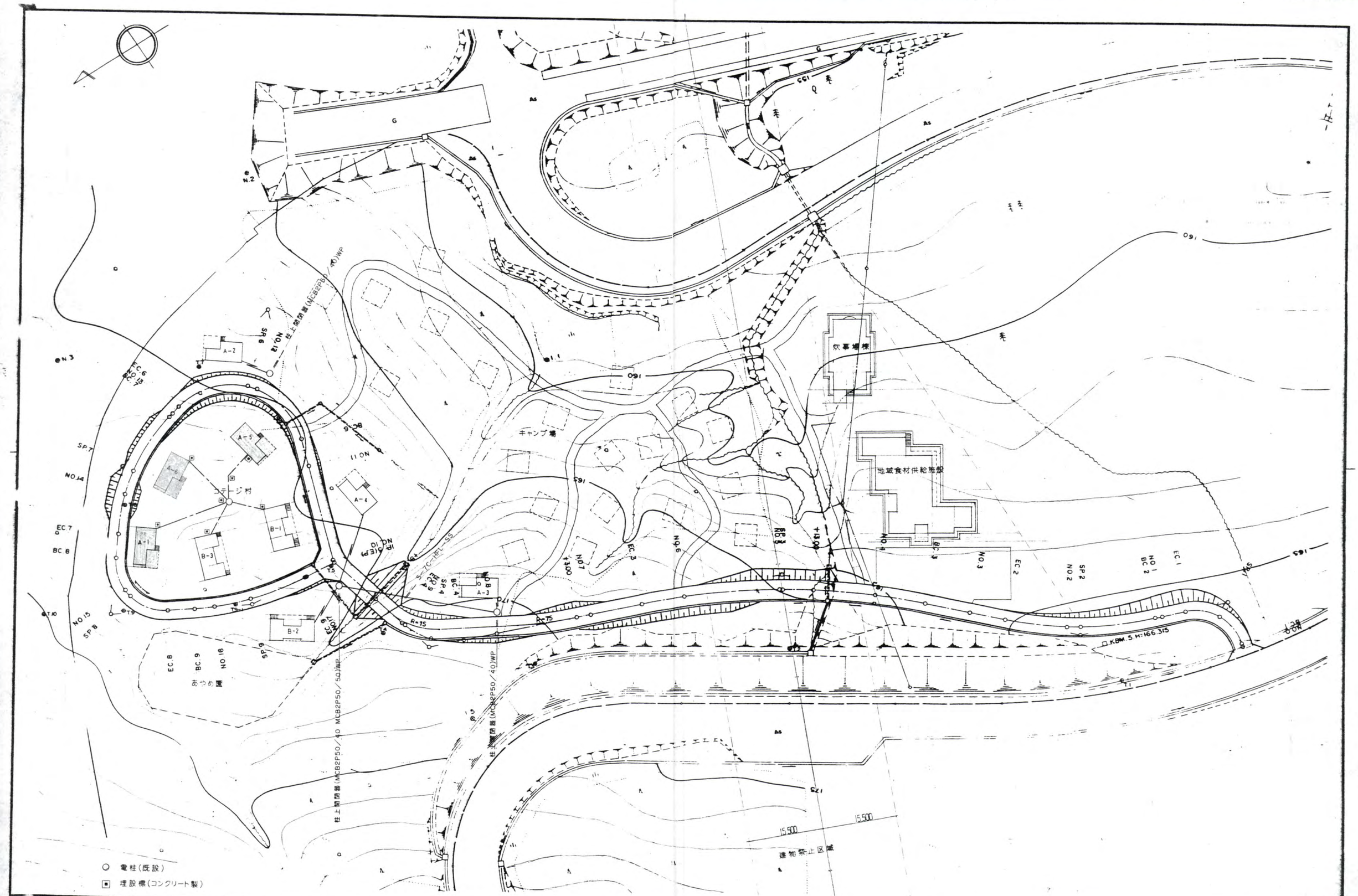
A-156

| 訂正 | 月．日 |
|---|---|
| | ・ |
| | ・ |
| | ・ |

一級建築士事務所 株式会社三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事
山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 |
|---|---|---|---|
| H6.5. | | | |

工事名称：農村景観活用交流施設 新築
図面名称：特記仕様書
工事設計図
縮尺
図面番号 E－1




| 訂正 | 月.日 | |
|---|---|---|
| | . | |
| | . | |
| | . | |

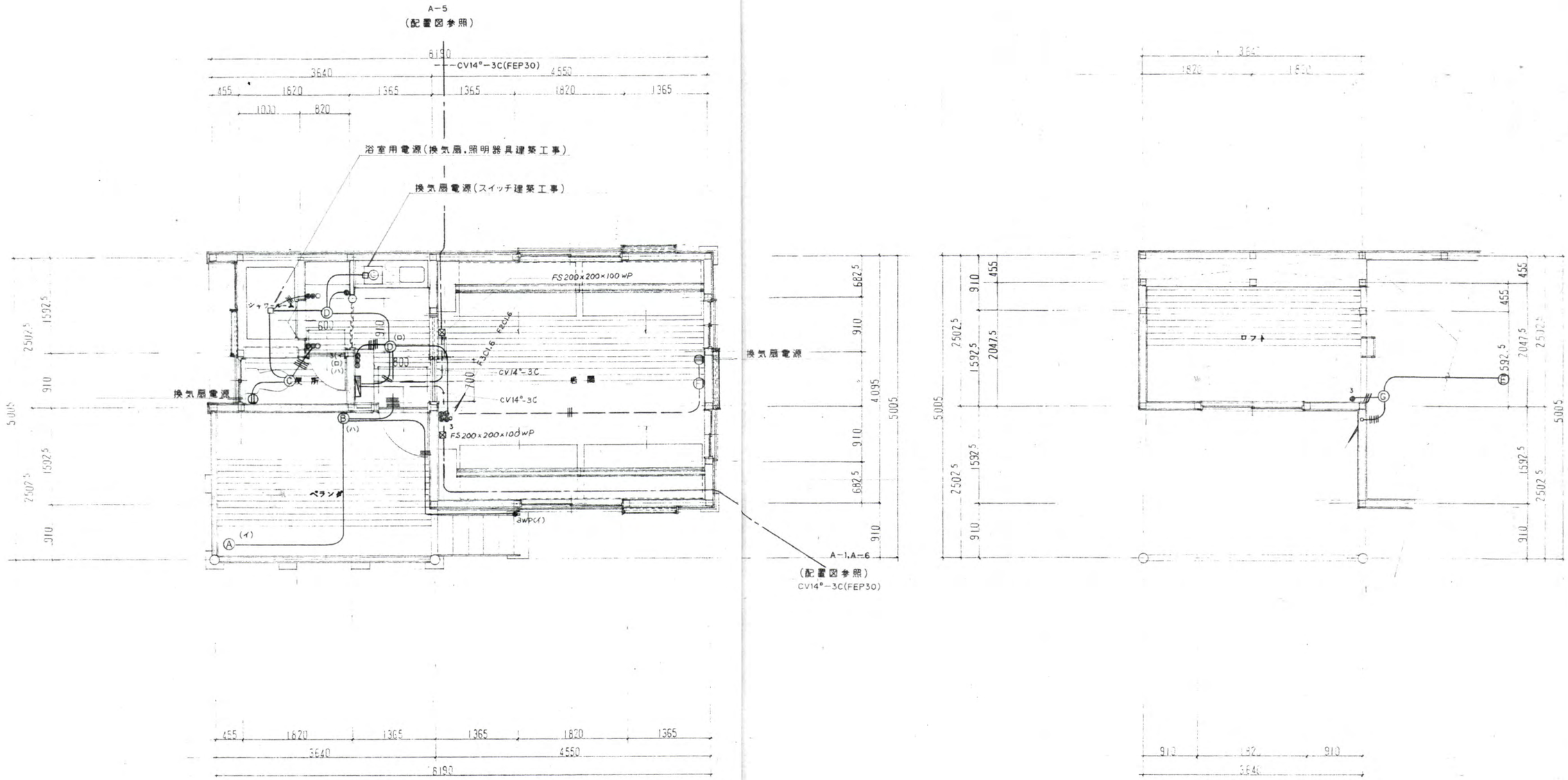
一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 |
|---|---|---|---|
| H.6.5. | | | |

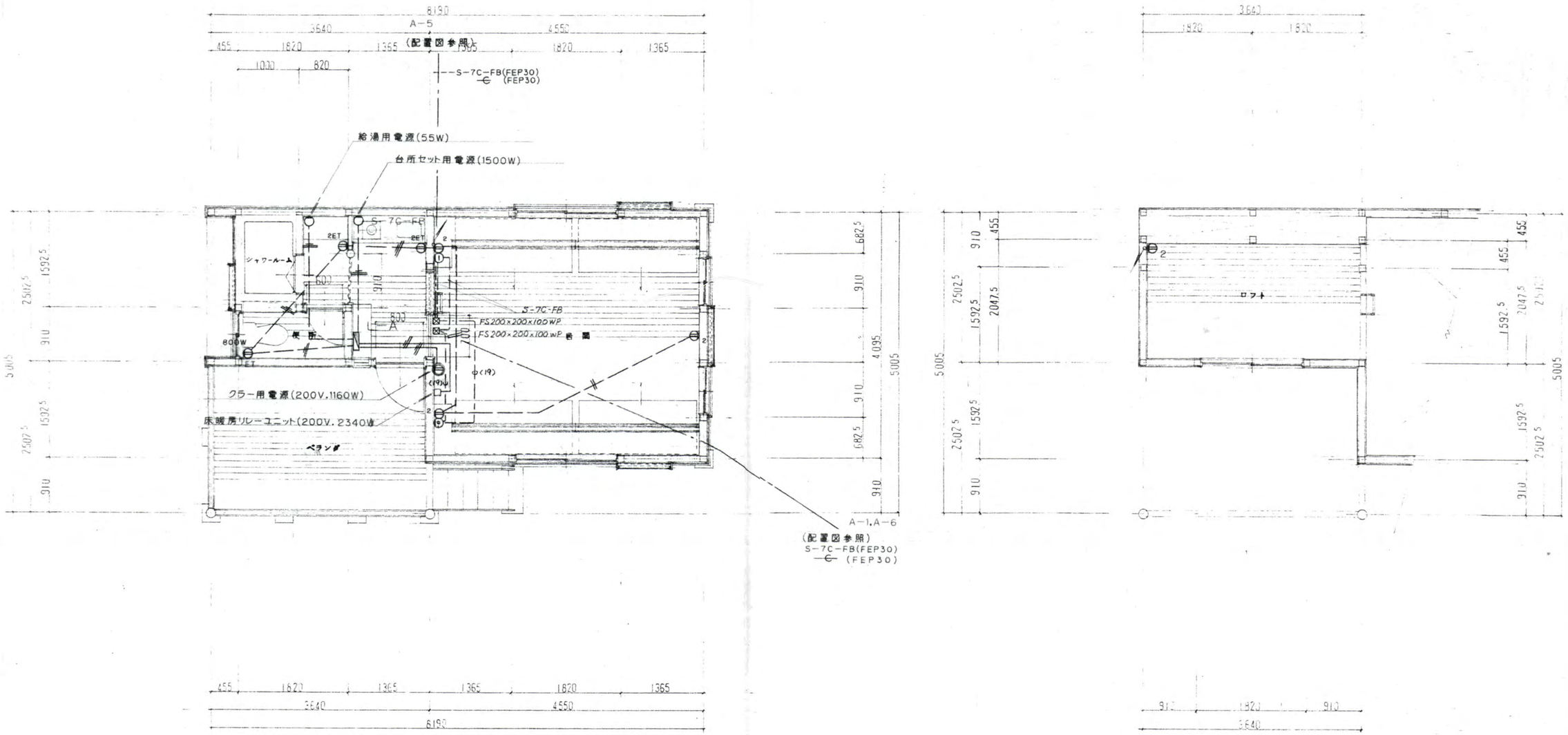
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 農村景観活用交流施設新築 | 工事設計図 | 図面番号 E/2 |
| 図面名称 | 配置図 コテージ棟 外線設備図 | 縮尺 1:500 | |

A-1.5.6




A−1,5,6

| 訂正 | 月・日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設 新築<br>(A−1棟A−5棟A−6棟) | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H.6.5 | | | | 図面名称 | 電灯コンセント配線図 | 縮尺 1:50 | E / 3 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

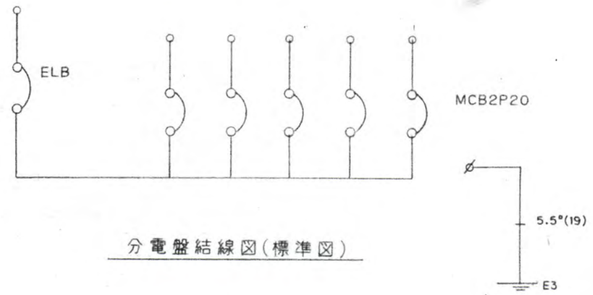



A−1.5.6

| 訂正 | 月.日 | | 一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント<br>山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535<br>註：設計変更の際は建築士法第19条による事 | 山形県知事登録(1106)第447号<br>一級建築士第113527号<br>須藤良介 | 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 | 工事名称 | 農村景観活用交流施設 新築<br>(A−1棟A−5棟A−6棟) | 工事設計図 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・ | | | | H 6. 5. | | | | 図面名称 | コンセント,電話配管,テレビ共聴配線図 | 縮尺 1:50 | E / 4 |
| | ・ | | | | | | | | | | | |
| | ・ | | | | | | | | | | | |

## 分電盤リスト

| 分電盤名称 | 主幹 | 電圧 | 回路 | 負荷名称 | MCB定格 | 負荷容量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| L−A | ELB3P40A | 100v | | 電灯 | 2P20A | 565VA | |
| | | 〃 | | 台所セット | 〃 | 1500VA | |
| | | 〃 | | 給湯機 | 〃 | 55VA | |
| | | 〃 | | コンセント | 〃 | 1400VA | |
| 6面 | 7020VA | 200v | | クラー | 〃 | 1160VA | |
| | | 〃 | | 床暖房 | 〃 | 2340VA | |
| | | 100v | | | 〃 | | |
| | | 〃 | | | 〃 | | |
| L−B | ELB3P50A | 100v | | 電灯 | 〃 | 689VA | |
| | | 〃 | | 台所セット | 〃 | 1500VA | |
| | | 〃 | | 給湯機 | 〃 | 55VA | |
| | | 〃 | | コンセント | 〃 | 1300VA | |
| | | 200v | | 床暖房 | 〃 | 1620VA | |
| | | 〃 | | 〃 | 〃 | 1620VA | |
| 3面 | 8869VA | 〃 | | クラー | 〃 | 2085VA | |
| | | 100v | | | 〃 | | |
| | | 〃 | | | 〃 | | |
| | | 〃 | | | 〃 | | |
| L−C | ELB3P 50A | 100v | | 電灯 | 〃 | 703VA | |
| | | 〃 | | 台所セット | 〃 | 1500VA | |
| | | 〃 | | 給湯機 | 〃 | 55VA | |
| | | 〃 | | コンセント | 〃 | 1400VA | |
| | | 200v | | 床暖房 | 〃 | 2400VA | |
| 2面 | 11788VA | 〃 | | クラー | 〃 | 1570VA | |
| | | 〃 | | クラー | 〃 | 1160VA | |
| | | 〃 | | 床暖房 | 〃 | 3000VA | |
| | | 100v | | | 〃 | | |
| | | 〃 | | | 〃 | | |
| L−D | ELB3P60A | 100v | | 電灯 | 〃 | 737VA | |
| | | 〃 | | 台所セット | 〃 | 1500VA | |
| | | 〃 | | 給湯機 | 〃 | 55VA | |
| | | 〃 | | コンセント | 〃 | 800VA | |
| | | 〃 | | コンセント | 〃 | 700VA | |
| 3面 | 13847VA | 200v | | 床暖房 | 〃 | 1260VA | |
| | | 〃 | | 〃 | 〃 | 1260VA | |
| | | 〃 | | 〃 | 〃 | 1260VA | |
| | | 〃 | | 〃 | 〃 | 2400VA | |
| | | 〃 | | クラー | 〃 | 1570VA | |
| | | 〃 | | 〃 | 〃 | 2305VA | |
| | | 100v | | | 〃 | | |
| | | 〃 | | | 〃 | | |
| | | 〃 | | | 〃 | | |




分電盤結線図(標準図)

## 照明器具リスト

| 記号 | 品番 | 備考 |
|---|---|---|
| A | LW84040BT | L100W 松下 |
| B | NF11420EL | F13W 松下 |
| C | NL78450T | L25W 松下 |
| D | NL78453W | L40W 松下 |
| E | M1035 | F27W 松下 |
| F | LT83166 | L40W 松下 |
| G | NL88176BZ | L60W 松下 |
| H | LT16091 | L100W 松下 |
| I | HLW6222TEL | F13W 松下 |
| J | NL58760ST | L60W 松下 |
| K | M624 | F27W 松下 |
| ◎ A | モールライトY7741.YD9205 | HF400W.4002CB−8G 松下 |
| ◎ B | モールライトY7741.電柱取付 | HF400W.4002CB−8G 松下 |

(注記)
リストの品番は参考とする。

容量
一般電灯 31.752KW
クラー 13.215KW
暖房 23.760KW

A−156

| 訂正 | 月.日 | |
|---|---|---|
| | . | |
| | . | |
| | . | |

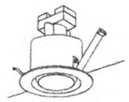
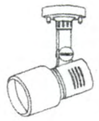
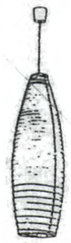
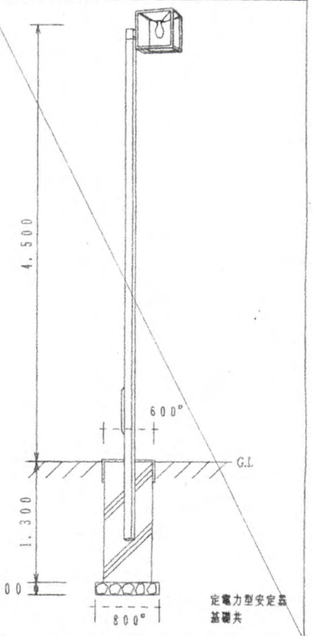
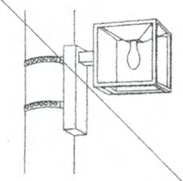
一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号 TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

山形県知事登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 |
|---|---|---|---|
| H 5.5 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 農村景観活用交流施設 新築 | 工事設計図 | 図面番号 E/5 |
| 図面名称 | 分電盤リスト 照明器具リスト | 縮尺 | |

# 照明器具姿図

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| A　IL-100W×1<br>LW84040BT | B　FDL-13W×1<br>NF11420BL | C　IL-25W×1<br>NL78450T | D　IL-40W×1<br>NL78453W | E　FDL-27W×1<br>提灯M1035 | F　IL-40W×1<br>LT83166 |
| | |  | | | |
| G　IL-60W×1<br>NL88176BZ | H　IL-100W×3<br>LT16091 | I　FML-13W×1<br>HLW6222TEL | J　IL-60W×1<br>NL58760ST | K　FDL-27W×1<br>提灯M624 | ●A　HF-400W×1<br>モールライトY7741+ポールYD9205 |
|  |  | | | |  |
| ●B　HF-400W×1<br>YA42774ブラケットタイプ | | | | | |
|  | | | | | |

| 訂正 | 月.日 | |
|---|---|---|
| | . | |
| | . | |
| | . | |

一級建築士事務所 株式会社 三和技術コンサルタント
山形県村山市楯岡二日町7番21号　TEL(55)3535
註：設計変更の際は建築士法第19条による事

山形県知登録(1106)第447号
一級建築士第113527号
須藤良介

| 設計年月日 | 担当 | 検図 | 承認 |
|---|---|---|---|
| H6.5 | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称 | 農村景観活用交流施設 新築 | 工事設計図 | 図面番号 |
| 図面名称 | 照明器具姿図 | 縮尺 | E / 6 |

A-156